3-081-429-**02** (1)

DVDレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
操作の前に別冊の「接続と準備」をご覧ください。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「接続と準備」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

G-CODE®

RDR-A21

必ずお読みください

著作権について

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のディスク（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

録画防止機能について

別売りのチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

録画について

- 本機で録画したDVD-RW（VRモード）は、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。RW対応プレーヤーでのみ再生可能です。
- 大切な録画の場合には、DVD-RWディスク（VRモード）でかならず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 万一、本機やDVD-RW、DVD-Rディスクの不都合、または停電や結露などの外部要因などによって録画できなかった場合、録画内容の補償やそれに附随する損害については、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目3番6号赤坂メディアビル
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）

設置場所を変えるときは

ディスクを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを入れたまま動かすと、ディスクを傷めることがあります。

音量について

音量を大きくしたまま再生すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。ディスクを再生する前に、音量を必ず小さくしておきましょう。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないことがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

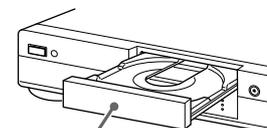
ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

クリーニングディスクについて

市販のCD/DVDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

ディスクトレイ部先端カバーについて

ディスクトレイ部先端カバーは機能上、かんたんに動く構造になっています。無理な力を加えることは避けてください。

ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当るところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

目次

ここだけ読んでも使えます

再生

録画・予約

編集

他機をつないで行う操作

設定と調整

その他

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。

主な特長

本機は、DVDディスクの再生はもちろん、DVD-RW、DVD-Rディスクを使った録画ができます。また、録画した番組などを編集して楽しむことができます。

再生

映画館の臨場感・迫力のサラウンド
DVD-VIDEO

ドルビーデジタルやDTS対応のオーディオ機器につなぐと、マルチチャンネルサラウンド音声を楽しむことができます。

かんたん再生（☞20ページ）
DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

DVDはテープのように巻戻しの必要がないため、見たい場面をすぐに頭出しできます。見たい場面の検索機能も充実しています。

画像付タイトルメニュー（☞18ページ）
DVD-RW DVD-R

画像付タイトルメニューを使えば、録画した映像（タイトル）もすぐに探し出せます。タイトルの映像の一部が一覧表示されるので、再生したいタイトルも一目で見つけて、再生できます。

＊ビデオモードのDVD-RWディスクとDVD-Rディスクは、ファイナライズすると画像付タイトルメニューのかわりにタイトル一覧画面が出ます。

録画

タイマー予約録画（☞46ページ）
DVD-RW DVD-R

予約画面で日時やチャンネルを設定する通常のタイマー予約の他に、新聞などのテレビ番組欄に記載されている番号を入力するGコード予約もできます。
1年先までの8番組まで予約できます。

クイックタイマー（☞43ページ）
DVD-RW DVD-R

録画中に録画終了時刻を設定して録画できます。
予約録画中でも、予約録画を止めて、そのままクイックタイマーを使えます。
急用で出かけるときや眠くなったとき、スポーツ中継の延長で開始が遅れた番組の予約録画を延長するときに便利です。

快速予約録画（☞44ページ）
DVD-RW DVD-R

24時間以内の番組を、録画開始・終了時刻を設定するだけで予約録画できます。

ディスク予約録画（☞51ページ）
DVD-RW(VR)

ディスクに予約情報を設定できます。自分だけの専用ディスクを作りたいときや毎週シリーズの番組を1枚のディスクに録画するときに便利です。

ジャスト録画（☞93ページ）
DVD-RW DVD-R

ディスクの空き時間と予約録画に必要な時間を比較して、空き時間が足りないときに、自動的に調整して番組を最後まで録画できるようにします。
お買い上げ時の設定は「切」になっています。

シンクロ録画（☞55ページ）
DVD-RW DVD-R

番組予約機能がある機器（デジタルBSチューナーやデジタルCSチューナー、CATVチューナーなど）と連動して、予約録画できます。チューナーの録画予約設定に従って、自動的に録画を開始・終了します。

編集

大切な映像はそのままで（☞58ページ）
DVD-RW(VR)

実際に録画したオリジナルの映像（タイトル）には手を加えずに編集することができます。
オリジナルから編集用のタイトル（プレイリスト）を作成し、編集します。プレイリストを再生すると、まるでオリジナルを編集したように映像が再生されます。

チャプターマーク（☞65ページ）
DVD-RW(VR)

お気に入りの場面でチャプターを区切れば、チャプターサーチ機能で見たい場面をすぐに探せます。

シーン消去・追加・移動（☞64、69ページ） DVD-RW(VR)

範囲を指定して場面を消去したり、オリジナルの場面をプレイリストに追加などして好みのプレイリストを作成できます。

互換性

ビデオモードなら他のDVDプレーヤーでも再生可能（☞9、10ページ）
DVD-RW(VIDEO) DVD-R

ビデオモードで録画したディスクは、ファイナライズを行うと他のDVDプレーヤーでも再生できます。
＊一部には再生できないプレーヤーもあります。

他機との接続

デジタルビデオカメラとつなぐ（☞85ページ） DVD-RW DVD-R

DV端子を持つデジタルビデオカメラで撮った映像を本機で見たり、編集、保存することができます。
本機で録画した映像をデジタルビデオカメラに出力することもできます。

取扱説明書の使いかた

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った説明を主体としています。
リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD-VIDEO	DVDビデオで使える機能
DVD-RW	DVD-RWで使える機能
DVD-RW(VR)	DVD-RWのVRモードで使える機能
DVD-RW(VIDEO)	DVD-RWのビデオモードで使える機能
DVD-R	DVD-Rで使える機能
VIDEO CD	ビデオCDで使える機能
DATA CD	CD-R/CD-RWのJPEG*画像で使える機能
CD	音楽用CDで使える機能

* カラー静止画像の圧縮規格のひとつ。規格を決めた団体（Joint Photographic Experts Group）の名前がそのまま使われている。

再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクや再生できないディスクがあります。お手持ちのディスクを使用する前に必ずお読みください。
本機では以下のディスクを再生できます。

ディスクの種類		
DVDビデオ		DVD VIDEO
DVD-RW	Ver.1.0 Ver.1.1 Ver.1.1 CPRM対応	DVD RW
DVD-R		DVD R R4.7
ビデオCD		COMPACT disc DIGITAL VIDEO
音楽用CD		COMPACT disc DIGITAL AUDIO

* DVD-VIDEO、DVD-RW、DVD-Rロゴは商標です。

地域番号（リージョンコード）について

DVDビデオのパッケージには地域番号（☛109ページ）が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。
- CD-ROM（フォトCDを含む）
- 音楽用CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、JPEG画像方式で記録された以外のCD-RとCD-RW
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- スーパーオーディオCDのHD（ハイデンシティ）レイヤー

次のようなディスクも再生できません。
- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVDビデオ（☛109ページ）
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕のあるディスク

ご注意
- CD-R/CD-RWドライブまたは他のDVD-R/DVD-RWレコーダーで記録されたディスクは、傷や汚れ、また記録状態や記録機の特性等が原因で再生できないことがあります。また、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できないことがあります。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社により著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DVDビデオ、ビデオCD再生操作について

DVDビデオ、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書もかならずご覧ください。

録画できるディスクについて

本機では、録画用としてDVD-RW、DVD-Rディスクを使用します。DVD-RW、DVD-Rディスクはホコリや指紋、特に傷などがつかないように、取り扱いには充分に注意し、大切に保管してください。傷などがつくと録画できなくなる場合があります。
本機では以下のディスクで録画できます。

ディスクの種類		
DVD-RW	Ver.1.0 Ver.1.1 Ver.1.1 CPRM対応	
DVD-R		

* DVD-RW、DVD-Rロゴは商標です。

ご注意

- 本機で録画したディスクは、すべてのプレーヤーでの再生を保証する機能ではありません。再生できないプレーヤーもあります。
  一部のプレーヤーでは、DVD-RまたはDVD-RW（ビデオモード）を再生しようとしたとき以下のような動作を起こすことがあります。
  – ディスクを受けつけない
  – 再生画面にマクロブロック（モザイク状の画像）が多く発生する
  – 音声・映像がとぎれる
  – 再生が途中で停止する

記録フォーマット（VRモードとビデオモード）について

本機で録画するときに使うディスクの記録フォーマットには、以下の2種類があります。
録画モードなどについて詳しくは、41ページをご覧ください。

VRモード
DVD-RWディスクの基本フォーマットで、VRはVideo Recording（ビデオレコーディング）の略です。録画や編集を繰り返し行うことができます。
VRモードで録画したディスクは、他のDVD-RW対応プレーヤーで再生できます（10ページ）。また、CPRM対応のDVD-RWディスクを使うと、「1回だけ録画可能」の映像を録画することができます（41ページ）。

ビデオモード
市販のDVDビデオディスクと互換性があり、録画後にディスクをファイナライズ処理することにより、本機で録画した映像を他のDVDプレーヤー、DVDレコーダー*で再生することができます。

* ファイナライズ前の追加録画や編集、ファイナライズ処理は本機でのみ行うことができます。他機で録画したディスクには、追加録画や編集、ファイナライズ処理ができないことがあります。

本機では、DVD-RW（Ver.1.1）ディスクの記録フォーマットを変更できます。ただし、記録フォーマットを変えるにはディスクの初期化を行うため（94ページ）、変更時にそれまで録画した内容はすべて消去されます。

ディスクの種類ごとに可能な記録フォーマットは以下のとおりです。

ディスク	記録フォーマット	可能な機能
DVD-RW（Ver 1.0）	VRモード	再生、録画、編集（オリジナル/プレイリスト）
DVD-RW（Ver 1.1～）	VRモード	再生、録画、編集（オリジナル/プレイリスト）
	ビデオモード	再生、録画、編集（制限あり）
DVD-R（Ver 2.0～）	ビデオモード	再生、録画、編集（制限あり）

次のページにつづく

記録フォーマットについて（つづき）

タイトルとチャプター

DVDでは、ディスクをタイトルという単位で分け、さらにそれをチャプターという単位に分けています。タイトルは通常映画1作品やアルバム1枚分にあたり、チャプターはタイトル中の映像や曲の区切りになります。

- ビデオモードで録画したとき
  1回の録画が1タイトルとなります。録画中、3分ごとに自動でチャプターが区切られます。チャプターを区切る間隔は変更できます（☞92ページ）。
- VRモードで録画したとき
  1回の録画が1タイトル（1チャプター）となります。録画や再生中にお好みの場面でチャプターを区切る（チャプターマーク）ことができます（☞65、76ページ）。

ご注意

- ビデオモードでは、タイトル消去、タイトル名変更以外の編集はできません。
- Ver 1.0のDVD-RWディスクはビデオモードでの録画ができません。

他機での再生について（ファイナライズ）

本機で録画したDVD-RWやDVD-Rディスクには、ファイナライズ処理を行います。ファイナライズを行うと、本機以外のDVDプレーヤーで再生できるようになります。
ファイナライズの方法について詳しくは、「ディスクに関する設定（ディスク設定）」（☞94ページ）の「ファイナライズ」をご覧ください。

ビデオモードで録画したディスクのとき

すべての録画を終えてからファイナライズを行ってください。ビデオモードのディスクをファイナライズすると、以降の録画や編集ができなくなります。
ファイナライズを行うと、DVDプレーヤーのトップメニューボタンで働くメニューが自動的に作成されます。
一般的なDVDプレーヤーで再生できます。

VRモードで録画したディスクのとき

本機以外のDVDレコーダーやDVD-RW（VRモード）対応プレーヤーで再生できない場合に、ファイナライズを行います。VRモードのディスクはファイナライズしたあとも本機で録画や編集ができます。
DVD-RWのVRモード対応のDVDプレーヤーで再生できます。

ご注意

- ファイナライズを行っても、ディスクの状態や再生するDVDプレーヤーでのピックアップの状態によっては、再生できない場合があります。

ディスクを再生する

DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD　DATA CD　CD

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

2 **I/⏻（電源）スイッチを押す。**

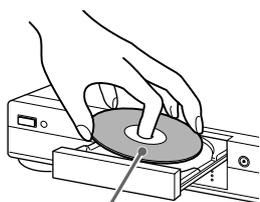
4 **≙（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを閉じる。**

表示窓の「LOAD」表示が消えるまで待ちます。

本体表示窓

LOAD

3 **≙（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを置く。**

再生したい面を下にして置きます。

5 **▷（再生）ボタンを押す。**

ボタンを押さなくても、自動的に再生が始まるディスクもあります。

ディスクによっては、テレビ画面にメニューが出ることがあります。そのときはメニュー画面（選択画面）にしたがって、操作をして再生します。

再生を止めるには

■（停止）ボタンを押します。

ご注意

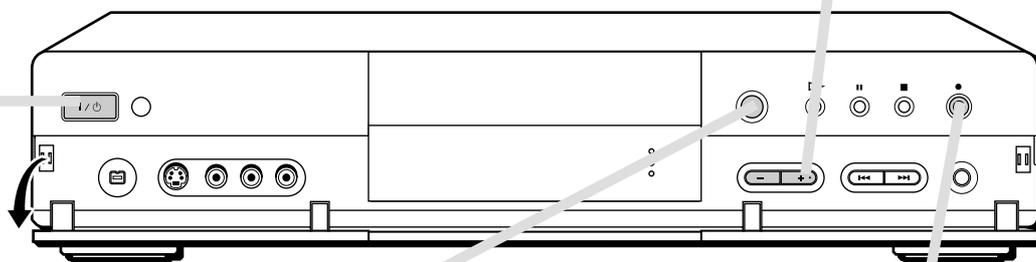
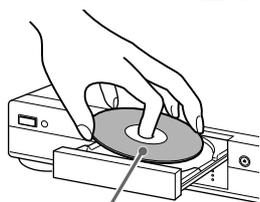
• DV入力時に「DVリンク」が「入」に設定されていると再生できません（☞96ページ）。リモコンのDV取込みボタンまたはチャンネル＋/－ボタンで他のチャンネルに切り換えてください。

テレビ番組を録画する

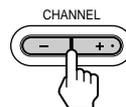
DVD-RW **DVD-R**

ディスクの種類によって、録画の操作やディスクを入れたときの動作が異なります。DVD-RWディスクのVRモードとビデオモード、DVD-Rディスクについては、☞40ページをご覧ください。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力(「ビデオ」など)に切り換える。**

2 **I/⏻(電源)スイッチを押す。**

3 **⏏(開/閉)ボタンを押してディスクトレイを開け、録画するディスクを置きます。**
録画したい面を下にして置きます。

録画したい面を下に

4 **⏏(開/閉)ボタンを押してディスクトレイを閉じる。**
表示窓の「LOAD」表示が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化しますので、しばらくお待ちください。
「録画初期設定」の「DVD-RW自動初期化」で記録フォーマットを設定します(☞94ページ)。

5 CHANNEL＋/–**ボタンを押して、録画するチャンネルを選ぶ。**

6 REC●**(録画)ボタンを押す。**

DVD-RW**の場合**
録画が始まります。
DVD-R**の場合**
録画待機状態になります。もう一度REC●(録画)ボタンを押すと、録画が始まります。

録画を止めるには

■(停止)ボタンを押します。

録画モードを変えるには

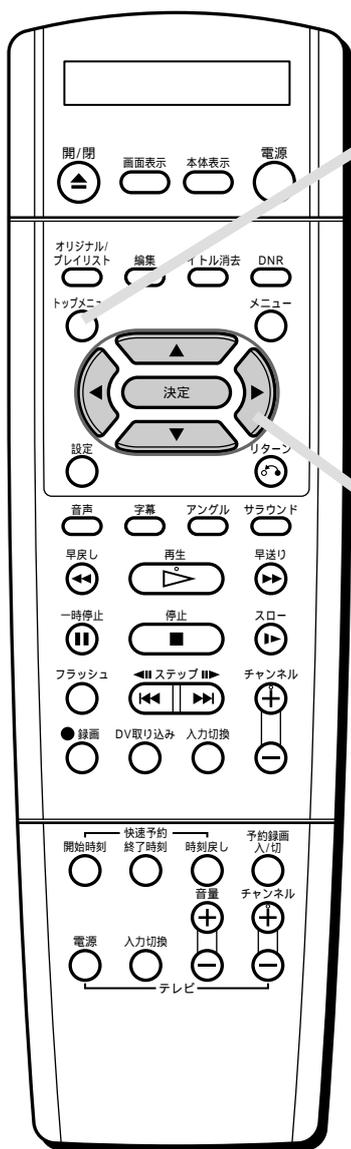
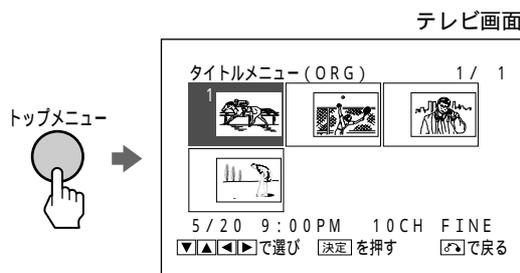
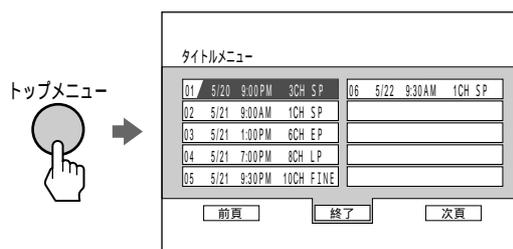
リモコンの録画モードボタンを繰り返し押します。

他のDVDプレーヤーで再生したいときは

- DVD-RW**のとき**
  DVD-RWに対応していないDVDプレーヤーで再生するときは、ビデオモードで録画します(☞9ページ)。すべての録画が終わったあと、ファイナライズします(☞10、95ページ)。
- DVD-R**のとき**
  すべての録画が終わったあと、ファイナライズします(☞10、95ページ)。

録画したDVDを再生する

DVD-RW **DVD-R**

録画したDVDを再生するときは、テレビ画面に一覧表示されたタイトルの画像から選んで再生することができます（画像付タイトルメニュー）。
ファイナライズしたビデオモードのDVDを再生するときは、メニューに表示されるタイトルの一覧から選んで再生できます。

1 **トップメニューボタンを押す。**
画像付タイトルメニュー画面が表示されます。

ファイナライズしたビデオモードのDVD-RWまたはDVD-Rのとき
タイトルメニュー画面が出ます。

2 **◀/▲/▼/▶で再生するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルの再生が始まります。

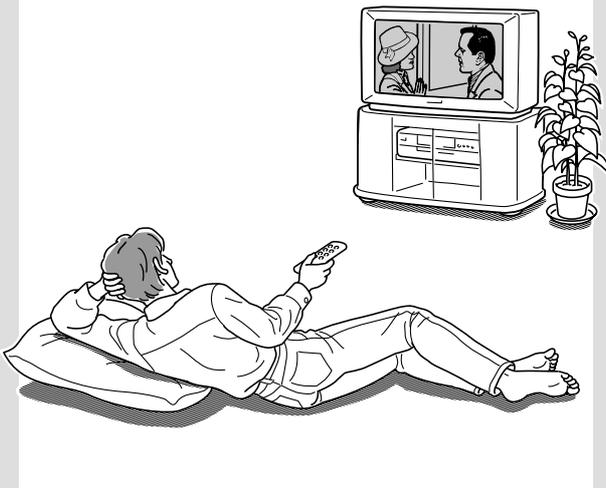
再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

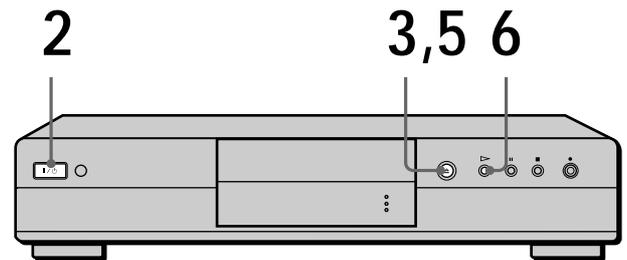
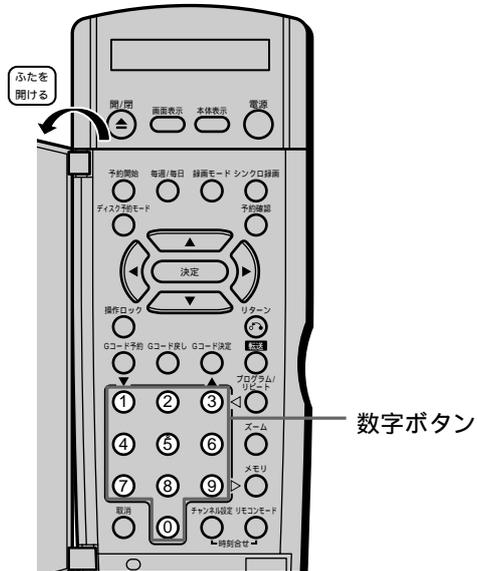
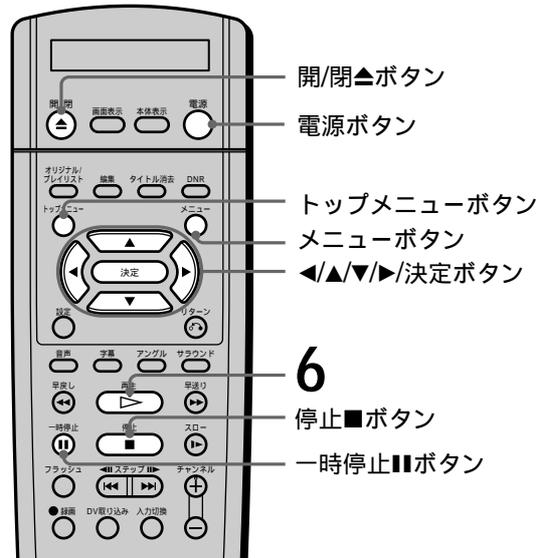
ご注意

- DV入力時に「DVリンク」が「入」に設定されていると再生できません（☞96ページ）。リモコンのDV取込みボタンまたはチャンネル+/−ボタンで他のチャンネルに切り換えてください。

再生

ここでは、再生するときに使えるいろいろな機能について説明します。
スロー・2倍速などの変速再生ができるほか、録画した番組を頭出ししたり、録画した番組のとばしたい部分を早送りしたりできます。
また、再生の順番を決めたり、繰り返し再生したりできます。音声やアングルを切り換えたり、画質を調整するなどの役立つ機能もあります。

ディスクを再生する

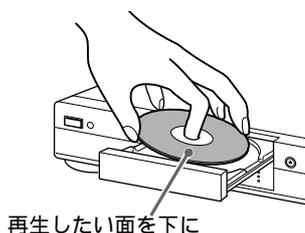
DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD　DATA CD　CD

再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。ディスクによっては、禁止されている操作もあります。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは
アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **本体のI/⏻（電源）スイッチを押す。**

3 **本体の≙（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを開ける。**

4 **ディスクを置く。**
再生したい面を下にして置きます。

5 **≙（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**
表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

6 **再生▷ボタンを押す。**
再生が始まります。
テレビまたはアンプの音量を調整します。

手順6の後に

ディスクによっては、テレビ画面にメニューが出ることがあります。そのときはメニュー画面（選択画面）にしたがって、操作をして再生します。

再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。

ディスクを取り出すには

開/閉⏏ボタンを押します。

電源を切るには

電源ボタンを押します。

DVDのディスクのメニューを使うには DVD-VIDEO DVD-RW(VIDEO) DVD-R

DVDには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。
テレビ画面に出るディスクのメニューにしたがって再生できます。

1 トップメニューまたはメニューボタンを押す。
ディスクのメニューが出ます。
メニューの内容はディスクによって異なります。
2 ◀/▲/▼/▶または数字ボタンで項目を選ぶ。
3 決定ボタンを押す。

DTS音声が記録されたCDを再生するときのご注意 CD

- デジタル音声出力端子に接続したオーディオ機器がDTSデコーダー内蔵のオーディオ機器でないときは、CDのDTS音声を再生しないでください。異音が出て耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーが破損したりするおそれがあります。
- CDのDTS音声を再生するときに、音声出力1,2端子から異音が出ます。耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーを破損したりすることがないようご注意ください。
- デジタル出力端子からDTS音声を出力していても「DTS」の表示は出ません。

DVDのDTS、ドルビーデジタル音声を再生するときのご注意 DVD-VIDEO

- デジタル音声出力端子に接続したオーディオ機器がDTSデコーダー内蔵ではない場合にはディスクのDTS音声を再生しないでください。
ドルビーデジタル音声についても接続したオーディオ機器がドルビーデジタルデコーダー内蔵ではない場合にはディスクのドルビーデジタル音声を再生しないでください。異音が出て耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。
- DTS音声を再生するときは音声出力1.2端子からは音が出ません。
- ドルビーデジタルのマルチチャンネル音声を再生するときは音声出力1.2端子からは2チャンネルに変換した音声が出ます。

次のページにつづく

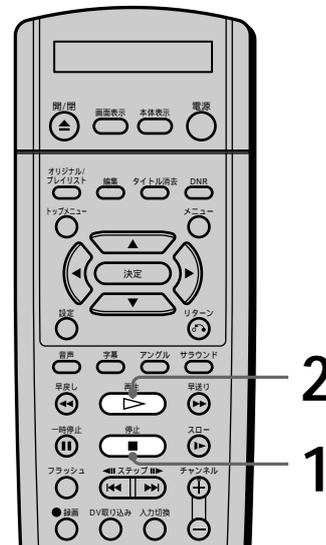
ディスクを再生する（つづき）

ご注意

• DV入力時に「DVリンク」が「入」に設定されていると再生できません（☞96ページ）。DV取り込みボタンまたはチャンネル＋/－ボタンで他のチャンネルに切り換えてください。

再生を止めたところから再生する

（つづき再生） DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

再生を止めたあと、そのつづきから再生できます。ディスクトレイを開けない限り、本機の電源を切ってもつづき再生することができます。

1　再生中、停止■ボタンを押して、再生を止める。

テレビ画面に「つづき」と出ます。「つづき」が出ないときはつづき再生はできません。

2　再生▷ボタンを押す。

手順**1**で再生を止めたところから、再生が始まります。

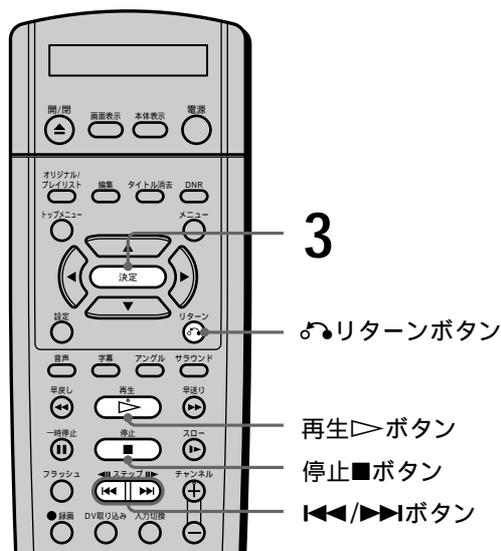
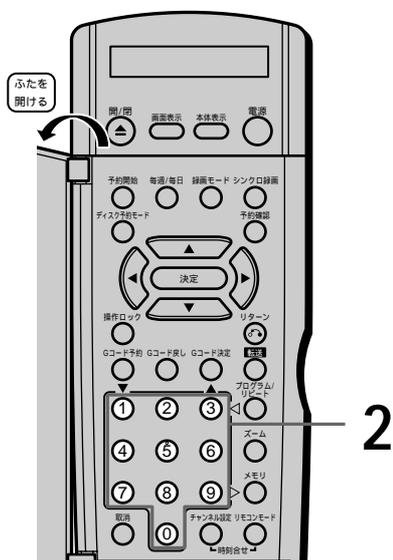
ちょっと一言

• ディスクを最初から再生したいときは、停止■ボタンを押して再生を止めてから、もう一度停止■ボタンを押して「つづき」の表示を消し、その後再生▷ボタンを押します。

ご注意

• ディスクによっては、停止したところから再生しないものがあります。
• 再生を止めたところによっては、つづき再生の始まりがずれることがあります。
• 次の場合、つづき再生できません。
　ー　ディスクを取り出したとき
　ー　録画をしたとき
　ー　オリジナルとプレイリストを切り換えたとき
　ー　消去などの編集操作をしたとき

プレイバックコントロール機能を使う（PBC再生） VIDEO CD

テレビ画面に表示される選択用のメニューにしたがって、再生や検索ができます（Playback Control - PBC機能）。

1 PBC**対応ビデオ**CD**を再生する。**
選択用のメニュー画面が出ます。

2 **メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を数字ボタンで選ぶ。**

3 **決定ボタンを押す。**

4 **テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する。**
操作の方法はディスクによって異なることがありますので、ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。
「NEXT（次へ）」の操作は▶▶Iボタンを押し、「PREVIOUS（前へ）」の操作はI◀◀ボタンを押します。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

ちょっと一言

- PBC機能を使わないで再生するときは、停止■ボタンを押して再生を止めたあと、▶▶Iボタンを押します。
  PBC再生に戻すには、停止■ボタンを押して再生を止めたあと、再生▷ボタンを押します。

ご注意

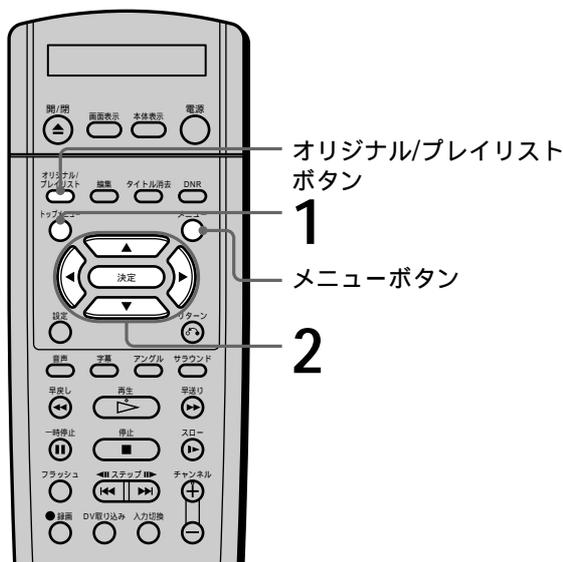
- ディスクによっては手順**3**で決定することを「選択ボタンを押す」と出るものがあります。そのときは、決定ボタンまたは再生▷ボタンを押してください。
- DV入力時に「DVリンク」が「入」に設定されていると再生できません（☞96ページ）。リモコンのDV取り込みボタンまたはチャンネル＋/－ボタンで他のチャンネルに切り換えてください。

録画したDVDを再生する

映像から選んで再生する

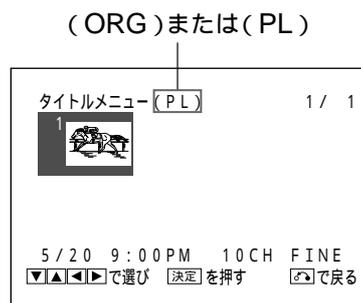
（画像付タイトルメニュー） DVD-RW DVD-R

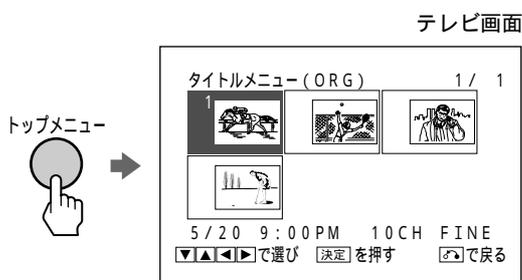
録画または編集したディスクを再生するとき、画面（画像付タイトルメニュー）に一覧表示された画像から選んで再生することができます。通常、タイトルの最初の画像が出ます。
画像付タイトルメニューに出る画像は好みの場面に変更することができます（☛71、78ページ）。
ファイナライズしたビデオモードのディスクを再生するときは、「タイトルから選んで再生する」（☛19ページ）をご覧ください。

1 **トップメニューボタンを押す。**
画像付タイトルメニュー画面が出ます。

2 **再生したいタイトルの映像を◀/▲/▼/▶で選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルの再生が始まります。

オリジナルとプレイリストを切り換えるには

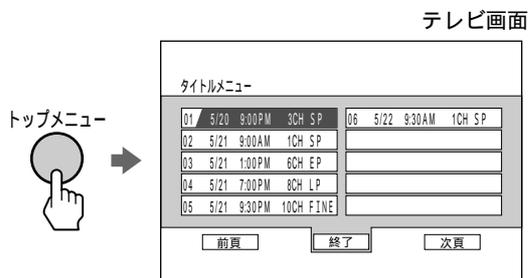
DVD-RW(VR)

VRモードで録画したディスクは、手順**2**の前で、オリジナル/プレイリストボタンを押して、オリジナル（ORG）とプレイリスト（PL）を切り換えることができます。オリジナル、プレイリストについて詳しくは、☛59ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 手順**1**のトップメニューボタンのかわりに、メニューボタンでも操作できます。
- 画像付タイトルメニューに出る各タイトルの画像を好みの場面に変更することができます。詳しくは、「画像付タイトルメニューの画面を変更する」（☛71、78ページ）をご覧ください。
- ディスクの傷や汚れが原因で録画が正常に終了しなかったタイトルには、画像付タイトルメニュー画面などでタイトル名の頭に「！」が表示されます。
- 録画が終わってすぐに再生▷ボタンを押して再生すると、ディスクの一番最後のタイトルから再生が始まります。

タイトルから選んで再生する

DVD-RW(VIDEO) DVD-R

DVD-Rディスクまたはビデオモードで録画したDVD-RWディスクをファイナライズした後に再生すると、タイトルメニューから好きなタイトルを選んで再生できます。

1 **トップメニューボタンを押す。**
タイトルメニュー画面が出ます。

2 **再生したいタイトルを◀/▲/▼/▶で選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルの再生が始まります。

ちょっと一言

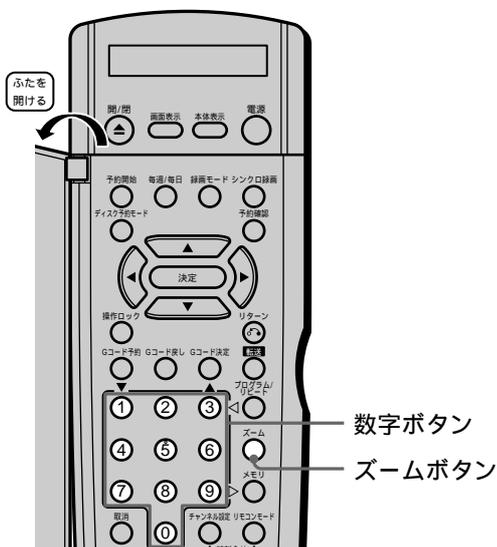
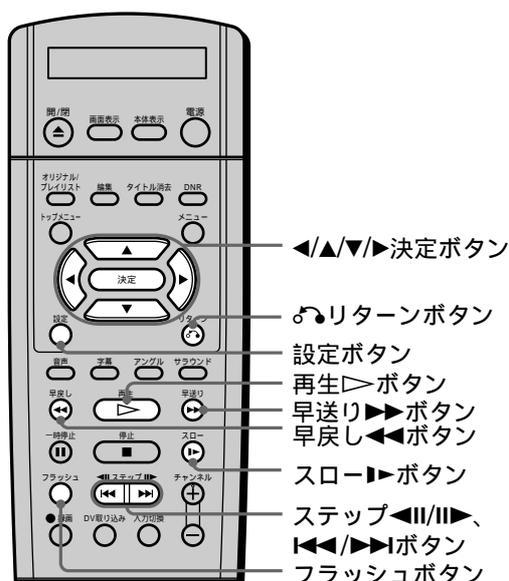
- 手順**1**のトップメニューボタンのかわりに、メニューボタンでも操作できます。

ご注意

- ファイナライズ（☞95ページ）をするまでは、トップメニューボタンを押すと、画像付タイトルメニューが表示されます。
- 他のDVDレコーダーで付けたタイトルに、本機で表示できない文字（漢字など）が含まれているときは、「＊＊＊・・・」（24文字まで）が出ます。

再生

見たい・聞きたいところを探す

いろいろな速さで画像をみたり、1コマずつ送って再生することができます。
ディスクによっては操作が禁止されている場合があります。

早送り/早戻し再生する

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

再生中に早送り▶▶または早戻し◀◀ボタンを押します。
再生▷ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
早送り▶▶または早戻し◀◀ボタンを繰り返し押すと、早送り/早戻し再生の速さが変わります。
ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。

早送り再生

1▶▶（約2倍速）→ 2▶▶（約8倍速）→ 3▶▶（約32倍速）

早戻し再生

1◀◀（約2倍速）→ 2◀◀（約8倍速）→ 3◀◀（約32倍速）

ちょっと一言

- DVDではタイトルをまたぐ早送り/早戻し再生ができません。タイトルの最初や最後になると通常の再生に戻ります。
- ビデオCDとCDでは、1◀◀/▶▶（約2倍速）と2◀◀/▶▶（約8倍速）の順に表示が切り換わります。

スロー再生する

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD

再生中にスロー▮▶ボタンを押します。
再生▷ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
スロー▮▶ボタンを繰り返し押すと、スロー再生の速さが変わります。
ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。

1▮▶（約1/2倍速）→ 2▮▶（約1/8倍速）→ 3▮▶（約1/16倍速）

コマ送り再生する

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD

一時停止中に再生方向はステップII▶ボタン、逆方向（DVDのみ）はステップ◀IIボタンを押します。
繰り返し押すと連続してコマ送りします。

ちょっと一言

- VRモードのDVD-RWディスクのときは、逆方向にコマ送りすると、0.5秒単位で戻ります。
- ビデオCDでは、逆方向のコマ送りができません。
- 再生方向と逆方向のコマ送りを組み合わせたり、コマ送りから再生したときに、次の停止や再生場面がずれることがあります。

場面をとばして再生する

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

再生中にフラッシュボタンを押します。押すたびに約30秒単位で場面を先にすすむことができます。
連続して4回までフラッシュボタンを押して、約2分間の場面をとばせます。
再生中に自分の見たい場所をすばやく探すのに便利です。

チャプターやトラックを頭出しする

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

再生中に、⏮/⏭ボタンを押します。
⏮ボタンを押すと、再生中のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。約5秒以内に続けて⏮ボタンを押すと、前のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。⏭ボタンを押すと、次のチャプター（トラック）の先頭に進みます。
ボタンを押した回数だけチャプター（トラック）が前後に進みます。

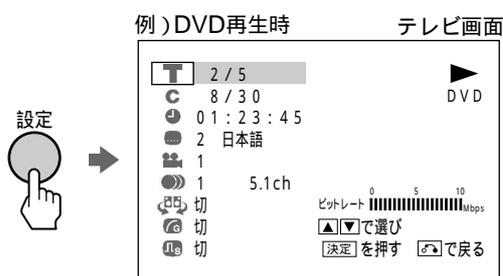
ちょっと一言

- VRモードで録画したDVD-RWディスクは、チャプターを手動で区切ることができます（☞65、76ページ）。ビデオモードで録画したDVD-RWディスクまたはDVD-Rディスクは、チャプターを3分ごとなどの設定した間隔で録画中に自動的に区切ります（☞92ページ）。
- チャプター（トラック）の最初から約5秒以内に⏮ボタンを押すと、前のチャプター（トラック）が頭出しされます（VRモードのDVD-RWディスクを除く）。

タイトルやチャプター番号、経過時間で頭出しする（サーチモード）

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

DVDのタイトルまたはチャプター、タイトルの経過時間、ビデオCDやCDのトラックまたはシーンで映像や曲を探すことができます。
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられています。その番号を選んで頭出しします。また、タイトルの経過時間を入力して場面や曲を探すこともできます。

1　再生中に設定ボタンを押す。
再生設定画面が出ます。

2　▲/▼で検索項目を選び、決定ボタンを押す。

- **DVDのとき**
  T タイトル、C チャプター、🕘 経過時間
- **ビデオCD、CDのとき**
  T トラック、🕘 経過時間
- **ビデオCDをPBC再生しているとき**
  T シーン、🕘 経過時間

3　▲/▼または数字ボタンでタイトルやチャプター、トラックなどの番号や、経過時間を選ぶ。

経過時間を入力するとき
「00：00：00」を時、分、秒で設定します。
◀/▶で時、分、秒を選びます。

4　決定ボタンを押す。
選んだ場所から再生します。

再生

見たい・聞きたいところを探す（つづき）

設定画面を消すには

設定ボタンまたは↶リターンボタンを押します。

ご注意

- タイトルやチャプター、トラックの番号はディスク上に記録されている番号と同じように出ます。
- DVDビデオやビデオモードで録画されたDVD-RW、DVD-Rディスクは、停止中に経過時間で頭出しできません。
- ビデオCDのPBC再生中には、サーチモードは使えません。

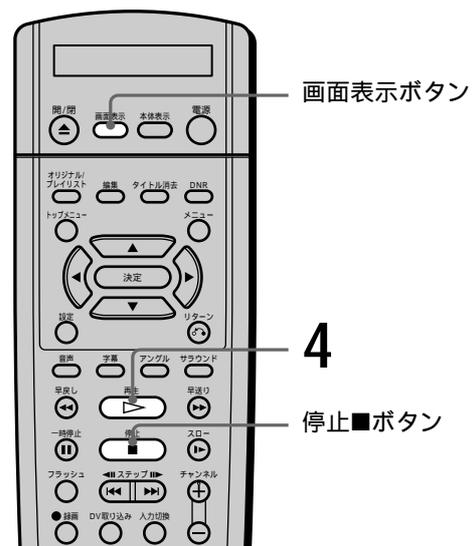
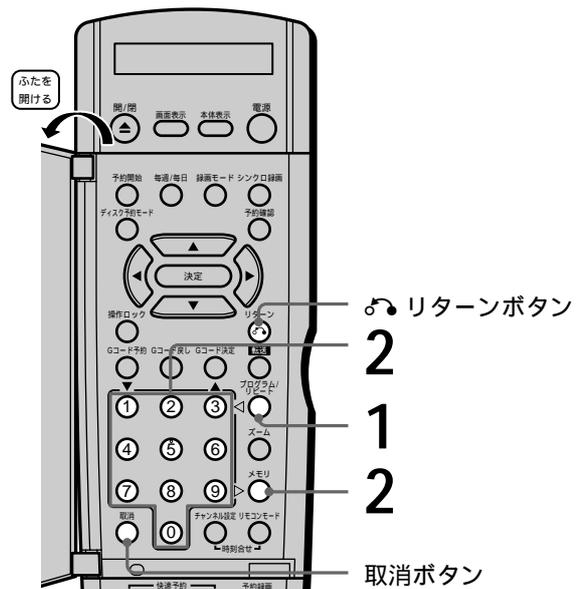
タイトルを選んで再生する

DVD-VIDEO　DVD-RW（VIDEO）　DVD-R

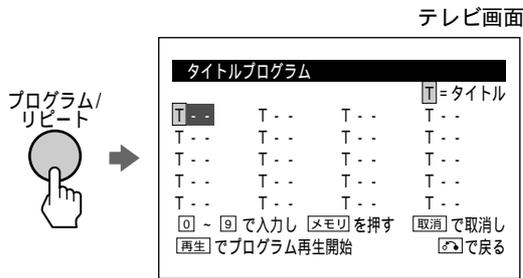
DVDのタイトルを選んで再生することができます。停止中にズームボタンを押した後、再生したいタイトルの番号を数字ボタンで選び、決定ボタンを押します。
選んだタイトルから再生が始まります。

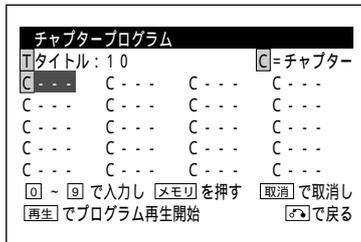
好きな順に再生する（プログラム再生）

DVD-VIDEO　DVD-RW（VIDEO）　DVD-R　VIDEO CD　CD

タイトルやトラック、チャプターを好きな順に再生できます。
VRモードのDVD-RWディスクではプログラム再生できません。
ビデオCD、CDの場合は、トラックのみプログラム再生できます。

1 停止中にプログラム/リピートボタンを押す。

タイトルまたはトラックプログラム画面が出ます。
タイトルまたはトラック単位でプログラムできます。

テレビ画面

チャプター単位でプログラムするときは、もう一度、プログラム/リピートボタンを押します。チャプタープログラム画面が出ます。

チャプタープログラム
Tタイトル：10　C=チャプター
C--- C--- C--- C---
0 ～ 9 で入力し メモリ を押す 取消 で取消し
再生 でプログラム再生開始　で戻る

チャプターをプログラムするには、数字ボタンでタイトル番号を入力してから、メモリボタンを押します。

2 プログラム再生したいタイトル/トラック/チャプターを数字ボタンで入力し、メモリボタンを押す。

例）10を入力するときは、①、⓪の順に押します。
2を入力するときは、②だけを押します。

間違えたときは

取消ボタンを押して、もう一度入力し直します。

3 手順2を繰り返して、プログラム再生したいタイトル/トラック/チャプターを入力する。

設定する順番に数字ボタンを押します。

4 再生▷ボタンを押す。

プログラム再生が始まります。

再生

プログラムの設定を途中でやめるには

リターンボタンを押します。

プログラム再生を停止するには

停止■ボタンを押します。続けてプログラム再生はできません。手順**1**からやり直してください。

プログラムを確認するには

プログラム/リピートボタンを押して、プログラム画面で確認します。

プログラムの内容を1つずつ消去するには

プログラム/リピートボタンを押してプログラム画面を出し、取消ボタンを押して1つずつ消去します。

プログラムを追加するには

プログラム/リピートボタンを押してプログラム画面を出し、追加するタイトル/チャプターの番号を数字ボタンで入力します。

プログラムをすべて消去するには

プログラム/リピートボタンを押してプログラム画面を出し、取消ボタンを2秒間押します。
また、ディスクを取り出したり、電源を切っても、プログラムはすべて消去されます。

ちょっと一言

- プログラム再生中に、画面表示ボタンを押すと「プログラム▶」が出ます。
- プログラム順の最後にあるタイトルまたはチャプターのみ消去、修正できます。

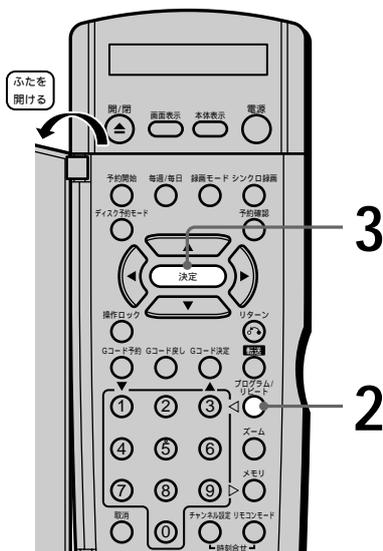
ご注意

- ビデオCDのPBC再生時には、プログラム再生できません。
- タイトルとチャプターを同時にプログラムすることはできません。

繰り返し再生する

（リピート再生）

DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD　CD

再生中のタイトルやチャプター、トラックを繰り返して再生できます。

1 **リピート再生したいチャプターやタイトルを再生する。**

2 **プログラム/リピートボタンを押してリピートの種類を選ぶ。**

リピート表示 が点滅します。
ボタンを押すたびに、次のようにテレビ画面に出るリピートの種類が変わります。

DVD**のとき**

リピート チャプター
再生中のチャプターが再生し終わると、そのチャプターの先頭からリピート再生します。

リピート タイトル
再生中のタイトルが再生し終わると、そのタイトルの先頭からリピート再生します。

A-B**リピート** A B
25ページをご覧ください。

リピート オフ
リピート再生しません。

ビデオCD/CD**のとき**

リピート トラック
再生中の曲（トラック）が再生し終わると、その曲の先頭からリピート再生します。

リピート オール
ディスク内のすべての曲（トラック）を再生し終わると、最初の曲からリピート再生します。

A-B**リピート** A B
25ページをご覧ください。

リピート オフ
リピート再生しません。

3 **決定ボタンを押す。**

リピート表示 が点灯します。

通常の再生に戻すには

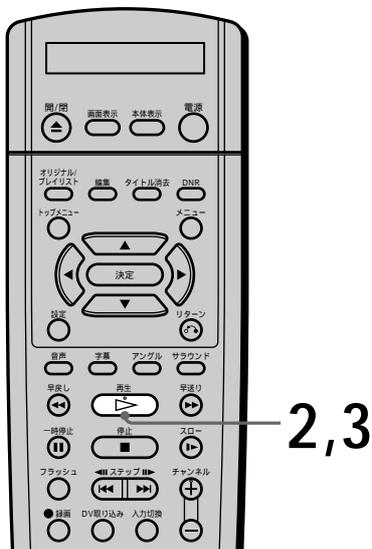
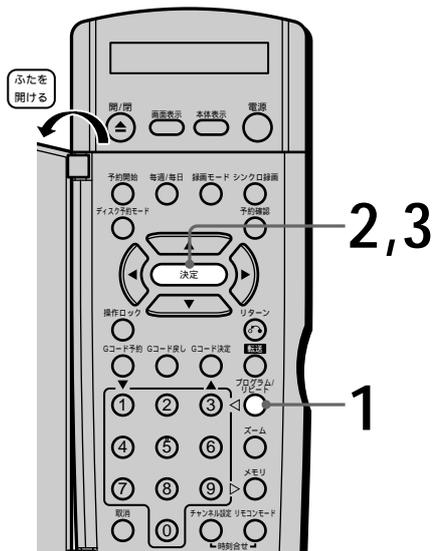
プログラム/リピートボタンを押して、 表示を消します。リピート再生の設定が解除されます。

ご注意

- ビデオCDのPBC再生中には、リピート再生できません。
- プログラム再生中はリピート再生できません。
- 停止■ボタン、ステップボタン、メニューボタンなど他のボタンを押すと、リピート再生は解除されます。

再生したい部分だけを繰り返す（A-Bリピート再生）

DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD　CD

再生したい部分（シーンや曲など）を指定して、リピート再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

1 **再生中に、プログラム/リピートボタンを3回押す。**

A ⊊ が点滅します。

2 **繰り返す部分の始点（A点）で決定ボタンまたは再生▷ボタンを押す。**

A ⊊ B が点滅します。

3 **繰り返す部分の終点（B点）でもう1度決定ボタンまたは再生▷ボタンを押す。**

A ⊊ B が点灯します。

終点（B点）が設定され、指定した部分を繰り返して再生します。

通常の再生に戻すには

プログラム/リピートボタンを押して、A ⊊ B 表示を消します。

ちょっと一言

- DVDでは、タイトルをまたいだA-Bリピート再生はできません。

ご注意

- ビデオCDのPBC再生中は、A-Bリピート再生できません。
- プログラム再生中はA-Bリピート再生できません。
- 停止■ボタン、ステップボタン、メニューボタンなど他のボタンを押すと、A-Bリピート再生は解除されます。

JPEG画像を見る

DATA CD

JPEG画像について

本機は、CD-RまたはCD-RWディスク（データCD）に記録されたJPEG形式の静止画ファイルを再生できます。JPEGとはデジタル静止画像を圧縮する技術です。容量は最大2MB、目安として解像度300万画素相当を再生できます（解像度300万以上のファイルでも、容量が2MB以内であれば再生可能です）。
画像ファイルフォーマットがDCF*に準拠しているJPEG画像のみ再生可能です。「.jpg」という拡張子が付いています。

* "Design rule for Camera File system"：JEITA（（社）電子情報技術産業協会）が制定した規格。

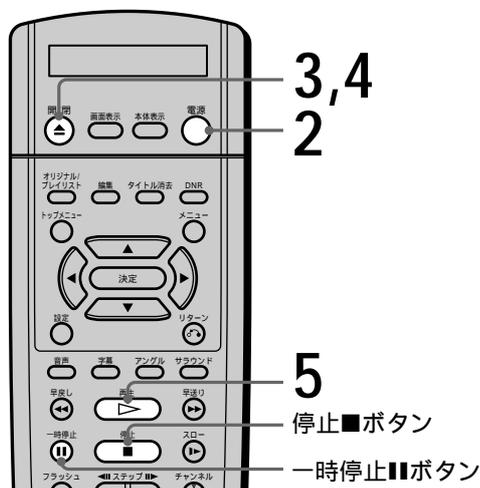
ちょっと一言

- フォルダ8階層までのJPEG画像を認識できます。
- フォルダ名、ファイル名は半角英数字8文字まで表示できます。8文字以上のファイル名がついている静止画は再生できないことがあります。また、半角数字以外のときは、正しく表示されなかったり、再生できないことがあります。

ご注意

- マルチセッションディスクは正しく再生できません。
- フォルダ数やファイル数、データの容量によっては正しく再生を始めるのに時間がかかることがあります。
- 本機はパケットライト方式で作成したディスクを再生できないため、下記のソニー製品で記録したJPEG画像を再生できません。（2002年11月現在）
  - デジタルフォトプリンターDPP-SV88
  - デジタルスチルカメラMVC-CD1000、MVC-CD200、MVC-CD250、MVC-CD300、MVC-CD400
- 最大256フォルダ、合計4096ファイルまで認識できます。
- JPEG形式でも、ファイルによっては再生できないことがあります。
- 音楽や映画などと静止画（JPEGファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEGファイル）のみ再生できます。また、ディスクによっては、再生できないことがあります。
- パソコンで作成、修正、コピーや編集などを行った静止画（JPEGファイル）は再生できないことがあります。
- 静止画（JPEGファイル）の再生中は、「再生初期設定」の「プログレッシブ再生」を「入」に設定していても「切」の状態で再生します。

スライドショーで見る

データCD（CD-R/RW）に記録されているJPEG画像を表示できます。複数のJPEG画像が記録されている場合、自動的に全ての画像を順番に表示します。
画像が切り換わる時間は、ファイルの容量によって異なります。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

2 **電源ボタンを押す。**

3 **開/閉⏏ボタンを押して、JPEGが記録されているディスクを入れる。**
再生したい面を下にして置きます。

4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**
表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

5 **再生▷ボタンを押す。**
記録されている画像を順番に再生します。最後の画像を再生し終わると、自動的に停止します。
画像を選んで再生するときは、「画像を選んで見る」をご覧ください。

再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。

画像を選んで見る

データCD（CD-R/RW）に記録されているJPEG画像のファイルをフォルダから選んで表示できます。

1 **停止中に、メニューボタンを押す。**
フォルダ選択画面が出ます。

テレビ画面

メニュー

フォルダ選択
1／2
100MSDCF　102MSDCF
103MSDCF　104MSDCF
105MSDCF　106MSDCF
107MSDCF　108MSDCF
▼▲◀▶で選び　決定を押す　で戻る

2 **◀/▲/▼/▶で再生したいフォルダを選んで、決定ボタンを押す。**
ファイル選択画面が表示されます。

3 **◀/▲/▼/▶で再生したいファイル（画像）を選んで、決定ボタンを押す。**
選んだ画像を全画面で表示します。

再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

再生中に別のファイルを再生するには

手順**3**でリターンボタンを押してファイルを選ぶ画面に戻り、別のファイルを選びます。

再生中に別のフォルダを選ぶには

手順**3**でメニューボタンを押してフォルダ選択画面に戻り、別のフォルダを選びます。

1つ先や1つ前のファイルを再生するには

⏮ または⏭ボタンを押します。

拡大表示（ズーム）するには

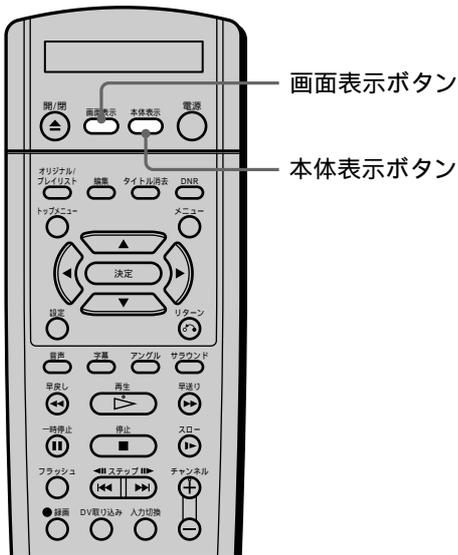
再生中にズームボタンを押します。
◀/▲/▼/▶で拡大した部分を移動します。
通常の画面に戻るには、ズームボタンを繰り返し押して解除します。

画像を回転するには

再生中にアングルボタンを押します。
押すたびに、90度ずつ時計回りで画像が回転します。

ディスクの情報や残り時間を見る

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD DATA CD CD

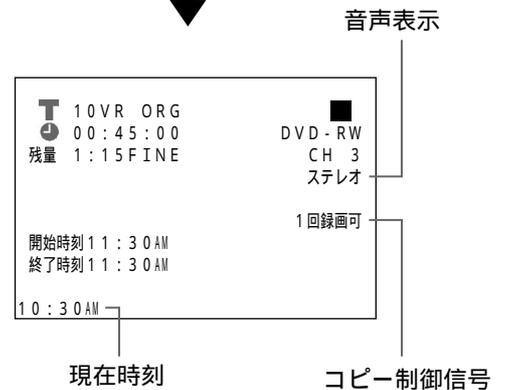
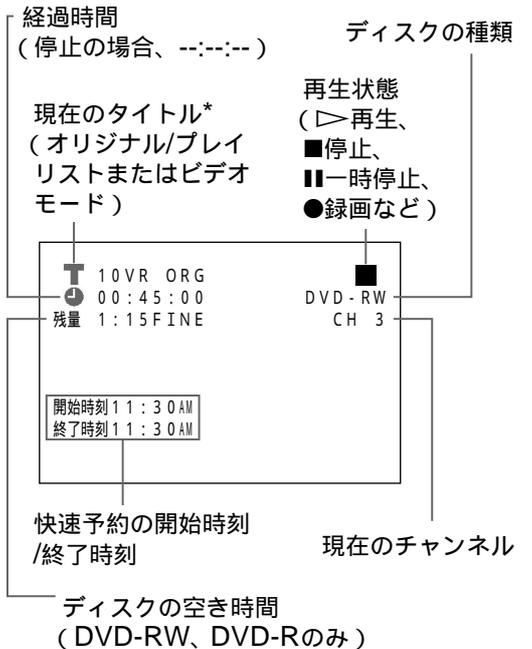
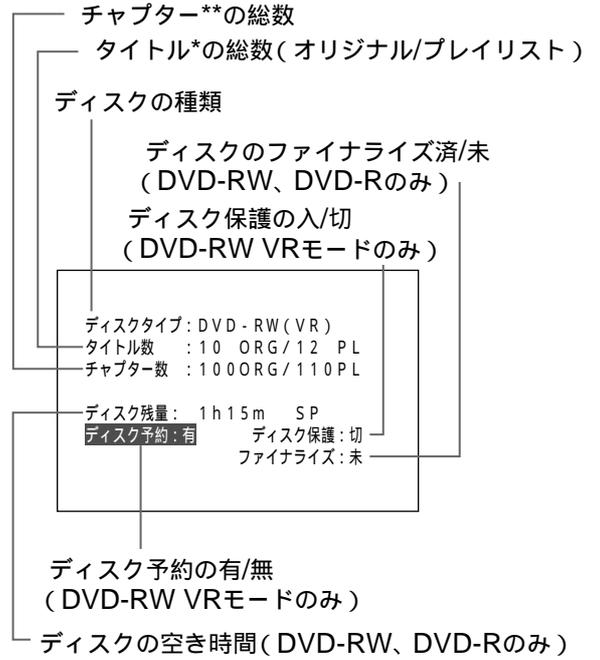
タイトルやチャプター、トラックの経過時間や残り時間、録画モードやディスクの空き時間などのディスク情報を見ることができます。

画面表示ボタンを押す。

テレビ画面にディスクの情報などが出ます。
ボタンを押すたびに、次のように画面表示が変わります。

例）DVD-RWのVRモードのとき

画面表示なし

* ビデオCD（PBC再生時）のときはシーン、ビデオCD/CDのときはトラック、データCDのときはアルバムが出ます。

**CDのときはトラック、データCDのときはファイルが出ます。

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを繰り返し押します。

ちょっと一言

- 「1回だけ録画可能」または「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像を入力したときに画面表示すると、「1回録画可」または「録画禁止」が出ます。コピー制御信号について詳しくは、☛41ページをご覧ください。
- 空き時間のないディスクやファイナライズ済で録画できないディスクを入れると、ディスクの残量に0h00mまたは、0:00が出ます。
- ディスクによって、表示される内容が異なります。

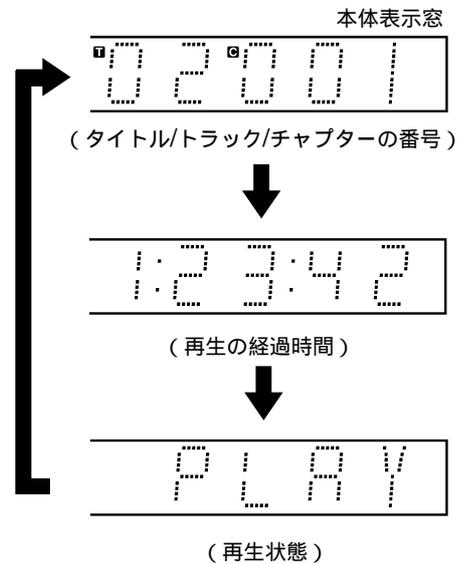
ご注意

- 使用中のディスクや動作状態によっては、出ない情報があります。
- 録画中は、ディスクの残量表示が実際の残量と異なることがあります。正しい残量時間は、停止時に再度表示するディスク残量で確認してください。

本体表示を見る

本体表示ボタンを押すと本体表示窓の表示を切り換えることができます。

ディスクを再生しているとき

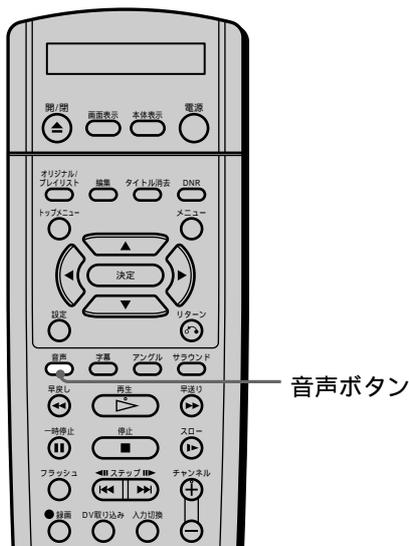
本体表示ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

電源が切れているとき

初期設定画面の「オプション」の「電源オフ時刻表示」を「切」に設定しておくと（☛96ページ）、時刻が出ます。表示は、約1分後に自動的に消えます。

「電源オフ時刻表示」を「入」に設定していると、常に時刻が出て、本体表示ボタンは働きません。

音声を切り換える

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

DVDの再生中に音声の言語や音声記録方式を選ぶことができます。また、CDやビデオCDの再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。
カラオケのビデオCDなどで、伴奏だけ聞くこともできます。

再生中に音声ボタンを押す。

現在再生中の音声番号が表示されます。
ボタンを押すたびに、音声が次のように切り換わります。

- DVD**ビデオのとき**
  選べる言語はディスクによって異なります。同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。
- **ビデオ**CD/CD**のとき**
  — L+R：通常のチャンネル
  — L：左チャンネルの音（モノラル）
  — R：右チャンネルの音（モノラル）
- **二重音声を記録した**DVD-RW（VR**モード**）**のとき**
  — 主：主音声
  — 副：副音声
  — 主＋副：主音声（左）＋副音声（右）

放送受信時の表示について

二カ国語放送など二重音声の番組を受信中に音声ボタンを押すと、主音声、副音声などの音声を切り換えることができます。
デジタル接続したときは、音声を切り換えることはできません。

- 二重音声（二カ国語）放送を受信しているとき
  以下の表示を切り換えることができます。
  主：主音声
  副：副音声
  主　副：主音声（左）＋副音声（右）
- ステレオ放送を受信しているとき
  ステレオが表示されます。
- モノラル放送を受信しているとき
  音声は表示されません。

※ステレオ放送受信中やモノラル放送受信中は、音声は切り換わりません。

ちょっと一言

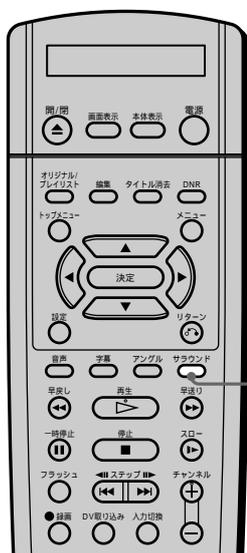
- DVDビデオでいつも使いたい音声の種類を設定することができます。詳しくは、「再生に関する設定」の「ディスク優先言語」（☛91ページ）をご覧ください。
- 複数の音声が記録されているDVDビデオで、音声の切り換えが音声ボタンでできない場合、DVDメニューから設定できることがあります。
- 再生設定画面でも音声を切り換えることができます（☛38ページ）。

ご注意

- 複数の音声が記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。
- DVDビデオを再生中、自動的に音声が切り換わることがあります。
- ドルビーデジタル出力をしている場合、再生時に二カ国語放送の音声を切り換えることはできません。

バーチャルサラウンドを楽しむ

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

バーチャルサラウンド（スペシャライザー方式）機能を使うと、リアスピーカーがなくても実在するフロントスピーカー（L、R）のみの音から創られた仮想サラウンドが楽しめます。
デジタルサラウンド（スペシャライザー方式）機能は、デスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されています。*Spatializer*®とN-2-2™、四角に丸のマークは、デスパー・プロダクツ社の商標です。

再生中にサラウンドボタンを押す。

通常の音声に戻すには

サラウンドボタンをもう一度押します。

ちょっと一言

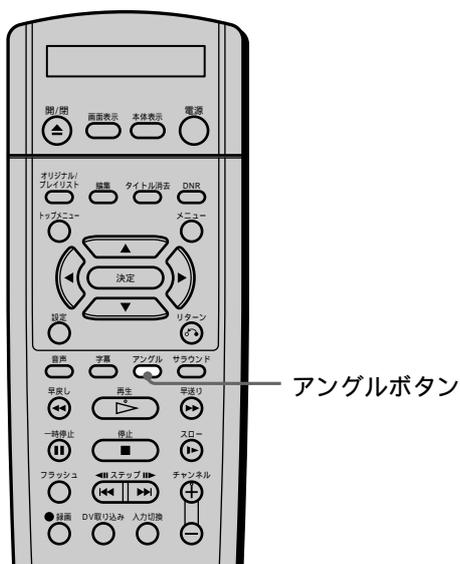
- 次のデジタル接続をしたときにも、バーチャルサラウンド機能が楽しめます。
  – DVDのリニアPCM音声を再生したとき
  – 再生初期設定の「Dolby Digital出力」を「PCM」に設定し、ドルビーデジタル音声を再生したとき
- 再生設定画面でも設定することができます（☞38ページ）。
- バーチャルサラウンドの効果がないディスクや音声を再生すると、バーチャルサラウンドは自動的に「切」に設定されます。
- オーディオDRC機能のあるDVDビデオを再生してバーチャルサラウンドを楽しむには、再生初期設定の「オーディオDRC」を「スタンダード」に設定します（☞91ページ）。

ご注意

- テレビ放送や外部入力からの音声は効果がありません。
- モノラルで記録した音声には効果がありません。
- 二重音声を記録したVRモードのDVD-RWディスクには効果がありません。
- カラオケ用ディスクのマルチカラオケ音声や、96kHzリニアPCM音声、DTS音声には効果がありません。

アングルを切り換える
（マルチアングル）

DVD-VIDEO

複数のアングルがディスクに記録されているとき、好きなアングルに切り換えることができます。
たとえば、動いてる電車のシーンの再生中に、電車の正面から見ていた景色を、右の窓からの景色に切り換えて見ることができます。アングルを変えられるときは、本体の表示窓に （アングルマーク）が出ます。

再生中にアングルボタンを押す。

現在再生しているアングル番号が出ます。
ボタンを押すたびに、アングルが切り換わります。

ちょっと一言

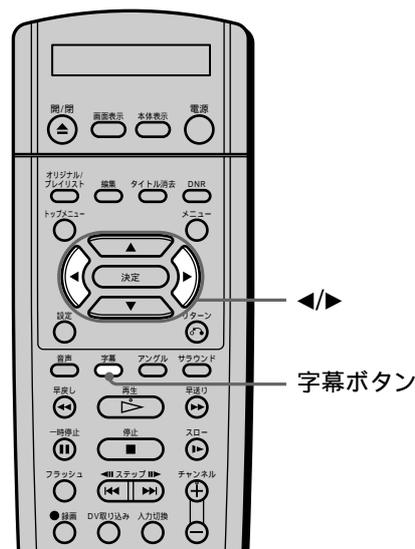
- 再生設定画面でもアングルを切り換えることができます（☛36ページ）。
- アングルが1つしかないディスクのときは、画面に「 ××」と出ます。

ご注意

- ディスクによっては、複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

字幕を表示する

DVD-VIDEO

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり消したりすることができます。複数の言語で字幕が記録されているときは、字幕を切り換えて、語学の学習に役立てたりできます。

再生中に字幕ボタンを押す。

ボタンを押すたびに、字幕の言語が切り換わります。

字幕を消すには

字幕番号などが画面に出ているときに◀/▶で「切」を選ぶか、字幕ボタンを繰り返し押して「切」を選びます。

ちょっと一言

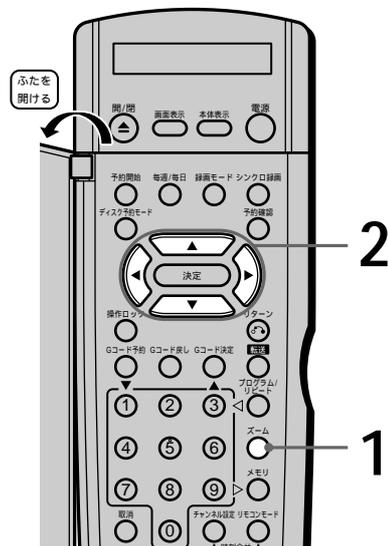
- 複数の字幕が記録されているディスクで字幕の切り換えが字幕ボタンでできない場合、DVDメニューから設定できることがあります。
- DVDビデオでいつも使いたい字幕の種類を設定することができます。詳しくは、「再生に関する言語」の「ディスク優先言語」（☛91ページ）をご覧ください。
- 再生設定画面でも字幕を切り換えることができます（☛38ページ）。

ご注意

- ディスクによっては、複数の字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。
- ディスクによって操作が異なるので、ディスクの取扱説明書もご覧ください。

映像を拡大する
（ズーム）

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

再生中にお好みの映像を拡大して表示することができます。

1 **再生中にズームボタンを押す。**
映像が拡大され、「ズーム：１」が出ます。

ボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。
ズーム：1（約1.2倍）→ ズーム：2（約1.5倍）→ ズーム：3（約2.0倍）→ 解除

2 **◀/▲/▼/▶で拡大した部分を移動させる。**
ズーム表示が赤くなると、その方向へはそれ以上移動しません。

通常の画面に戻すには

手順**1**で「解除」を選びます。

ご注意

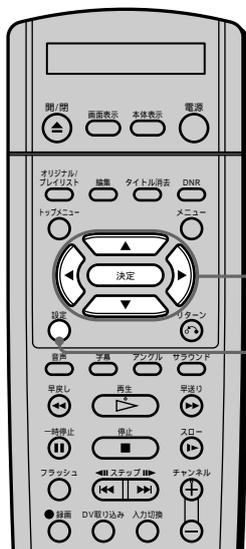
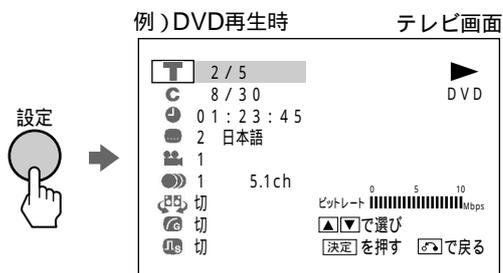
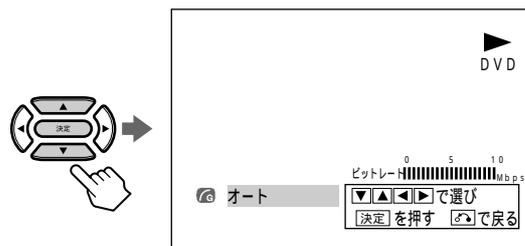
- ズームに切り換えるとき、画像が乱れることがあります。
- 字幕表示はズームされません。
- 再生▷ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタンなどを押すと、ディスクによってはズームが解除されます。
- DVD-RWディスクのVRモードでは、タイトルをまたぐとズームは解除されます。

再生

画質を調整する

お好みに合わせて、映像の画質を調整することができます。

暗い部分を見やすくする（デジタルガンマ） DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD

暗い映像を再生しているとき、暗い部分を明るくして見やすくすることができます。明るい部屋で再生しているときなど、映像の暗い部分が見やすくなり、奥行きのある映像が楽しめます。

1 **再生中に、設定ボタンを押す。**
再生設定画面が出ます。

2 **▲/▼で（デジタルガンマ）を選び、決定ボタンを押す。**

3 **▲/▼で「入」を選びます。**

4 **◀/▶でレベルを調整し、決定ボタンを押す。**
- ▶を押すと明るくなります。
- ◀を押すと戻ります。

通常の画面に戻すには

手順**3**で「切」を選びます。

ちょっと一言

- 手順**3**で「オート」を選ぶと、映像の明るさに合わせて、本機が自動的にガンマレベルを調整します。

ご注意

- プログレッシブ再生中にガンマレベルの調整はできません。

シャープネスを設定する

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD**

映像の細かな部分や輪郭を強調してくっきりとした映像を再現したり、ノイズを少なくして見やすい映像にすることができます。

1 **再生中に、設定ボタンを押す。**

再生設定画面が出ます。

例）DVD再生時　テレビ画面

2 **▲/▼で（シャープネス）を選び、決定ボタンを押す。**

3 **▲/▼で「入」を選びます。**

4 **◀/▶でレベルを調整し、決定ボタンを押す。**

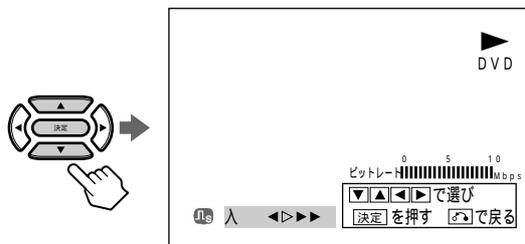
- ▶を押すと映像がくっきりします。
- ◀を押すと戻ります。

通常の画面に戻すには

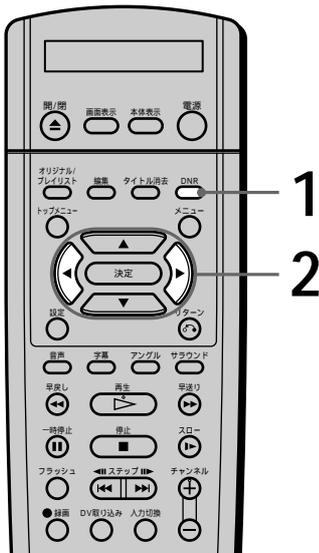
手順**3**で「切」を選びます。

ご注意

- プログレッシブ再生中にシャープネスは働きません。

次のページにつづく

映像のノイズを減らす（DNR）

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD

DNR（デジタルノイズリダクション）機能を使うと、画面上にモザイクのようにあらわれるブロックノイズを低減することができます。

1 **再生中に、DNRボタンを繰り返し押して、「入」を出す。**

2 **◀/▶でレベルを調整する。**

- ◀を押すと効果が弱くなります。
- ▶を押すと効果が強くなります。

通常の画面に戻すには

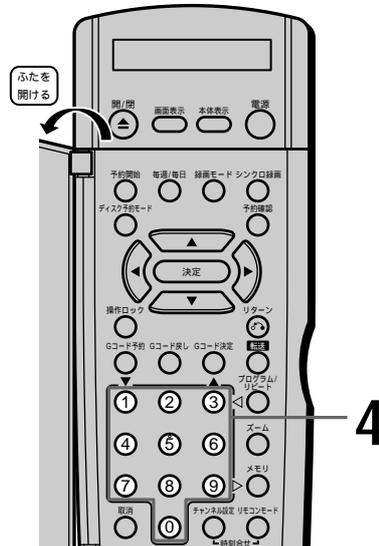
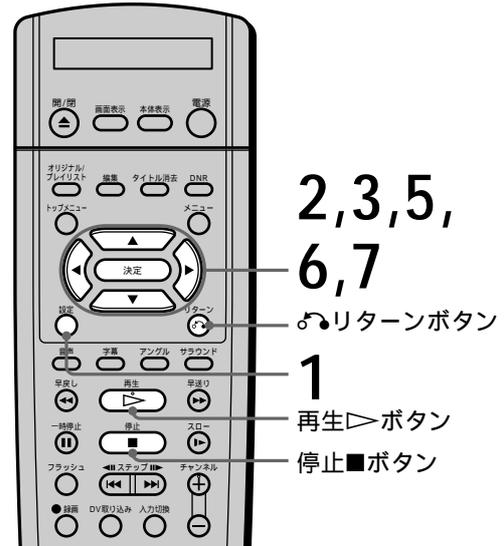
手順**1**で「切」を選びます。

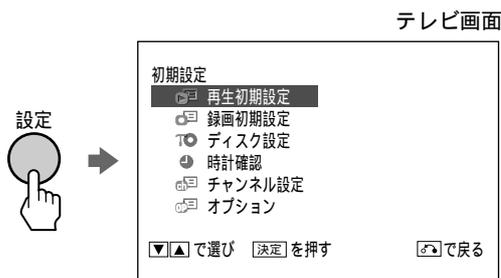
ご注意

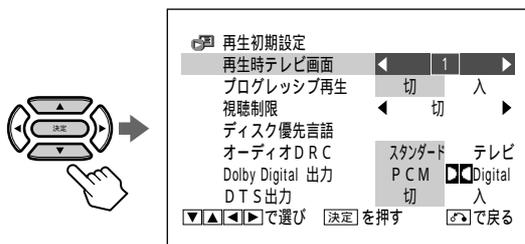
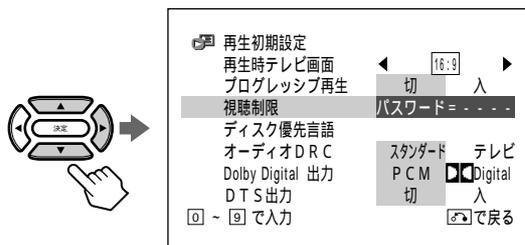
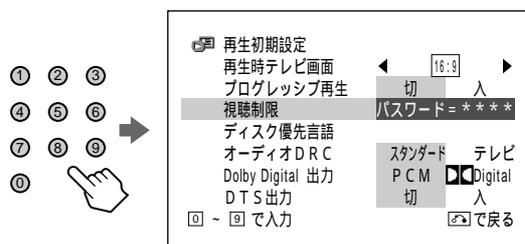
- プログレッシブ再生中にDNRは働きません。

ディスクの再生を制限する（視聴年齢制限）

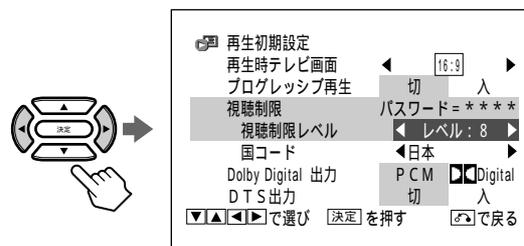
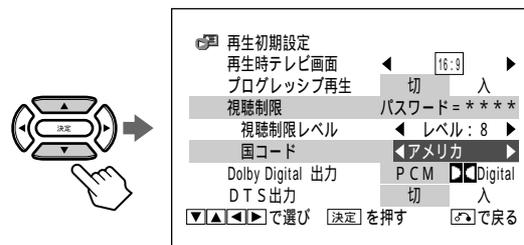
DVD-VIDEO

本機のレベルをディスクのレベルよりあらかじめ小さく設定しておくと、視聴年齢制限つきDVDディスクの再生できるシーンの視聴を制限することができます。

1 停止中に設定ボタンを押す。

初期設定画面が出ます。

2 ▲/▼で「再生初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

再生初期設定画面が出ます。

3 ▲/▼で「視聴制限」を選び、▶を押す。

4 数字ボタンで4桁のパスワードを入力する。

- **パスワードをはじめて入力するとき**
  パスワードは「？？？？」が出ます。最初に入力した4桁のパスワードが登録されます。確認のため同じパスワードを入力します。登録した番号を控えておくと便利です。

5 ◀/▶で制限するレベルを選ぶ。

レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

6 ▲/▼で国名を選ぶ項目を選ぶ。

7 ◀/▶で国名を選び、決定ボタンを押す。

視聴年齢制限の設定が終了します。

国コードについて

本機では、次の国コードを設定することができます。国コードは、ディスクに指定されている国コードを指定します。
以下の国コードを選ぶことができます。
　アメリカ、カナダ、日本、ドイツ、フランス、イギリス、イタリア、スペイン、スイス、スウェーデン、オランダ、ノルウェー、デンマーク、フィンランド、ベルギー、香港、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、台湾、フィリピン、オーストラリア、ロシア、中国

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

設定画面を消すには

設定ボタンを押します。

暗証番号を変更するには

手順4で停止■ボタンを4回押します。パスワードが解除され、パスワードを設定し直すことができます。

次のページにつづく

ディスクの再生を制限する（つづき）

視聴年齢制限できるディスクを再生するとき

1 ディスクを入れて再生▷ボタンを押す。
視聴制限画面が出ます。

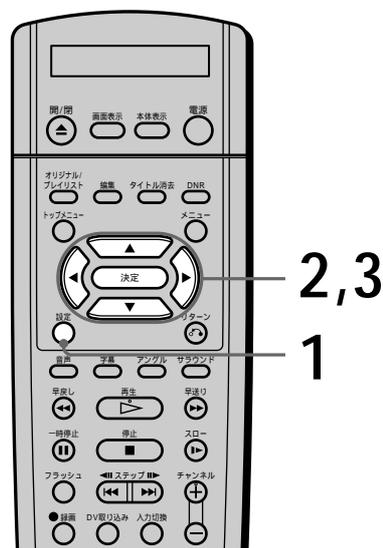
2 •「レベルの一時変更を行いますか」に◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
視聴制限のパスワード入力画面が出ます。手順**3**に進みます。
• ◀/▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す。
視聴制限画面が終了します。

3 数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、決定ボタンを押す。
再生が始まります。

ご注意
• 視聴年齢制限情報がないディスクは、本機で視聴制限をしても再生は制限されません。

再生設定画面で設定する

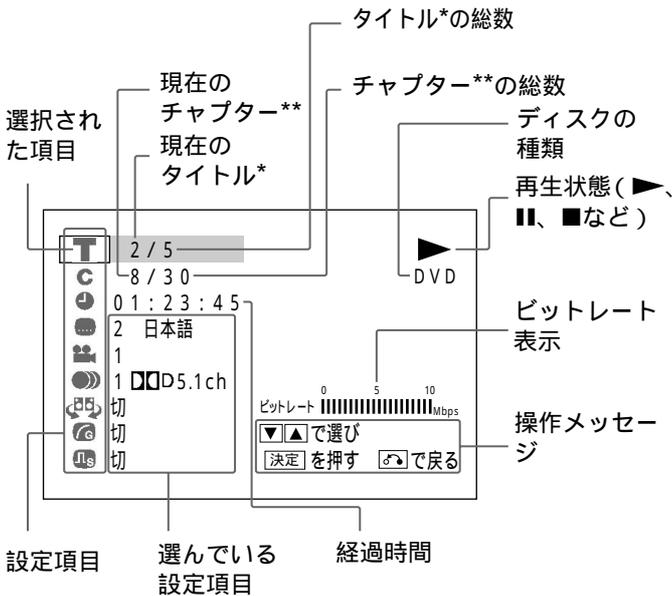
DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD DATA CD CD

再生中に再生設定画面を出し、再生に関する設定ができます。

1 **再生中に、設定ボタンを押す。**
再生設定画面が出ます。

2 **▲/▼で項目を選び、決定ボタン押す。**

3 **◀/▲/▼/▶で設定する内容を選び、決定ボタンを押す。**
各項目の詳しい内容は次の「再生設定画面項目一覧」をご覧ください。

再生設定画面の見かた

例）DVDビデオのとき

* ビデオCD（PBC再生時）のときはシーン、ビデオCD/CDのときはトラック、データCDのときはアルバムが出ます。
**ビデオCD/CDのときはインデックス、データCDのときはファイルが出ます。

再生設定画面項目一覧

項目	項目名・機能
T	**タイトル（☞21ページ）/シーン（☞21ページ）/トラック（☞21ページ）** 再生しているタイトルやシーン、トラックの番号が出ます。また、見たいタイトルやシーン、トラックの番号を入力して頭出しすることもできます。
C	**チャプター（☞21ページ）** 再生しているチャプターの番号が出ます。また、見たいチャプターを入力して頭出しすることもできます。
	経過時間（☞21ページ） タイトルの最初から現在までの経過時間が出ます。また、見たいシーンの経過時間を入力して頭出しすることもできます。
	字幕（☞32ページ） 字幕を表示します。 字幕の言語を切り換えます。
	アングル（☞32ページ） 複数のアングルがディスクに記録されているとき、アングルを切り換えます。
	音声（☞30ページ） ディスクに記録されている音声の言語を選んだり、二重音声の音声を切り換えます。
	バーチャルサラウンド（☞31ページ） バーチャルサラウンドの設定をします。2台のフロントスピーカーのみつないでいるときに設定し、仮想サラウンドを楽しむことができます。
	デジタルガンマ（☞34ページ） デジタルガンマの設定をします。暗い部分を明るくして見やすくします。
	シャープネス（☞35ページ） シャープネスの設定をします。画像の輪郭をはっきりさせたり、ノイズを軽減することができます。

録画・予約

ここでは、次のような録画と予約について説明します。

- テレビ番組などの録画
- 録画終了時刻を設定するクイックタイマー
- 24時間以内の番組を予約する快速予約録画
- 日時などを指定する予約録画
- Gコードを使う予約録画
- ディスクに予約設定を記憶させる予約録画
- 別売りのチューナーとのシンクロ録画

録画・予約の前に必ずお読みください

ここでは、録画・予約を行うときに必要な情報について説明します。

ご注意

- ディスクがいっぱいになって録画が自動的に停止されたあと、電源を切るかディスクを一度取り出すとディスク残量が再計算されます。そのため、ディスクに再度録画できることがあります。

録画するディスクの種類について

録画に使うディスクには、DVD-RWとDVD-Rがあります。DVD-RWディスクでは、VRモードまたはビデオモードで録画できます。
DVD-Rディスクでは、ビデオモードのみで録画できます。
それぞれ99タイトルまで作成できます。
VRモードまたはビデオモードの記録方式などについては、☞9ページをご覧ください。

DVD-RW/DVD-Rディスクをビデオモードで録画するときのご注意

- DVD-RWディスクをビデオモードで録画するときは、Ver 1.1以降のディスクを使用してください。
- ディスクの空き時間は録画するたびに減少します。ファイナライズをするまで残りの時間で追加録画することができますが、上書きすることはできません。
- DVD-RWディスクをビデオモードで録画するときは、ディスクをあらかじめビデオモードで初期化するように設定してください（☞94ページ）。
- 二カ国語放送の番組を録画する場合、あらかじめ音声の種類を設定してください（☞93ページ）。主音声または副音声のどちらかでしか記録できません。
- 録画中に停止■ボタンを押してもすぐには録画が止まらず、最長30秒（LPモードのときは最長60秒）録画が続くことがあります。
- BSデジタル放送などのワイド（16：9）映像をビデオモードで録画して、4：3画面のテレビで見ると、縦長の映像で再生されます。

録画モードについて

本機での録画には、4種類の録画モードがあります。録画できる時間や画質は以下のとおりです。録画可能時間は、4.7GBのディスクを使用したときの録画時間の目安です。

録画モード（録画可能時間）	VRモード	ビデオモード	詳細
FINE（約60分）	○	○	高画質な映像で録画できます
SP（約120分）	○	○	標準的な映像が楽しめます
LP（約240分）	○	○	多少画質は劣りますが、より長い時間録画できます
EP（約360分）	○	×	長時間の録画ができます

ご注意

- 1枚のディスクにVRモードとビデオモードを混在して使用することはできません。DVD-RWディスクでは、初期化することによって記録フォーマットを変えることができますが、初期化するとそれまでに録画された内容はすべて消去されます。
- 一部の録画モードを除き、VBR（可変ビットレート）を使用するため、以下のようなときに画像によって録画時間が異なることがあります。ディスク1枚の録画時間は目安としてご覧ください。
  正確な録画時間は、録画終了後にディスク情報をご覧ください（☛28ページ）。
  - 受信状態の悪いテレビ放送など録画する画質が悪い場合
  - 編集したディスクで録画する場合
  - 静止画などの画像や、音声のみなどを録画し続けた場合
- ビデオモードでは2音声を記録できないため、初期設定の「録画初期設定」の「ビデオモード音声」（☛93ページ）で録画する音声を設定します。この音声設定は、ディスクが本体に入っていると記録時のみでなくテレビ映像の受信時の音声にも影響します。
- DV入力時は二重音声がステレオとして録画されます。そのため、DV入力した二重音声を再生中は、音声を切り換えることができません。

録画できない映像について

「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像は、録画することができません（DVDビデオ、CS放送のペイ・パー・ビューなど）。
録画中の映像の途中から「録画禁止」のコピー制御信号が入る場合、その時点で録画が一時停止されます。「録画禁止」信号がなくなると再び録画を開始します（「録画禁止」信号が入っている部分の映像は録画されません）。
この様な場合は画面上に

この映像は録画が許されていません。

と出ます。

ちょっと一言

- コピー制御信号には「録画自由」「1回だけ録画可能」「録画禁止」の3種類が含まれています。
  本機では著作権保護を目的として、これらのコピー制御信号に対して以下のように動作します。
- 本機で「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれる映像を録画するには、DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応のディスクを使用して、VRモードで録画してください。

本機での録画の可否

	「録画自由」	「1回だけ録画可能」	「録画禁止」
DVD-RW Ver.1.0			
VRモード	○	×	×
DVD-RW Ver.1.1			
VRモード	○	×	×
ビデオモード	○	×	×
DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応			
VRモード	○	○*	×
ビデオモード	○	×	×
DVD-R Ver.2.0			
ビデオモード	○	×	×

* 「1回だけ録画可能」のコピー制御信号を含むタイトルを録画したことのあるディスクは、CPRM対応のDVDレコーダーでのみ再生が可能です。

録画する

DVD-RW **DVD-R**

テレビで見ている番組を録画することができます。

録画を始める前に…

- リモコンと本体のチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：チャンネルを自動で合わせる」)。
- ディスク情報（☞28ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞80ページ)。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できないため、記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞94ページ)。
- ビデオモードでは2音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞93ページ)。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押す。**

3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞94ページ)。

5 **チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶ。**

6 **録画モードボタンを押して録画モードを選ぶ。**

繰り返し押して、「FINE」または「SP」、「LP」、「EP（VRモードのみ)」を選びます。

本体表示窓に選んだ録画モードが出ます。

7 **録画●ボタンを押す。**

- DVD-RW**のとき**
  テレビ画面に「●（録画マーク)」が表示され、録画が始まります。
- DVD-R**のとき**
  録画一時停止になります。もう一度録画●ボタンを押すと、録画が始まります。

録画を停止するまで、またはディスクがいっぱいになるまで録画が続きます。

このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。

録画中に他の番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

録画の開始後5秒以上経ってから、停止■ボタンを押します。
ビデオモードの場合、録画中に停止■ボタンを押してもすぐには録画が止まらず、最長30秒（LPモードのときは最長60秒）録画が続くことがあります。

録画を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。もう一度ボタンを押すと一時停止は解除されます。

ちょっと一言

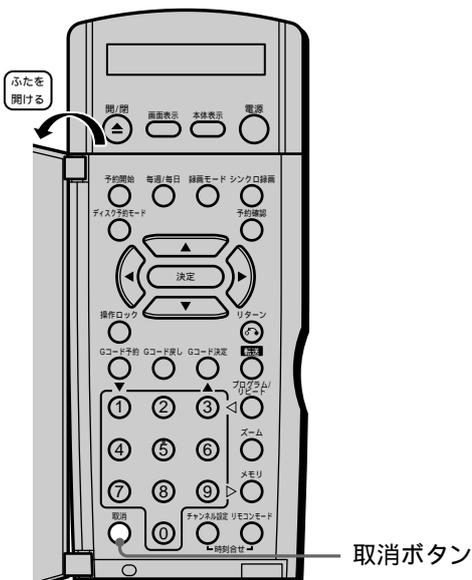
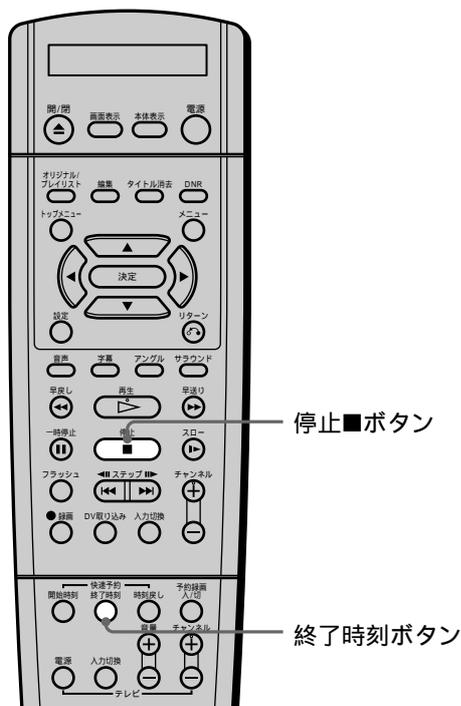
- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順**5**で入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」、「L3」を選びます。詳しくは、「他機をつないで行う操作」（☞82ページ）をご覧ください。
- DVD-Rディスクで録画を開始する操作を録画初期設定の「DVD-R録画開始」（☞93ページ）で設定して、手順**7**で録画●ボタンを押す回数を1回に変えることができます。

決めた時刻まで録画する（クイックタイマー）

DVD-RW　DVD-R

録画中に、15分単位で録画を止める時刻を決めることができます。急用で出かけるときや、眠くなったときに便利です。

録画・予約

次のページにつづく

決めた時刻まで録画する（つづき）

録画中に終了時刻ボタンを繰り返し押して、録画を止める時刻を選ぶ。

ボタンを押すたびに15分ずつ時間が増えます。本体表示窓に┘が点灯します。

例）10:30PM → 10:45PM → 11:00PM → ……

指定した時刻になると、自動的に録画が止まり電源が切れます。

クイックタイマーを解除するには

終了時刻ボタンを押してから、取消ボタンを押します。

録画を止める時刻を変えるには

もう一度終了時刻ボタンを押して、設定し直します。

途中で録画を止めるには

録画の開始後5秒以上経ってから、停止■ボタンを押します。

ビデオモードの場合、録画中に停止■ボタンを押してもすぐには録画が止まらず、最長30秒（LPモードのときは最長60秒）録画が続くことがあります。

ご注意

- DV入力時は、クイックタイマーは働きません。
- ┘ が点滅したり点灯しないときは、クイックタイマーが設定されていません。もう一度設定し直してください。

快速予約で録画する

DVD-RW DVD-R

録画する開始時刻と終了時刻を設定するだけで、24時間以内の番組を予約録画することができます。

録画の開始時刻の2分前までに、設定を完了してください。

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**7**：時計を合わせる」、「準備**8**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞28ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞80ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できないため、記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞94ページ）。
- ビデオモードでは2音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞93ページ）。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは
アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押す。**

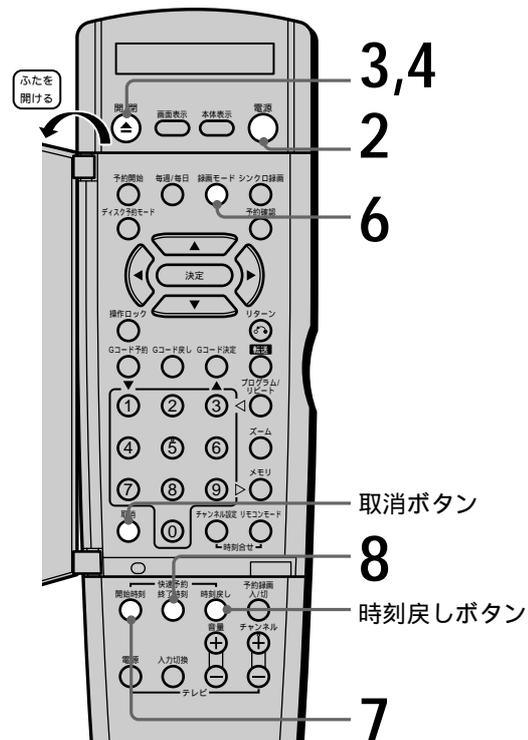
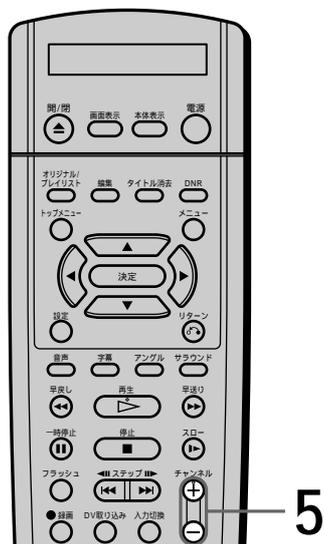
3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞94ページ）。

5 **チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶ。**

6 **録画モードボタンを押して、録画モードを選ぶ。**

繰り返し押して、「FINE」または「SP」、「LP」、「EP（VRモードのみ）」を選びます。
本体表示窓に選んだ録画モードが出ます。

7 **開始時刻ボタンを繰り返し押して、録画を開始する時刻を選ぶ。**

ボタンを押すたびに15分ずつ時刻がすすみます。
本体表示窓に ┘ が点灯します。

- **時刻を選び間違えたときは**
  時刻戻しボタンを押します。15分ずつ時刻が戻ります。

8 **終了時刻ボタンを繰り返し押して、録画を終了する時刻を選ぶ。**

ボタンを押すたびに15分ずつ時刻がすすみます。
しばらくすると、テレビの時刻表示が消え、快速予約待機状態になります（電源は切れません）。

- **時刻を選び間違えたときは**
  時刻戻しボタンを押します。15分ずつ時刻が戻ります。

快速予約を解除するには

開始時刻ボタンまたは終了時刻ボタンを押してから、取消ボタンを押します。

録画の開始/終了の時刻を変えるには

開始時刻または終了時刻ボタンで、それぞれの時刻を選び直します。

快速予約するチャンネルを変えるには

快速予約待機中はチャンネルを変えることができないため、開始時刻ボタンまたは終了時刻ボタンを押してから、取消ボタンを押して設定した快速予約を解除します。そのあと、手順**5**から設定し直してください。

ちょっと一言

- 本機の電源を切っても、録画されます。
- ディスクを入れないと、予約の設定ができません。
- 快速予約の録画待機中にシンクロ録画を設定することはできません。
- 快速予約の録画待機中にタイマー予約の予約待機にすると、快速予約は解除されます。
- 快速予約録画が終了したあとに予約録画が設定されているときは、予約待機状態になります。

ご注意

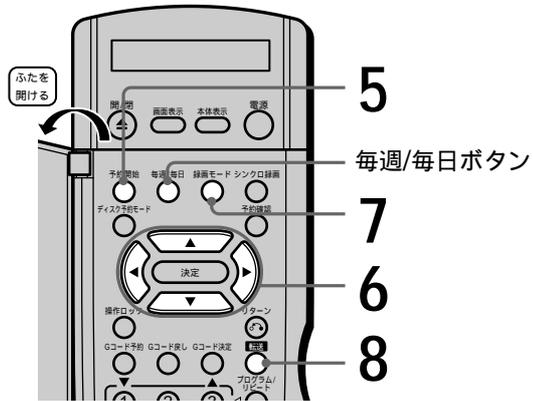
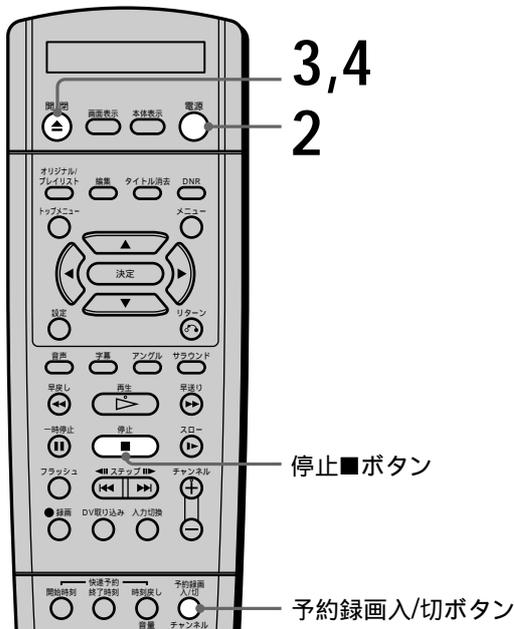
- 快速予約録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- ┘ が点滅したり点灯しないときは、快速予約が設定されていません。手順**1**からやり直して確認してください。
- DV入力時は快速予約が働きません。

タイマーで予約する
（本体予約）

DVD-RW DVD-R

1年先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。Gコード予約（☞49ページ）と合わせ、8番組まで予約できます。

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**7**：時計を合わせる」、「準備**8**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞28ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞80ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できないため、記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞94ページ）。
- ビデオモードでは2音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞93ページ）。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押す。**

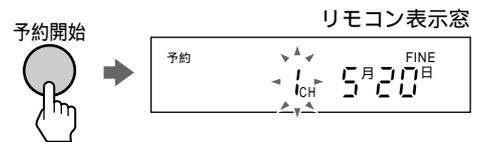
3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞94ページ）。

5 **予約開始ボタンを押す。**

6 ◀/▲/▼/▶でチャンネルと日時を選ぶ。

1 ▲/▼でチャンネルを選び、▶を押す。

▲を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル（CH1、CH3、…）→ CATVチャンネル（C1、C3、…）→ L1 → L2 → L3

- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
  「L1」または「L2」、「L3」を選びます。

2 ▲/▼で日付を選び、▶を押す。

毎日または毎週同じ番組を予約するときは、毎週/毎日ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。

1/18（今日）→ 毎週月 →………→ 毎週日 → 月～日（毎日）→ 月～土 → 月～金 → 1/18（今日）

3 ▲/▼で開始時刻の「時」を選び、▶を押す。
4 ▲/▼で開始時刻の「分」を選び、▶を押す。
5 ▲/▼で終了時刻の「時」を選び、▶を押す。
6 ▲/▼で終了時刻の「分」を選び、▶を押す。

- **間違えたときは**
  ◀を押して前の項目に戻ります。
- **途中で止めるときは**
  予約開始ボタンを押します

7 録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード（SP/LP/EP/FINE）を選ぶ。

8 リモコンを本体に向け、転送ボタンを押す。

本体表示窓に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順に出たあと、電源が切れます。
TIMER RECランプが点灯し、本機が予約待機になります。

- **予約操作を終了するときは**
  予約開始ボタンを押すか、リモコンのふたを閉じます。
- **続けて予約設定するときは**
  手順**5**から繰り返します。

予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押します。
予約録画中に録画を止めると本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中に本機を使うには

予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを消し、その後本機の操作をしてください。本機の操作が終わったら、予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを点灯させ、予約待機状態に戻します。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☛53ページをご覧ください。

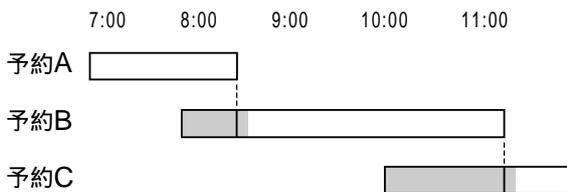
次のページにつづく

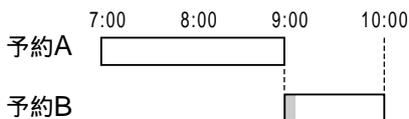
タイマーで予約する（つづき）

予約が重なったり連続したときは

先に始まる予約が優先されます。
□で示した部分は録画しません。

予約の時間が重なっているとき

先に始まる予約が最後まで録画され、その後に重なっている次の予約が録画されます。

予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じとき

先に始まる予約の録画が終了した後、VRモードのときは約10秒後に、ビデオモードのときは最長30秒後（LPモードのときは最長60秒後）に次の録画が始まります。

ちょっと一言

- 予約待機中でも予約できます。
- 開始時刻が同じ予約を設定すると、古い予約が新しい予約に上書きされ、消去されます。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日付に設定されます。
- ディスクの空き時間不足で予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換え、できるだけ多く録画するように設定できます（ジャスト録画）（☞93ページ）。

ご注意

- タイマー予約録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- ビデオモードのDVD-RWディスクとDVD-Rディスクのときは、手順**7**で「EP」を選んでも「LP」で録画されます。
- 次のような場合、手順**8**で転送ボタンを押すとエラーが表示されたり、TIMER RECランプが点滅します。
  －空き容量がないディスクを入れている
  －保護されているディスクを入れている
  －ディスクが入っていない
  －本体の表示窓に「LOAD」が出ている
- 予約待機状態にするときは、必ず ⏏（開/閉）ボタンを使ってディスクトレイを閉めます。本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ってから電源を切り、予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを点灯させ、予約待機状態にします。
- 予約待機にすると、快速予約は取り消されます。
- 1時間以上の停電の場合、予約は取り消されます。時計と予約を設定し直してください。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- DV入力には予約を設定できません。
- 予約録画が実行されなかったときは、本機に予約情報が残ります。予約確認画面で取り消してください（☞53ページ）。

Gコードで予約する

DVD-RW DVD-R

新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコードを使う予約録画です。予約したい番組の日時とチャンネルを自動的に設定できます。
日時などを指定する予約（タイマー予約）と合わせて、8番組まで予約できます。
本体予約とディスク予約のどちらでも、Gコードを使った予約ができます。

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**7**：時計を合わせる」、「準備**8**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞28ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞80ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できないため、記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞94ページ）。
- ビデオモードでは2音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞93ページ）。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

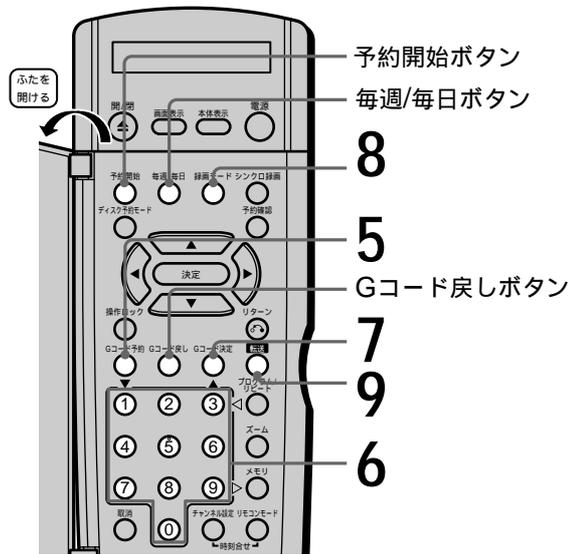
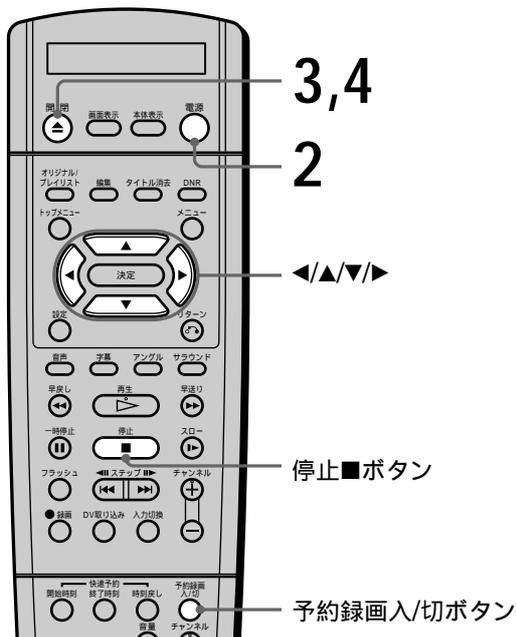
2 **電源ボタンを押す。**

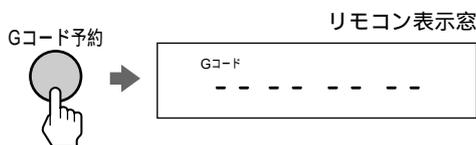
3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

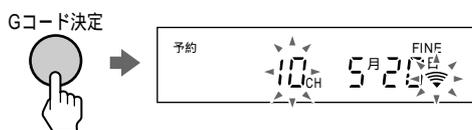
4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞94ページ）。

次のページにつづく

Gコードで予約する（つづき）

5 **Gコード予約ボタンを押す。**
リモコン表示窓にGコード入力画面が出ます。

6 **数字ボタンを押して、Gコードの番号を入れる。**

- **間違えたときは**
  Gコード戻しボタンを押すと1つ前の桁に戻ります。正しい番号を入れ直します。
- **途中で止めるときは**
  Gコード予約ボタンを押します。時刻表示に戻ります。

7 **Gコード決定ボタンを押す。**
予約内容が出ます。

◀/▶で項目を確認し、▲/▼で修正することができます。

- **チャンネルに「– –」が表示されたときは**
  リモコンのチャンネル設定が合っていません。Gコード予約をするためのチャンネル設定をしてください（☞別冊「接続と準備」の「Gコード予約のためのチャンネルを合わせる」）。
- **毎週・毎日予約したいときは**
  毎週/毎日ボタンを繰り返し押して選びます。

  1/18（録画日）→ 毎週月 →………→ 毎週日 → 月〜日（毎日）→ 月〜土 → 月〜金 → 1/18（録画日）

- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
  チャンネルに▲/▼で本機につないだ機器の入力（「L1」または「L2」、「L3」）を選びます。

8 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード（SP/LP/EP/FINE）を選ぶ。**

9 **リモコンを本体に向け、転送ボタンを押す。**
本体表示窓に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順に出たあと、電源が切れます。
TIMER RECランプが点灯し、本機が予約待機になります。

- **予約操作を終了するときは**
  予約開始ボタンを押すか、リモコンのふたを閉じます。
- **続けて予約設定するときは**
  手順**5**から繰り返します。

予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押します。予約録画中に録画を止めると本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合、予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中に本機を使うには

予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを消し、その後本機の操作をしてください。本機の操作が終わったら、予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを点灯させ、予約待機状態に戻します。

9桁のGコード番号を入力したときは

リモコン表示窓は8桁表示のため、9桁のGコード番号を入力したとき、9桁目の数字は出ますが、1桁目の0の数字が表示窓より消えます。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞53ページをご覧ください。

予約が重なったり連続したときは

先に始まる予約が優先されます。詳しくは、☞48ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 予約待機中でも予約できます。
- 開始時刻が同じ予約を設定すると、古い予約が新しい予約に上書きされ、消去されます。
- ディスクの空き時間不足で予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換え、できるだけ多く録画するように設定できます（ジャスト録画）（☛93ページ）。

ご注意

- Gコード予約録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- ビデオモードのDVD-RWディスクとDVD-Rディスクのときは、手順**7**で「EP」を選んでも「LP」で録画されます。
- Gコード予約画面表示中、ボタン操作が1分以上ない場合、自動的にGコード予約画面は消え、時刻表示に戻ります。
- 次のような場合、手順**9**で転送ボタンを押すとエラーが表示されたり、TIMER RECランプが点滅します。
  －空き容量がないディスクを入れている
  －保護されているディスクを入れている
  －ディスクが入っていない
  －本体の表示窓に「LOAD」が出ている
- 予約待機状態にするときは、必ず ⏏（開/閉）ボタンを使ってディスクトレイを閉めます。本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ってから電源を切り、予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを点灯させ、予約待機状態にします。
- 予約待機にすると、快速予約は取り消されます。
- 1時間以上の停電の場合、予約は取り消されます。時計と予約を設定し直してください。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- DV入力には予約を設定できません。
- 予約録画が実行されなかったときは、本機に予約情報が残ります。予約確認画面で取り消してください（☛53ページ）。

ディスク予約する

DVD-RW（VR）

本機にではなく、ディスクに予約を設定することができます。連続ドラマなどを1枚のディスクに録画するときや、自分だけの専用ディスクとして予約録画するのに便利です。
ディスク予約用にVRモードで初期化されたDVD-RWディスクを用意することをおすすめします。1枚のディスクにディスク予約と本体予約を同時に行うことはできません。
ディスク1枚につき、毎日や毎週の予約を含め8番組まで予約できます。
ビデオモードでディスク予約することはできません。

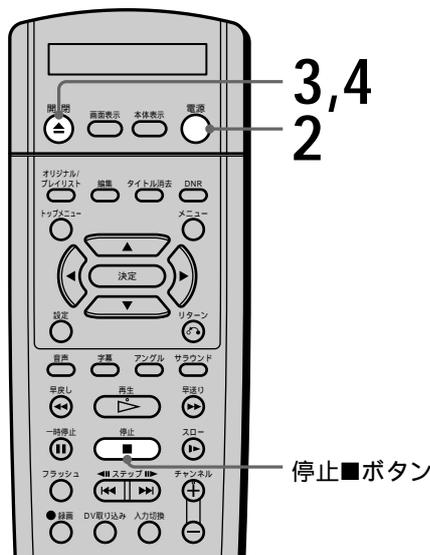
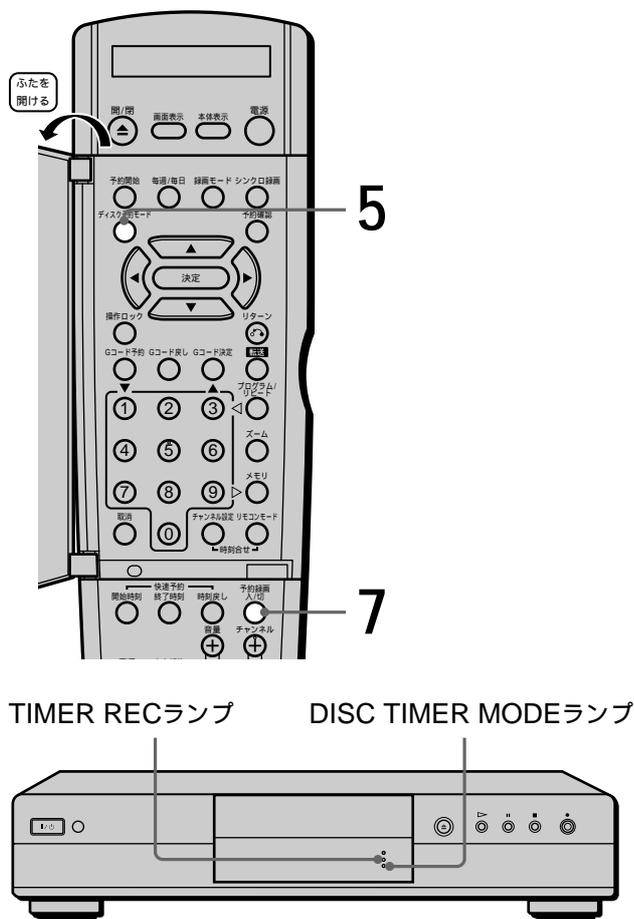
予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☛別冊「接続と準備」の「準備**7**：時計を合わせる」、「準備**8**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☛28ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☛80ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できないため、記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☛94ページ）。

録画・予約

次のページにつづく

ディスク予約する（つづき）

TIMER RECランプ　DISC TIMER MODEランプ

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押す。**

3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞94ページ）。

ディスク予約が設定されているディスクを入れた場合、本体のDISC TIMER MODEランプが点灯し、自動的にディスク予約モードになります。手順**6**へ進みます。

5 **ディスク予約モードボタンを2秒以上押す。**

本体のDISC TIMER MODEランプが点灯し、ディスク予約モードになります。

6 **「タイマーで予約する」（☞46ページ）の手順5～8または「Gコードで予約する」（☞49ページ）の手順5～9を操作して、予約を設定する。**

すでに予約が設定されている場合、手順**7**に進みます。

7 **予約録画入/切ボタンを押す。**

TIMER RECランプが点灯し、本機が予約待機になります。

予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

他にも予約がある場合、予約録画中に録画を止めると本機の予約待機は解除されます。予約録画入/切ボタンを押して、TIMER RECランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中に本機を使うには

予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを消し、その後本機の操作をしてください。本機の操作が終わったら、予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを点灯させ、予約待機状態に戻します。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☛53ページをご覧ください。

予約が重なったり連続したときは

先に始まる予約が優先されます。詳しくは☛48ページをご覧ください。

ちょっと一言

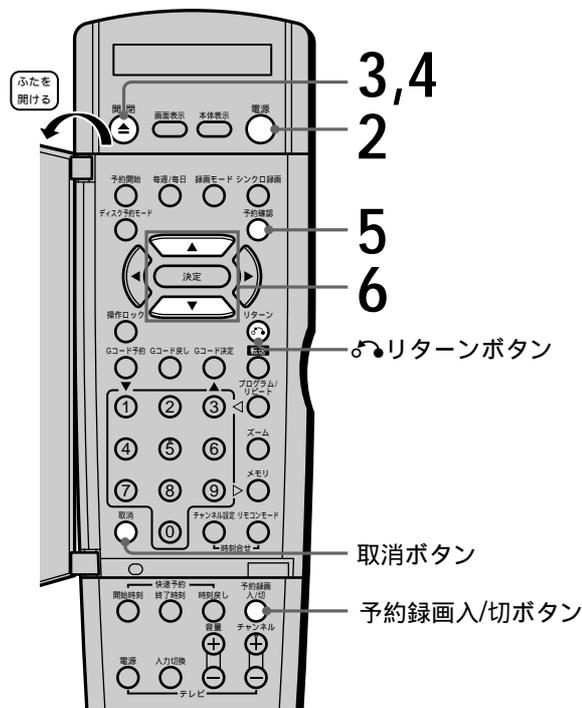
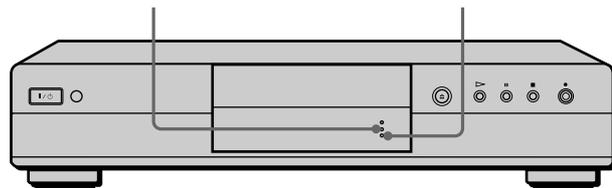
- ディスク予約を設定したディスクを取り出すと、自動的にディスク予約モードが解除されます。
- 開始時刻が同じ予約を設定すると、古い予約が新しい予約に上書きされ、消去されます。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日に設定されます。

ご注意

- ディスク予約録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- ディスク予約を設定したディスクを本機に入れていると、本体予約は働きません。ディスク予約録画がすべて終了するか、ディスク予約をすべて取り消してディスク予約モードボタンを2秒以上押すと、ディスク予約モードが解除されます。
- 次のような場合、手順**6**で転送ボタンを押すとエラーが表示されたり、TIMER RECランプが点滅します。
  －空き容量がないディスクを入れている
  －保護されているディスクを入れている
  －ディスクが入っていない
  －本体の表示窓に「LOAD」と出ている
- 予約待機状態にするときは、必ず ⏏（開/閉）ボタンを使ってディスクトレイを閉めます。本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ってから電源を切り、予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを点灯させ、予約待機状態にします。
- 予約待機にすると、快速予約は取り消されます。
- 1時間以上の停電の場合、予約は取り消されます。時計と予約を設定し直してください。
- DV入力にはディスク予約が働きません。
- 予約録画が実行されなかった場合は、ディスクに予約情報が残ります。予約確認画面で取り消してください（☛53ページ）。

予約を確認・変更する・取り消す

DVD-RW **DVD-R**

テレビ画面を使って、本体予約やディスク予約で設定した予約の確認、変更、取り消しができます。

TIMER RECランプ　DISC TIMER MODEランプ

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押す。**

予約待機中のときは、予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを消します。

予約を確認・変更する・取り消す（つづき）

3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞94ページ）。

5 **予約確認ボタンを押す。**

予約確認画面が出ます。

本体予約のとき　　**テレビ画面**

予約確認（本体予約）　ページ　1／1

録画日	CH	開 始	終 了	モード
5／20	01	9：30PM	10：00	LP
5／21	08	7：00AM	9：00	EP
5／21	12	8：00AM	9：30	FINE
–／––	––	–：––	–：––	––––

▼次ページ

ディスク残量：　1h30m　SP

▼▲で予約選択　取消で予約取消し　↶で戻る

6

- **予約を確認するには**

  テレビ画面に出ている予約の内容を確認します。

- **予約を変更・取り消すには**

  ▲/▼で変更または取り消す予約を選び、取消ボタンを押します。選んだ予約が取り消されます。続けて別の予約を取り消すこともできます。変更するときは、「タイマーで予約する」（☞46ページ）の手順**5**から**8**にしたがって新しい内容の予約を設定し直します。

予約確認画面を消すには

↶リターンボタンを押します。

ちょっと一言

- ディスク予約が設定されているディスクを入れると、DISC TIMER MODEランプが点灯し、手順**5**で自動的にディスク予約の確認画面が出ます。
- 予約を取り消した後他にも予約があるときは、予約録画入/切ボタンを押してください。TIMER RECランプが点灯し、本機が予約待機になります。

別売りのチューナーから録画する（シンクロ録画）

DVD-RW **DVD-R**

別売りの番組予約機能の付いたチューナー（BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、CATVチューナーなど）をつなぐと、チューナーの電源と連動させて予約録画ができます。別売りのチューナーは、必ず本機の入力1端子につないでください（☞別冊「接続と準備」の「別売りのチューナーをつなぐ」）。予約開始時刻にチューナーの電源が入ると、本機が感知し、自動的にビデオ入力「L1」の録画が始まります。

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**7**：時計を合わせる」と「準備**8**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞28ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞80ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できないため、記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞94ページ）。
- 二カ国語放送の番組を録画するときは、録画初期設定の「外部音声」で「二カ国語」を選びます（☞93ページ）。ビデオモードでは2音声を記録できないため、「ビデオモード音声」で音声の種類（「主音声」か「副音声」）を設定してください（☞93ページ）。

録画・予約

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

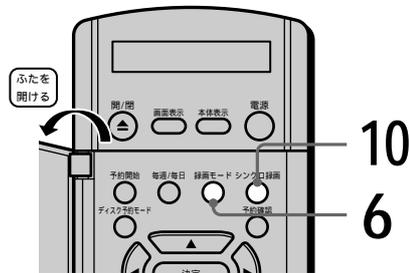
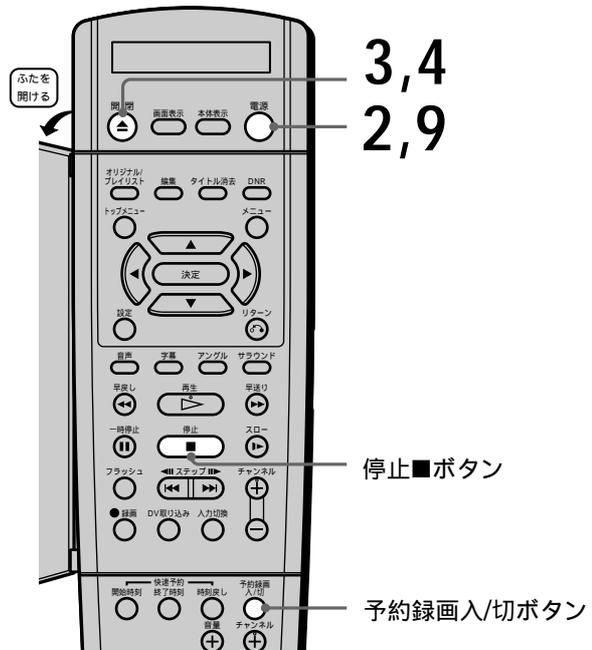
アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押す。**

3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

次のページにつづく

別売りのチューナーから録画する（つづき）

4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクテーブルを閉める。**

本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞94ページ）。

5 **外部入力の音声を選ぶ。**

ニカ国語放送番組を録画する場合、外部音声として「ニカ国語」を選びます（「録画に関する設定」の「外部音声」☞93ページ）。

6 **録画モードボタンを押して録画モードを選ぶ。**

繰り返し押して、「FINE」または「SP」、「LP」、「EP（VRモードのみ）」を選びます。
本体表示窓に選んだ録画モードが出ます。

7 **つないだチューナーで番組予約をする。**

8 **チューナーの電源を切る。**

9 **電源ボタンを押し、電源を切る。**

10 **シンクロ録画ボタンを2秒以上押す。**

SYNCHRO RECランプが点灯し、本機はシンクロ録画予約待機になります。

チューナーの電源が入ると、録画が自動的にはじまり、チューナーの電源が切れると、録画は自動的に止まります。

シンクロ録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押し録画を停止します。シンクロ録画中にシンクロ録画ボタンを2秒以上押すと、通常の録画状態になります。

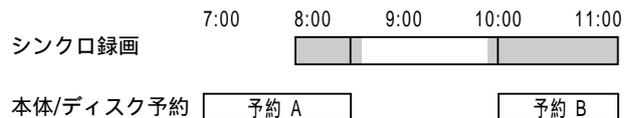
シンクロ録画予約待機を解除するには

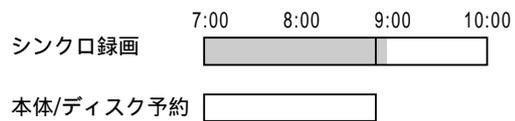
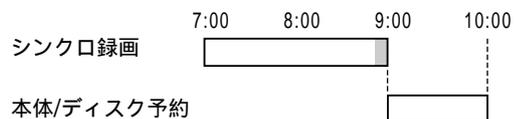
録画がはじまる前に、シンクロ録画ボタンを2秒以上押すか、電源ボタンを押し本機の電源を入れ、SYNCHRO RECランプを消します。
本体予約待機中は、シンクロ録画ボタンを2秒以上押すか、予約録画入/切ボタンを押し本体予約の待機を解除してから、本機の電源を入れます。

シンクロ録画と本機の予約が重なったときは

本体予約やディスク予約の設定が優先されます。
▢で示した部分は録画しません。

シンクロ録画の予約時間に本体予約やディスク予約が重なっているとき

本体予約やディスク予約が終わってからシンクロ録画が開始されます。

予約開始が同じとき

本体予約やディスク予約が終わってからシンクロ録画が開始されます。

シンクロ録画の終了時刻と本体予約やディスク予約の開始時刻が同じとき

ご注意

- シンクロ録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- シンクロ録画中は、通常の録画など、他の操作はできません。
- チューナーからの映像信号を確認してから電源が入り、ディスク情報確認後に録画が開始されるため、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 予約待機状態にするときは、必ず ⏏（開/閉）ボタンを使ってディスクトレイを閉めます。本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ってから電源を切り、予約録画入/切ボタンを押してTIMER RECランプを点灯させ、予約待機状態にします。
- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている番組は録画できません。また、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている番組を録画するには、DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応のディスクを使用して、VRモードで録画してください。
  詳しくは、「録画できない映像について」（☛41ページ）をご覧ください。
- ビデオマウス付チューナーをつないだ場合、本機のシンクロ録画を使うときは、ビデオマウスを使わないでください。
- シンクロ録画予約待機中は、ジャストクロックは働きません。
- 本機のSYNCHRO RECランプが点灯中に、つないだチューナーの電源を入れると、録画が始まります。
  シンクロ録画予約待機中にチューナーを使う場合は、シンクロ録画の設定を解除してください。
- 予約録画が実行されたあとでシンクロ録画が始まる場合、予約録画で設定された録画モードで録画されます。

編集

ここでは、いろいろな編集のしかたについて説明します。
録画したオリジナルのタイトルからプレイリストを作成したり、録画したタイトルを消去してディスクの空き容量を増やしたりすることができます。

- VRモードの場合、プレイリストとオリジナルでのさまざまな編集ができます。
- ビデオモードの場合、タイトル名の変更やタイトルの消去ができます。

編集について

ここでは、編集するときに必要な情報について説明します。
VRモードとビデオモードでは、編集できる内容が異なります。

ご注意

- 他のDVDレコーダーで編集してチャプターマークが199以上あるディスクでは、本機で編集や録画の操作はできません。
- 他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクや、ディスク保護が設定されているディスクでは、編集や録画の操作はできません。
- 本機はフレーム単位での編集ができないため、以下のような場合があります。
  - チャプターマークの追加やシーン消去などの編集を行ったとき、編集画面と実際の画面では、最大0.5秒のズレが出ることがあります。
  - 他のDVDレコーダーでフレーム単位で編集したディスクを再生すると、開始や終了のシーンがずれたり、画像付タイトルメニューに異なった画面が表示されることがあります。
- 他のDVDレコーダーでディスク容量いっぱいに録画したディスクでは、本機で編集の操作ができない場合があります。

VRモードで編集する

（オリジナルとプレイリスト） DVD-RW(VR)

VRモードで録画した映像には、オリジナルでの編集とプレイリストでの編集の2つの方法があります。

- **オリジナルとは**

  実際に録画したそのままの映像です。オリジナルのタイトルを消去すると、ディスクの空き容量が増えます。オリジナルの映像を消去すると、その映像をもとに作ったプレイリストも消去されます。

  オリジナルでは以下のような編集ができます。
  －タイトルに名前をつける（☞74ページ）
  －タイトル内のシーンを消去する（☞75ページ）
  －チャプターマークを追加・消去する（☞76、77ページ）
  －画像付タイトルメニュー画面を変更する（☞78ページ）
  －タイトルを保護する（☞78ページ）
  －録画したタイトルを消去する（☞80ページ）

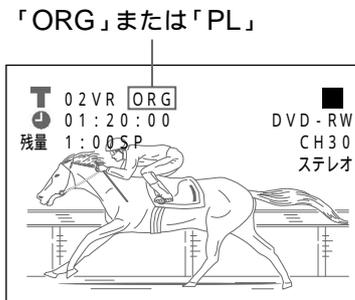
- **プレイリストとは**

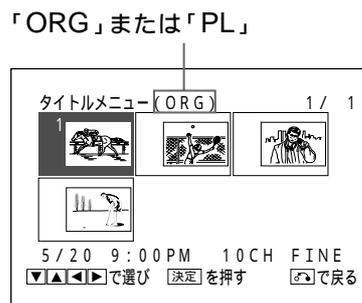
  実際に録画したオリジナルの映像をもとに作る仮想のタイトルです。オリジナルのタイトルはそのままで、再生順をコントロールするための情報だけを記録します。そのため、プレイリストの映像を消去してもオリジナルの映像はなくなりません。また、少ないディスク容量で編集を行えるため、まずプレイリストで編集を楽しむことをおすすめします。99タイトルまで作成できます。

  プレイリストでは以下のような編集ができます。
  －オリジナルのタイトルをコピーして作成する（☞60ページ）
  －オリジナルのシーンをコピーして作成する（☞61ページ）
  －タイトルに名前をつける（☞62ページ）
  －タイトル内のシーンを消去する（☞64ページ）
  －チャプターマークを追加・消去する（☞65、67ページ）
  －タイトルの順番を変える（☞68ページ）
  －オリジナルからシーンを追加する（☞69ページ）
  －画像付タイトルメニュー画面を変更する（☞71ページ）
  －タイトルを消去する（☞72ページ）

オリジナルとプレイリストを切り換えるには

オリジナル/プレイリストボタンを押します。
電源が入っている状態でオリジナル/プレイリストボタンを押すと、テレビ画面に「ORG」（オリジナルの操作状態）か「PL」（プレイリストの操作状態）が出ます。

「ORG」または「PL」

画像付タイトルメニュー画面でオリジナル/プレイリストボタンを押すと、「ORG」と「PL」表示が切り換わります。「ORG」には、オリジナルのタイトルが一覧で出ます。「PL」には、プレイリストのタイトルが一覧で出ます。

「ORG」または「PL」

ちょっと一言

- プレイリストを作成していないと、「ORG」、「PL」の切り換えはできません。

ビデオモードで編集する

DVD-RW(VIDEO) DVD-R

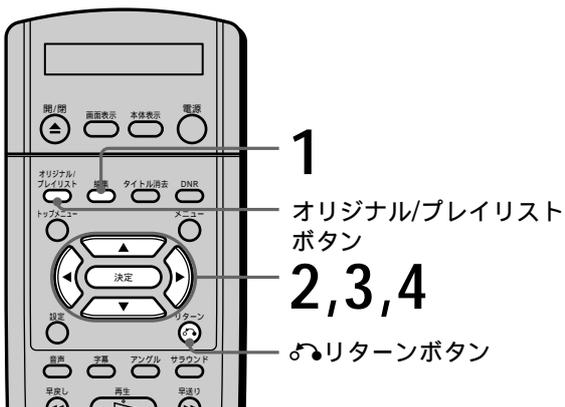
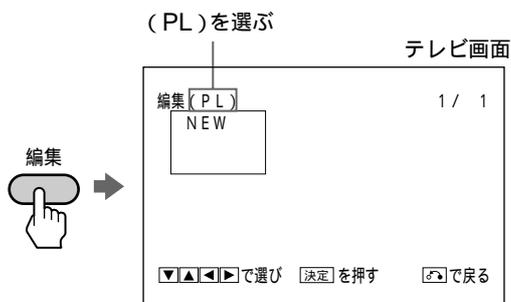
ビデオモードでは、次の編集操作ができます。ただし、ファイナライズ（☞10ページ）を行ったディスクは編集できません。ビデオモードには、プレイリストはありません。
– タイトルに名前をつける（☞74ページ）
– 録画したタイトルを消去する（☞80ページ）

プレイリストを作成する

プレイリストで編集するには、まずオリジナルのタイトルからプレイリストを作成します。プレイリストは99タイトルまで作成することができます。
本機とテレビの電源を入れ、本機に編集する画像が記録されているディスクを入れて、次の操作を行います。
ビデオモードのDVD-RWディスクとDVD-Rディスクでは、プレイリストの作成はできません。

オリジナルのタイトルから作る

DVD-RW（VR）

オリジナルをタイトル単位で選び、新しいプレイリストのタイトルを作成します。

1 **編集ボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面を出す。**
オリジナル（ORG）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面に切り換えます。

2 **◀/▲/▼/▶で画像のないタイトル枠を選び、決定ボタンを押す。**
プレイリストが1つもない場合、位置を選ぶ必要はありません。そのまま決定ボタンを押します。

3 **▲/▼で「タイトルをコピー」を選び、決定ボタンを押す。**
オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

4 **◀/▲/▼/▶でコピーしたいオリジナルのタイトルを選び、決定ボタンを押す。**
新しいプレイリストのタイトルが作成されます。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

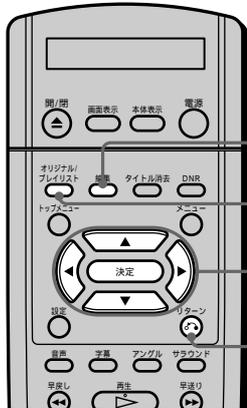
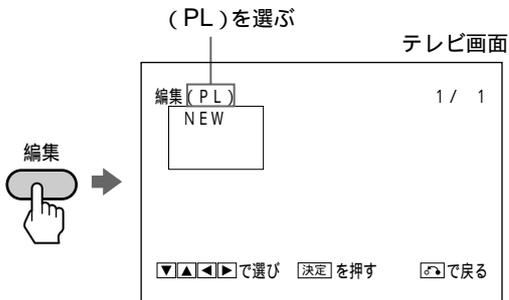
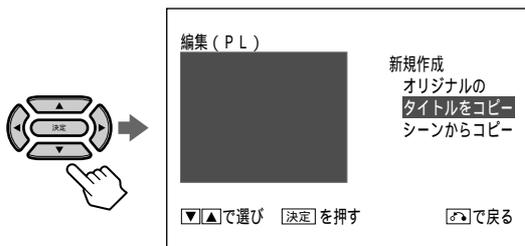
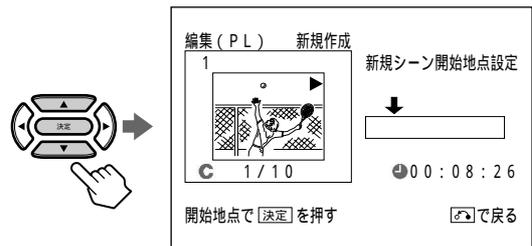
編集画面を消すには

編集ボタンを押します。

ちょっと一言

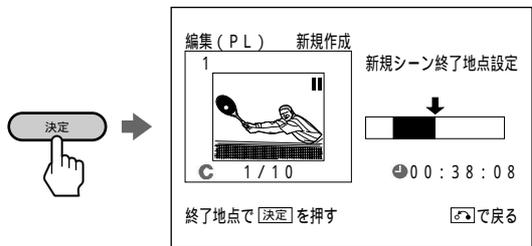
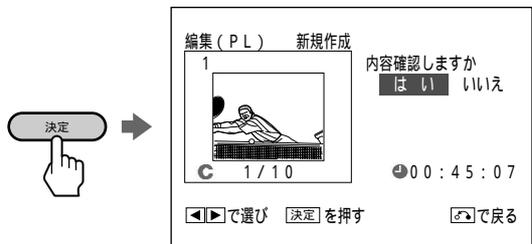
- チャプターマークは、録画時や編集時に自動的に作成されたマークのみがコピーされます。
- オリジナルのタイトル名や変更したピクチャーマークの情報はコピーされません。

オリジナルの一部から作る DVD-RW(VR)

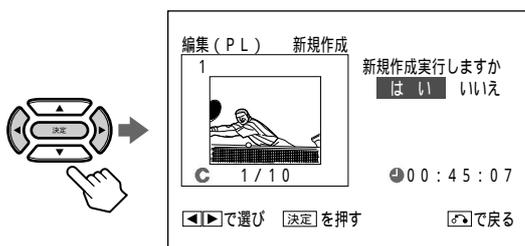
オリジナルから映像の範囲（シーン）を選び、新しいプレイリストのタイトルを作成します。
オリジナルで選ぶシーンは、連続するタイトルをまたいで指定することもできます。

1 **編集ボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面を出す。**
オリジナル（ORG）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面に切り換えます。

2 **◀/▲/▼/▶で最後の画像のないタイトル枠を選び、決定ボタンを押す。**
プレイリストが1つもない場合、位置を選ぶ必要はありません。そのまま決定ボタンを押します。

3 **▲/▼で「シーンからコピー」を選び、決定ボタンを押す。**
オリジナルの映像が再生されます。

4 **コピー開始場面で決定ボタンを押す。**
再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、スロー❚▶ボタンを使って場面を探すことができます。

5 **コピー終了場面で決定ボタンを押す。**

編集

次のページにつづく

プレイリストを作成する（つづき）

6 • **内容を確認するとき**
◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
新しいタイトルの映像を確認します。

• **内容を確認しないとき**
◀/▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す。

7 **◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**
新しいプレイリストのタイトルが作成されます。
◀/▶で「いいえ」を選ぶと、編集画面（新規作成）が終了し、プレイリストは作成されません。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

編集ボタンを押します。

ご注意

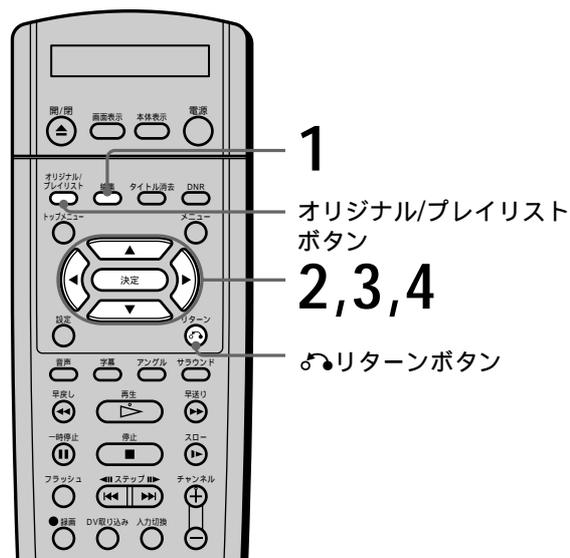
• 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬映像が停止しているように見えることがあります。
• 5秒未満のシーンはコピーできません。
• 手順**4**で開始地点を設定したあとに、早戻し◀◀ボタンや|◀◀ボタンを押して開始地点より前に戻ると、開始地点が解除されます。

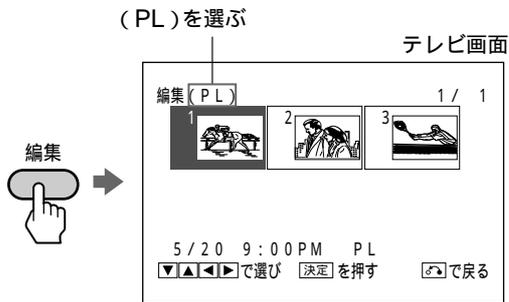
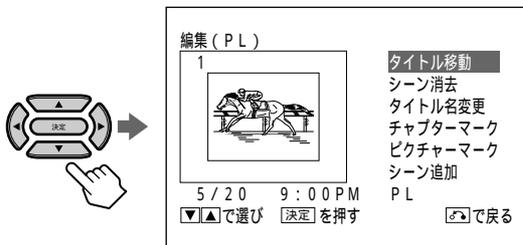
プレイリストを編集する

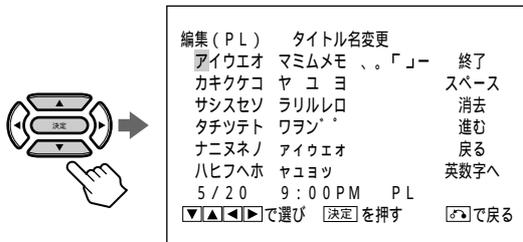
作成したプレイリストを編集します。
場面の追加や移動、消去を行っても、オリジナルのタイトルには影響しません。
本機とテレビの電源を入れ、本機に編集する画像が記録されているディスクを入れて、次の操作を行います。
ビデオモードのDVD-RWディスクとDVD-Rディスクでは、プレイリストの編集はできません。

タイトル名を入力・変更する

DVD-RW（VR）

プレイリストのタイトルに名前をつけたり、変更したりすることができます。
入力できる文字数は、最大24文字までです。

1 編集ボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面を出す。

オリジナル（ORG）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面に切り換えます。

2 ◀/▲/▼/▶で名前を入力・変更したいタイトルを選び、決定ボタンを押す。

3 ▲/▼で「タイトル名変更」を選び、決定ボタンを押す。

タイトル名変更画面が出ます。

4 ◀/▲/▼/▶で新しいタイトル名を入力・変更し、決定ボタンを押す。

詳しくは、「文字の入力のしかた」（☞63ページ）をご覧ください。

文字の入力のしかた

ディスク名やタイトル名の入力、変更をするときの操作は次のとおりです。

1. ◀/▲/▼/▶で文字や文字の種類、動作を選ぶ。
   文字を消去するときは「消去」、スペースを入力するときは「スペース」、カーソルを先へ進めるときは「進む」、前へ戻すときは「戻る」を選びます。
   また、文字の種類を英数字に切り換えるときは「英数字へ」、カタカナに切り換えるときは「カタカナ」を選びます。

編集（PL） タイトル名変更
アイウエオ マミムメモ 、。「 」ー 終了
カキクケコ ヤ ユ ヨ スペース
サシスセソ ラリルレロ 消去
タチツテト ワヲン゛゜ 進む
ナニヌネノ ァィゥェォ 戻る
ハヒフヘホ ャュョッ 英数字へ
5／20 9：00PM PL
▼▲◀▶で選び 決定 を押す で戻る

2. 決定ボタンを押す。
3. 手順**1**〜**2**を繰り返し、入力する。
4. ◀/▲/▼/▶で「終了」を選び、決定ボタンを押す。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

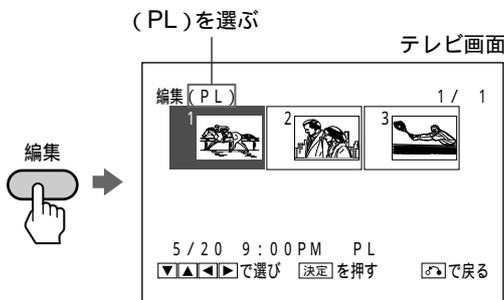
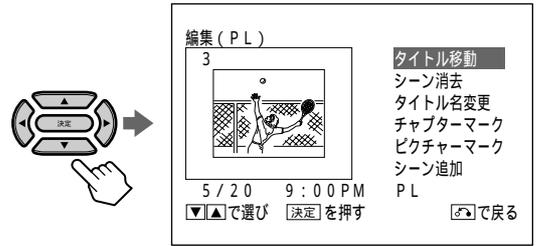
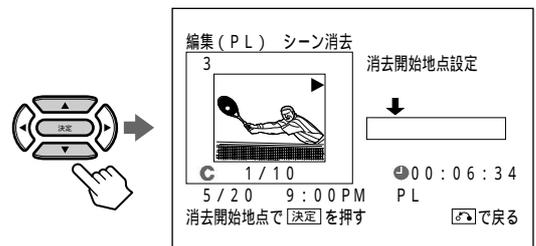
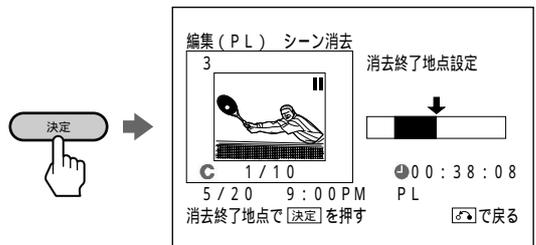
編集ボタンを押します。

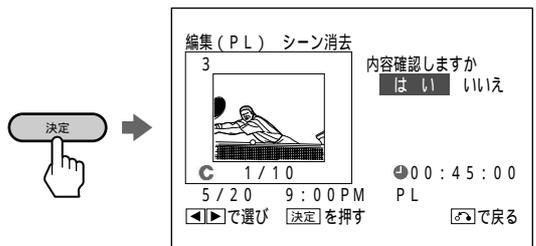
次のページにつづく

選んだ場面を消去する（シーン消去）

DVD-RW(VR)

プレイリストのタイトルから選んだ場面（シーン）を消去します。
シーンを消去したところでチャプターが自動的に区切られます。

1 **編集ボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面を出す。**
オリジナル（ORG）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面に切り換えます。

2 **◀/▲/▼/▶で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

3 **▲/▼で「シーン消去」を選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルを再生します。

4 **消去開始場面で決定ボタンを押す。**
再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、⏮/⏭ボタン、スロー❚▶ボタンを使って場面を探すことができます。

5 **消去終了場面で決定ボタンを押す。**

6

- **内容を確認するとき**
  ◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
  選んだシーンを消去したタイトルが再生されます。
- **内容を確認しないとき**
  ◀/▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す。

7

◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
選んだシーンが消去されます。
◀/▶で「いいえ」を選ぶと、編集画面（シーン消去）が終了し、シーンは消去されません。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

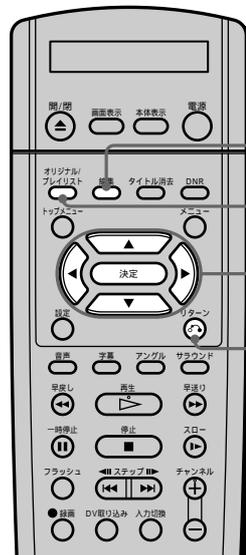
編集ボタンを押します。

ご注意

- 5秒未満のシーン消去はできません。
- 消去開始場面と終了場面としてタイトルの始まりと終わりの5秒間の場面は選べません。
  タイトルの始まりから5秒後までの場面を開始場面として選ぶと、タイトルの始まりが開始場面になります。
  タイトルの終わりから5秒前までの場面を終了場面として選ぶと、タイトルの最後から5秒前が終了地点になります。
  タイトルの終わりの5秒間で開始場面と終了場面の両方を選ぶと、選んだ場面にかかわらず、終わりの5秒間が消去されます。
  また、シーンの追加や消去などをして自動的に追加されたチャプターマークの前後5秒間も、消去開始場面と終了場面として選べません。

チャプターを区切る

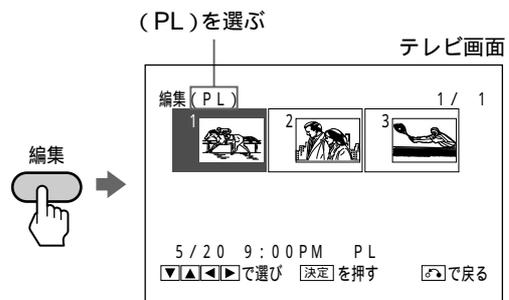
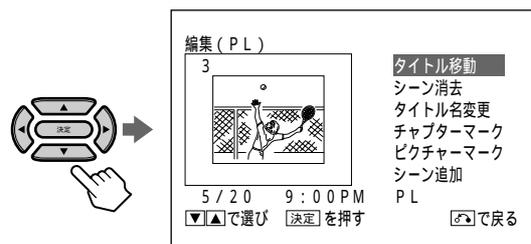
（チャプターマーク追加） DVD-RW（VR）

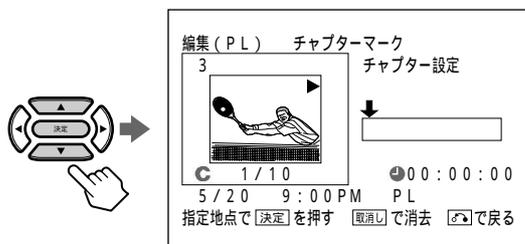
プレイリストのタイトルにチャプターマークを追加して、チャプターで区切ることができます。オリジナルのタイトルには影響ありません。

1

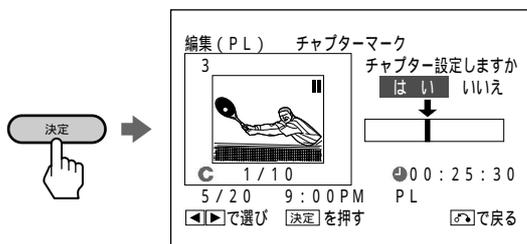
編集ボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面を出す。
オリジナル（ORG）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面に切り換えます。

2

◀/▲/▼/▶で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

3 **▲/▼で「チャプターマーク」を選び、決定ボタンを押す。**

選んだタイトルが再生されます。

4 **チャプターマークを追加する場面で決定ボタンを押す。**

映像が一時停止し、追加したチャプターマークがオレンジ色で出ます。
再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、I◀◀/▶▶Iボタン、スロー❚▶ボタンを使って場面を探すことができます。

5 **◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

追加したチャプターマークが青色で出ます。
チャプターマークを追加する場面を変更するには、「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。手順**4**から繰り返します。
別のチャプターマークを追加するには、手順**4**から繰り返します。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

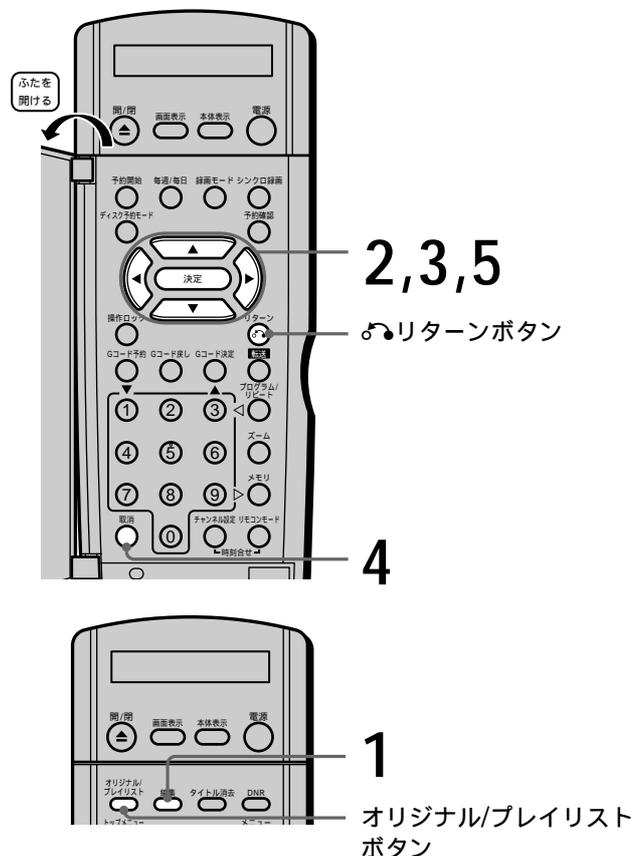
編集画面を消すには

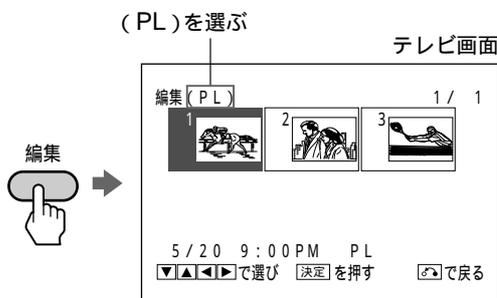
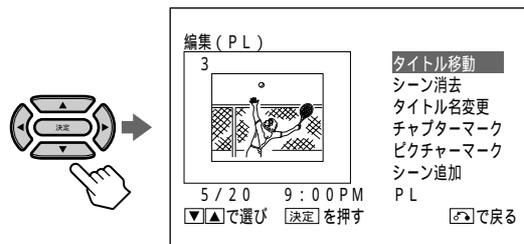
編集ボタンを押します。

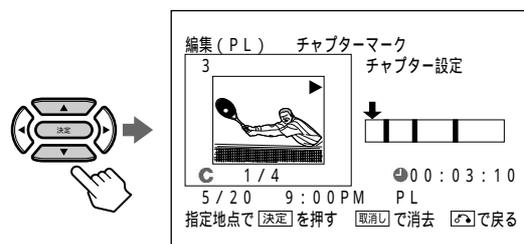
ご注意

- チャプターマークと追加するチャプターマークとの間は5秒以上あけてください。チャプターマークの間隔が短いと、チャプターマークを追加できません。

2つのチャプターを1つのチャプターにする（チャプターマーク消去） DVD-RW(VR)

編集操作で追加したチャプターマークを消去して、2つのチャプターを結合して1つにします。

1 **編集ボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面を出す。**

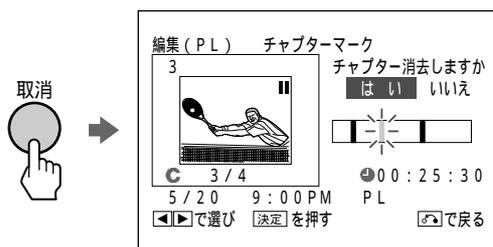
オリジナル（ORG）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面に切り換えます。

2 **◀/▲/▼/▶で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

3 **▲/▼で「チャプターマーク」を選び、決定ボタンを押す。**

選んだタイトルが再生されます。

4 **消去するチャプターマーク（青色）が付いているチャプターを再生中に、取消ボタンを押す。**

再生中の映像がチャプターの先頭の場面に戻り、チャプターマークがオレンジ色に変わります。

再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、⏮/⏭ボタン、スロー❙▶ボタンを使ってチャプターや場面を探すことができます。

編集

次のページにつづく

5 **◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

チャプターマークが消去されます。
消去したいチャプターマークを変更するには、「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。手順**4**から繰り返します。
別のチャプターマークを消去するには、手順**4**から繰り返します。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

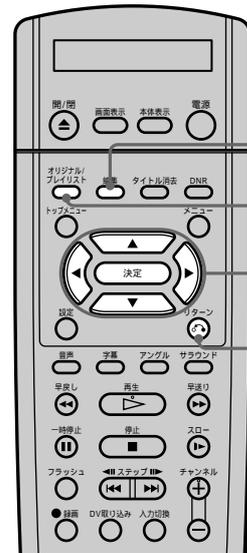
編集画面を消すには

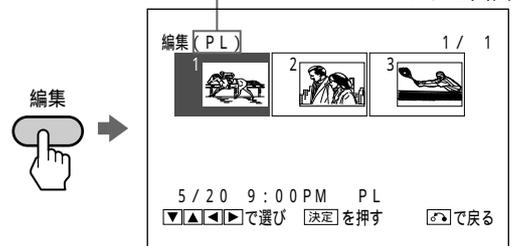
編集ボタンを押します。

ご注意

- 次のチャプターマークは赤色で表示され、消去できません。
  – 録画時に自動的に設定されたチャプターマーク
  – シーン消去（☞64ページ）で自動的に設定されたチャプターマーク

タイトルを移動する DVD-RW(VR)

プレイリストのタイトルの並び順を変更します。

1 **編集ボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面を出す。**

オリジナル（ORG）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面に切り換えます。

2 **◀/▲/▼/▶で移動するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

3 ▲/▼で「タイトル移動」を選び、決定ボタンを押す。

4 ◀/▶でタイトルの移動先を選び、決定ボタンを押す。

選んだタイトルが移動します。

- **選択したタイトルより前を移動先として選んだとき**
  移動先として選んだタイトルの直前にタイトルが移動します。
  例）タイトル3を選んでいて、移動先としてタイトル1を選んだ場合は、1の前に3のタイトルが移動します。
- **選択したタイトルより後を移動先として選んだとき**
  移動先として選んだタイトルの直後にタイトルが移動します。
  例）タイトル3を選んでいて、移動先としてタイトル4を選んだ場合は、4の後に3のタイトルが移動します。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

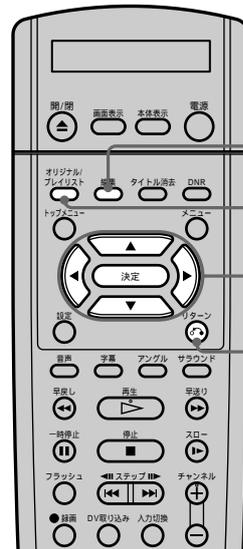
編集ボタンを押します。

ご注意

- プレイリストを2つ以上作成していない場合、タイトルの移動はできません。

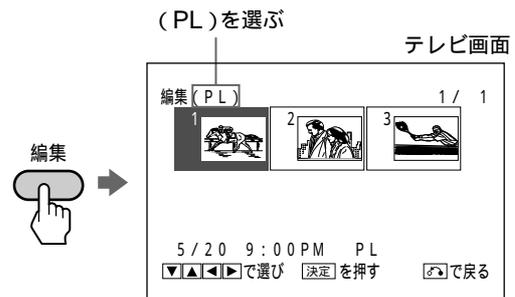
オリジナルから場面を追加する

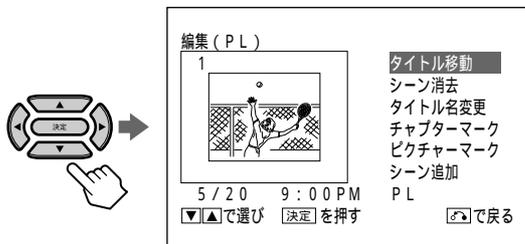
（シーン追加） DVD-RW（VR）

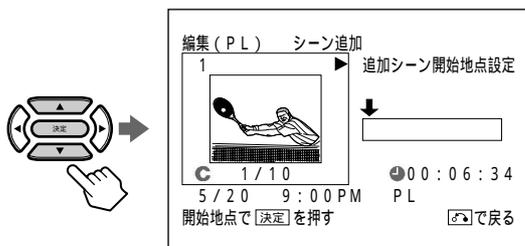
オリジナルから映像の範囲（シーン）を選び、プレイリストのお好みのタイトルの最後にそのシーンを追加します。
オリジナルで選ぶシーンは、連続するタイトルをまたいで指定することもできます。

1 編集ボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面を出す。

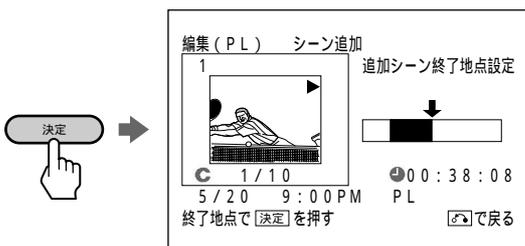
オリジナル（ORG）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面に切り換えます。

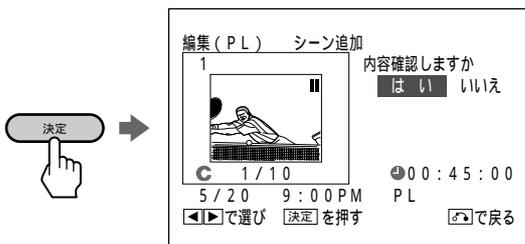
編集

次のページにつづく

プレイリストを編集する（つづき）

2 **◀/▲/▼/▶で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

3 **▲/▼で「シーン追加」を選び、決定ボタンを押す。**

オリジナルのタイトルが再生されます。

4 **コピー開始場面で決定ボタンを押す。**

再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、I◀◀/▶▶Iボタン、スロー❚▶ボタンを使って場面を探すことができます。

5 **コピー終了場面で決定ボタンを押す。**

6

- **内容を確認するとき**
  ◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
  選んだシーンを再生します。
- **内容を確認しないとき**
  ◀/▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す。

7 **◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

手順**2**で選んだタイトルの最後にシーンが追加されます。
◀/▶で「いいえ」を選ぶと、編集画面（シーン追加）が終了し、シーンは追加されません。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

編集ボタンを押します。

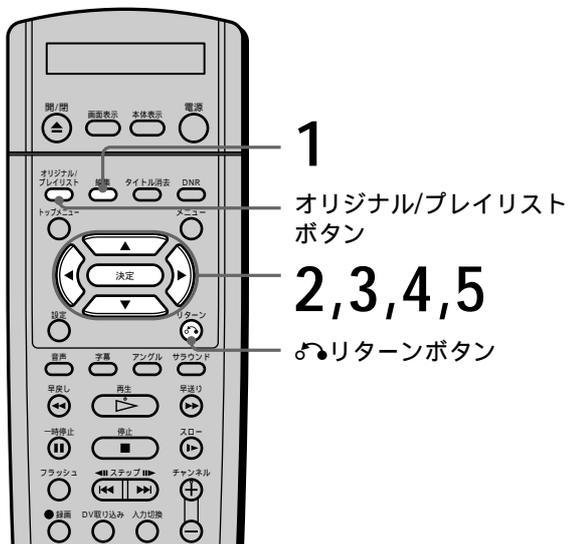
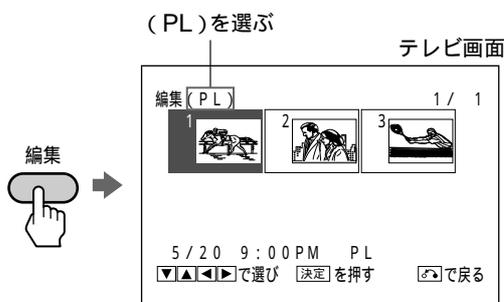
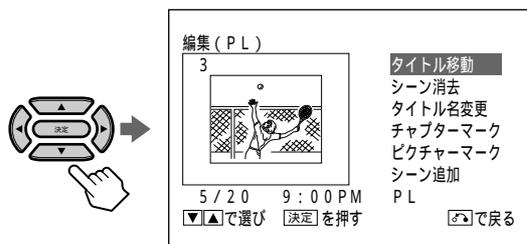
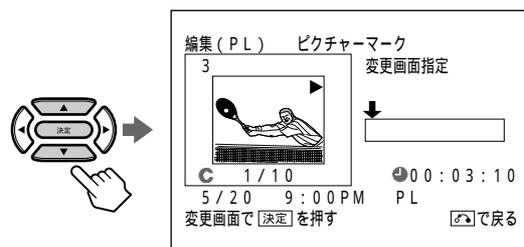
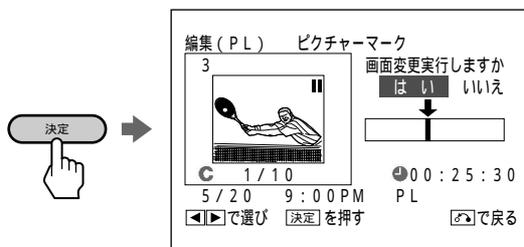
ちょっと一言

- シーンを追加した箇所（開始場面）にチャプターマークが自動的に入ります。
- 1タイトルにつき50回まで、シーンの追加や消去を行うことができます。

ご注意

- 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬映像が停止しているように見えることがあります。
- 5秒未満のシーンは追加できません。
- 手順**4**で開始地点を設定したあとに、早戻し◀◀ボタンやI◀◀ボタンを押して開始地点より前に戻ると、開始地点が解除されます。

画像付タイトルメニューの画面を変更する DVD-RW(VR)

プレイリストの画像付タイトルメニューのタイトル画面に、どの場面を出すかを設定することができます。

1 **編集ボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面を出す。**
オリジナル（ORG）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリスト（PL）の編集画面に切り換えます。

2 **◀/▲/▼/▶で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

3 **▲/▼で「ピクチャーマーク」を選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルを再生します。

4 **画像付タイトルメニューの画面にしたい場面で決定ボタンを押す。**
一時停止になります。
再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、スロー❚▶ボタンを使って場面を探すことができます。

5 **◀/▶で「はい」を選んで、決定ボタンを押す。**
画像付タイトルメニューの画面が決まります。場面を変更するには、◀/▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。手順**2**から繰り返します。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

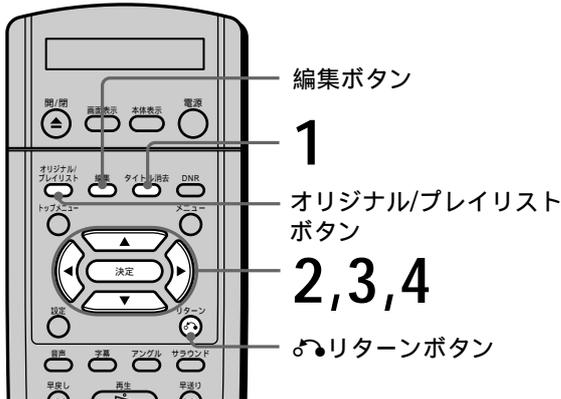
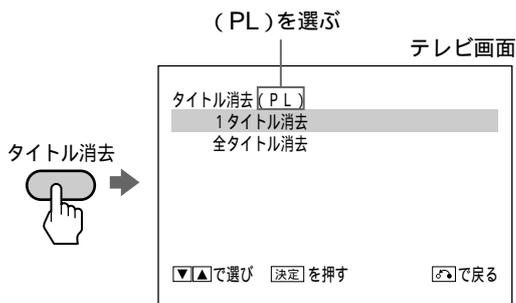
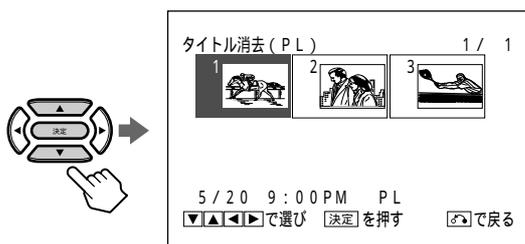
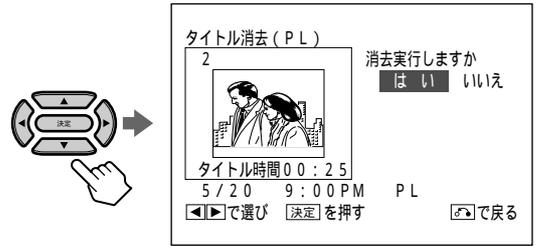
編集ボタンを押します。

編集

次のページにつづく

プレイリストを編集する（つづき）

1つのタイトルを消去する DVD-RW(VR)

プレイリストのタイトルをタイトルごとに消去します。オリジナルには影響ありません。

1 **停止中にタイトル消去ボタンを押して、プレイリスト（PL）のタイトル消去画面を出す。**
オリジナル（ORG）のタイトル消去画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリスト（PL）のタイトル消去画面に切り換えます。

2 **▲/▼で「1タイトル消去」を選び、決定ボタンを押す。**
画像付タイトルメニューが出ます。

3 **◀/▲/▼/▶で消去するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

4 **◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**
選択したタイトルが消去されます。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

タイトル消去画面を消すには

編集ボタンを押します。

再生中のタイトルを消去するには

再生中にタイトル消去ボタンを押すと、手順**3**の画面が出ます。手順**3**から操作してください。

ご注意

- タイトルを消去してもオリジナルには影響がないため、ディスクの空き容量は増えません。

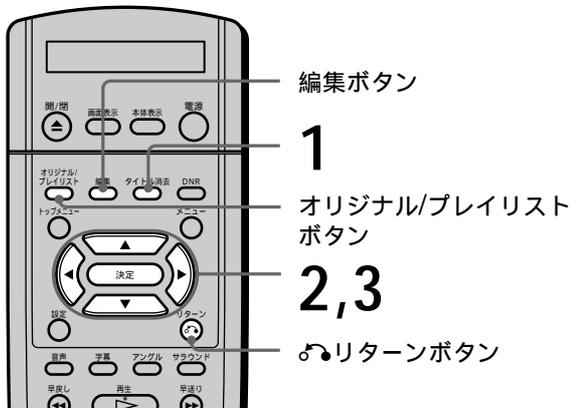
すべてのタイトルを消去する

DVD-RW(VR)

プレイリスト内にあるすべてのタイトルを消去します。オリジナルには影響ありません。

1 **停止中にタイトル消去ボタンを押して、プレイリスト（PL）のタイトル消去画面を出す。**

オリジナル（ORG）のタイトル消去画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリスト（PL）のタイトル消去画面に切り換えます。

2 **▲/▼で「全タイトル消去」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

プレイリストのすべてのタイトルが消去されます。

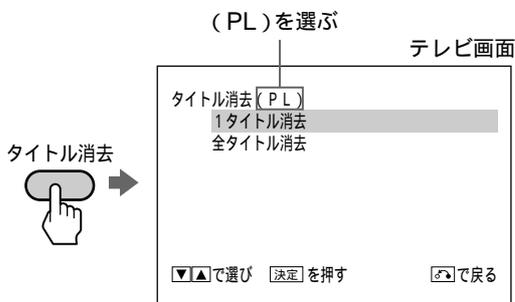
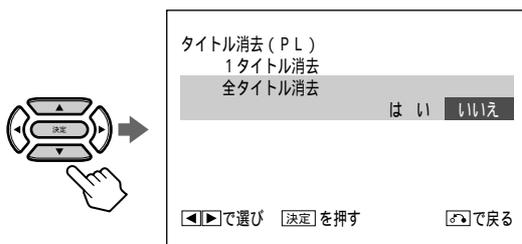
1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

タイトル消去画面を消すには

編集ボタンを押します。

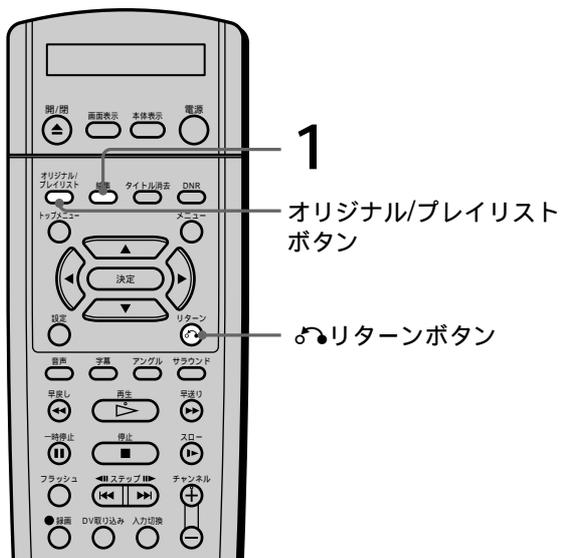
ご注意

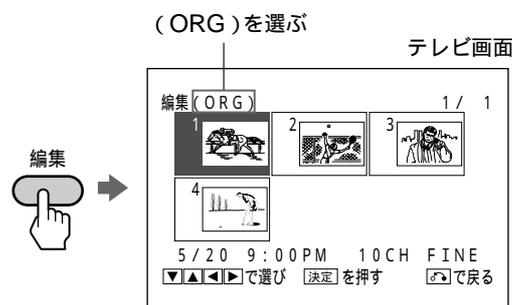
- タイトルを消去してもオリジナルには影響がないため、ディスクの空き容量は増えません。

オリジナルを編集する

録画したオリジナルのタイトルを編集します。タイトルを消去してディスクの空き時間を確保したり、いらない場面を消したり、タイトルが誤って消去されないように保護したりすることができます。
本機とテレビの電源を入れ、本機に編集する画像が記録されているディスクを入れて、次の操作を行います。
オリジナルのタイトルやシーンを消去すると、その映像をもとに作成したプレイリストにも影響がでるので、ご注意ください。

タイトル名を入力・変更する

DVD-RW DVD-R

オリジナルのタイトルに名前をつけたり、変更したりすることができます。入力できる文字数は、最大24文字までです。

1 編集ボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面を出す。

プレイリスト（PL）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面に切り換えます。

2 「プレイリストを編集する」の「タイトル名を入力・変更する」（☛62ページ）の手順2〜4にしたがって、タイトル名を入力・変更する。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

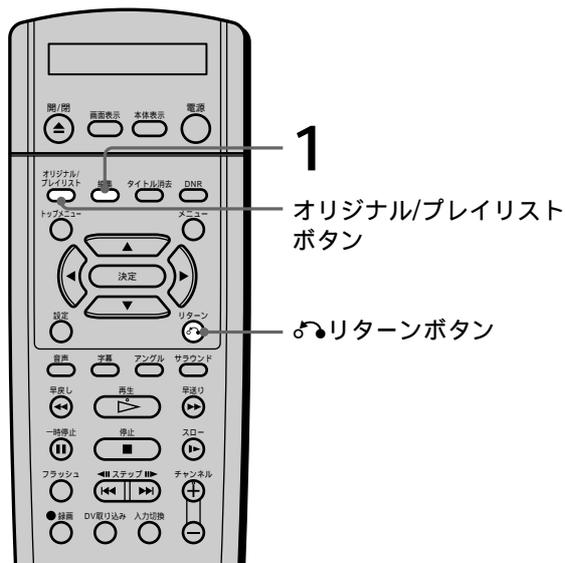
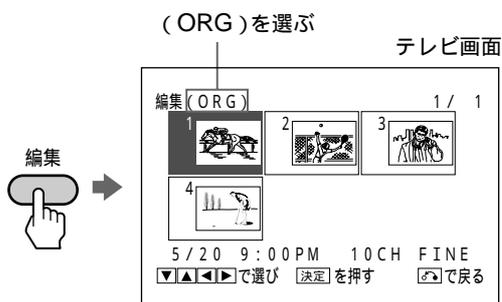
編集ボタンを押します。

ちょっと一言

- ビデオモードのDVD-RWディスクとDVD-Rディスクでは、オリジナルの編集のみ行うことができます。

選んだ場面を消去する（シーン消去）

DVD-RW(VR)

オリジナルのタイトルから選んだ場面（シーン）を消去します。消去したシーンは、完全に消去され、元に戻すことはできません。シーンを消去したところで、チャプターが自動的に区切られます。
消去するとディスクの空き時間が増えます。
オリジナルからシーンを消去すると、プレイリストからも同じシーンが消えますので、ご注意ください。

1 **編集ボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面を出す。**
プレイリスト（PL）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面に切り換えます。

2 **「プレイリストを編集する」の「選んだ場面を消去する」（☞64ページ）の手順2～7にしたがって、シーンを消去する。**

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

編集ボタンを押します。

ご注意

- 5秒未満のシーン消去はできません。
- 消去開始場面と終了場面としてタイトルの始まりと終わりの5秒間の場面は選べません。
  タイトルの始まりから5秒後までの場面を開始場面として選ぶと、タイトルの始まりが開始場面になります。
  タイトルの終わりから5秒前までの場面を終了場面として選ぶと、タイトルの最後から5秒前が終了地点になります。
  タイトルの終わりの5秒間で開始場面と終了場面の両方を選ぶと、選んだ場面にかかわらず、終わりの5秒間が消去されます。
  また、シーンの追加や消去などをして自動的に追加されたチャプターマークの前後5秒間も、消去開始場面と終了場面として選べません。

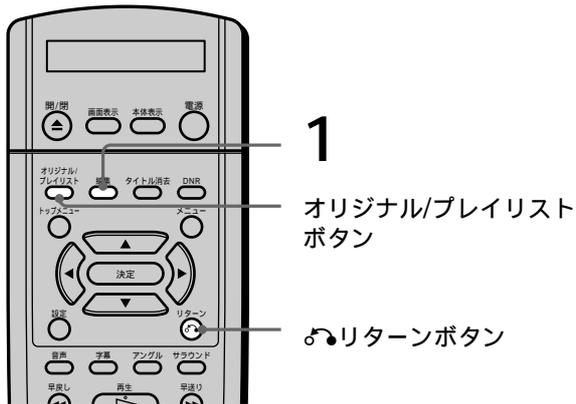
編集

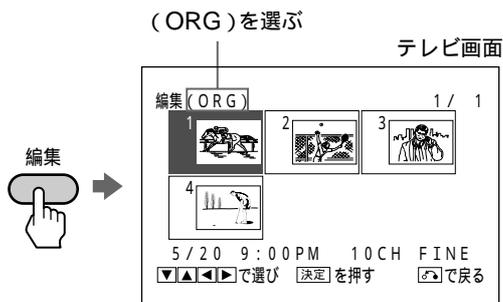
次のページにつづく

オリジナルを編集する（つづき）

チャプターを区切る

（チャプターマーク追加） DVD-RW（VR）

オリジナルのタイトルにチャプターマークを追加して、チャプターで区切ることができます。

1 編集ボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面を出す。

プレイリスト（PL）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面に切り換えます。

2 「プレイリストを編集する」の「チャプターを区切る」（65ページ）の手順2～5の操作を行い、チャプターマークを追加する。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

編集ボタンを押します。

ご注意

- チャプターマークと追加するチャプターマークとの間は5秒以上あけてください。チャプターマークの間隔が短いと、チャプターマークを追加できません。

2つのチャプターを1つのチャプターにする（チャプターマーク消去） DVD-RW(VR)

編集操作で追加したチャプターマークを消去して1つのチャプターにします。オリジナルのチャプターを結合しても、プレイリストのチャプターには影響しません。

1 編集ボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面を出す。

プレイリスト（PL）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面に切り換えます。

2 「プレイリストを編集する」の「2つのチャプターを1つのチャプターにする」（☞67ページ）の手順2～5にしたがって、チャプターマークを消去する。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

編集ボタンを押します。

ご注意

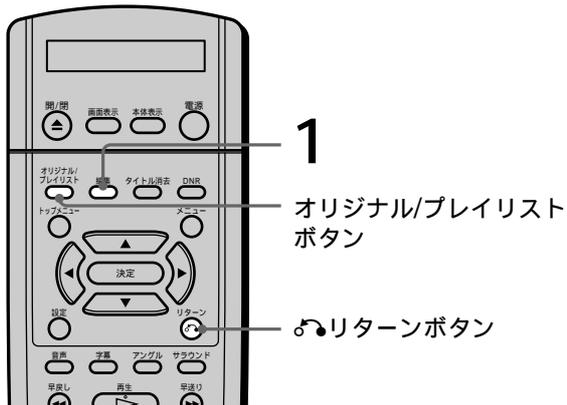
- 次のチャプターマークは赤色で表示され、消去できません。
  - 録画時に自動的に設定されたチャプターマーク
  - シーン消去（☞75ページ）で自動的に設定されたチャプターマーク

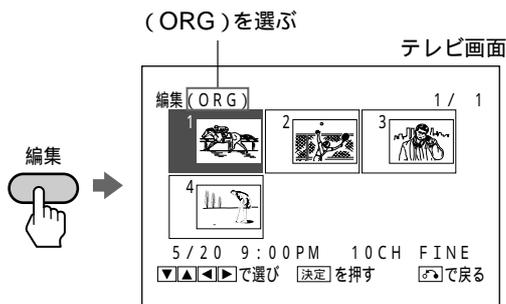
編集

次のページにつづく

オリジナルを編集する（つづき）

画像付タイトルメニューの画面を変更する DVD-RW(VR)

オリジナルの画像付タイトルメニューのタイトル画面に、どの場面を表示させるかを設定することができます。

1 編集ボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面を出す。

プレイリスト（PL）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面に切り換えます。

2 「プレイリストを編集する」の「画像付タイトルメニューの画面を変更する」（☞71ページ）の手順2〜5にしたがって、画面を変更する。

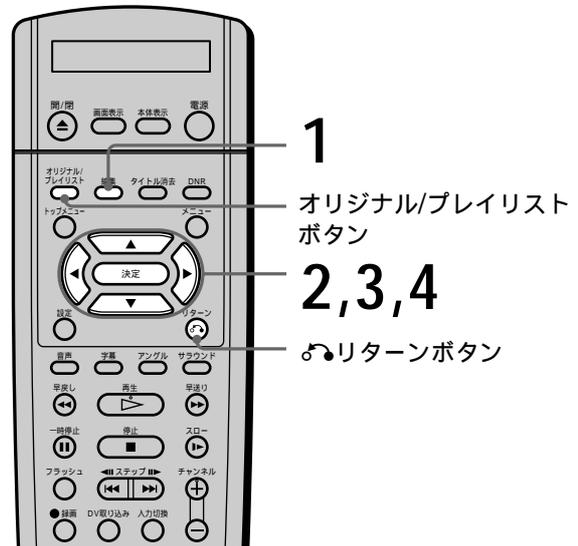
1つ前の画面に戻るには

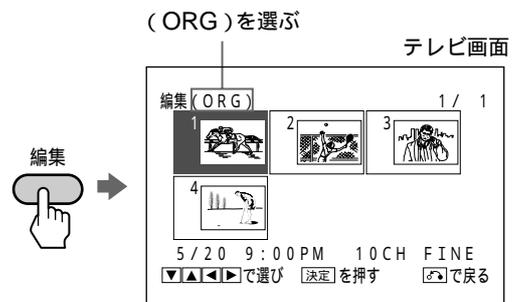
リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

編集ボタンを押します。

タイトルの編集・消去を不可にする（保護） DVD-RW(VR)

オリジナルのタイトルが誤って消去されたり、編集されたりしないように、タイトルを保護することができます。

1 編集ボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面を出す。

プレイリスト（PL）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面に切り換えます。

2 ◀/▲/▼/▶で保護するタイトルを選び、決定ボタンを押す。

3 **▲/▼で「タイトル保護」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

保護したタイトルに 🔒 がつきます。

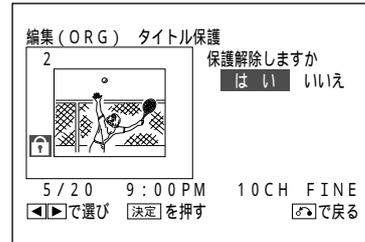
1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

編集ボタンを押します。

保護を解除するには

1 編集ボタンを押してオリジナル（ORG）の編集画面を出す。
プレイリスト（PL）の編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、オリジナル（ORG）の編集画面に切り換えます。
2 ◀/▲/▼/▶で保護されたタイトル（🔒）を選び、決定ボタンを押す。
「タイトル保護」が選ばれます。
3 決定ボタンを押す。
以下の画面が出ます。

4 ◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
🔒 の表示が消えます。

ディスクごと保護するには

初期設定画面の「ディスク設定」の「ディスク保護」で「入」を選びます（☞95ページ）。すべてのタイトルに🔒（保護マーク）がつきます。

ご注意

- プレイリストおよびビデオモードで録画したタイトルを保護することはできません。
- ディスクごと保護していてすべてのタイトルに 🔒（保護マーク）がついているときは、タイトルごとの保護解除はできません。🔒を消すには、ディスク保護を解除してください。

編集

オリジナルを編集する（つづき）

1つのタイトルを消去する

DVD-RW DVD-R

オリジナルのタイトルをタイトルごとに消去します。
DVD-RWディスクでは、ディスクがいっぱいになったら、不要なタイトルを消して、ディスクの空き時間を増やします。
オリジナルのタイトルを消去すると、プレイリストからもそのタイトルが消えますのでご注意ください。

1 停止中にタイトル消去ボタンを押して、オリジナル（ORG）のタイトル消去画面を出す。

プレイリスト（PL）のタイトル消去画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押してオリジナル（ORG）のタイトル消去画面に切り換えます。

例）VRモードのとき

2 「プレイリストを編集する」の「1つのタイトルを消去する」（☞72ページ）の手順2～4にしたがって、タイトルを消去する。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

再生中のタイトルを消去するには

再生中にタイトル消去ボタンを押すと、消去実行確認画面が出ます。◀/▶で「はい」を選び、決定ボタンを押します。

タイトル消去画面を消すには

編集ボタンを押します。

ご注意

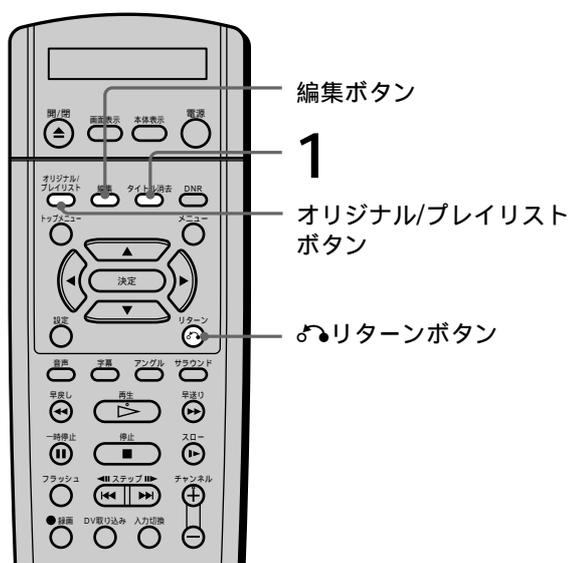
- 保護されているタイトルは消去できません（☞78ページ）。
- DVD-Rではタイトルを消去しても空き容量は増えません。
- DVD-RW（ビデオモード）では最後に記録したタイトルを消去したときにのみ空き容量が増えます。

すべてのタイトルを消去する

DVD-RW **DVD-R**

ディスク内にあるすべてのオリジナルタイトルを消去します。オリジナルがなくなるため、プレイリストのタイトルもすべて消去しますので、ご注意ください。
ただし。次のタイトルや情報は消去しません。

- タイトル保護されているタイトル
- ディスク予約の内容

ディスク内のすべての内容を消去したいときは、ディスクの初期化を行ってください（☞94ページ）。

1 **停止中にタイトル消去ボタンを押して、オリジナル（ORG）のタイトル消去画面を出す。**

プレイリスト（PL）のタイトル消去画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押してオリジナル（ORG）のタイトル消去画面に切り換えます。

例）VRモードのとき

2 **「プレイリストを編集する」の「すべてのタイトルを消去する」（☞73ページ）の手順2〜3にしたがって、すべてのタイトルを消去する。**

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

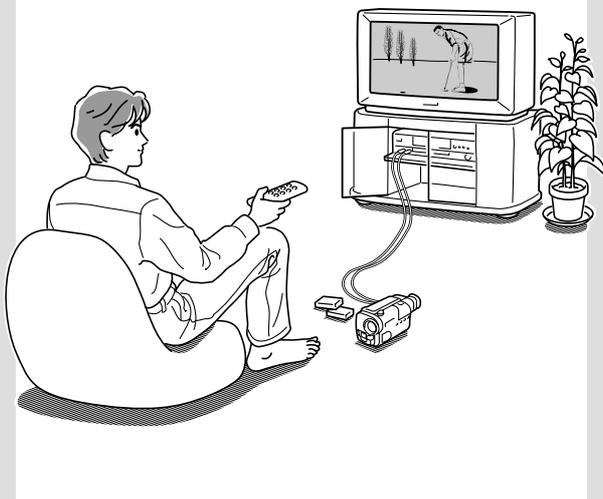
タイトル消去画面を消すには

編集ボタンを押します。

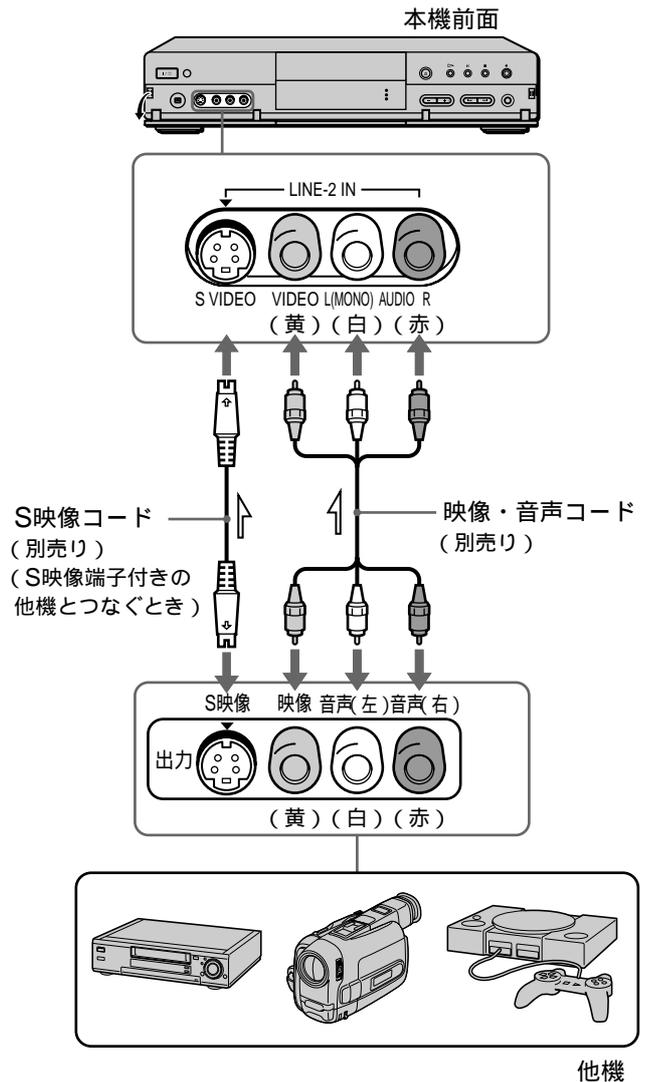
ご注意

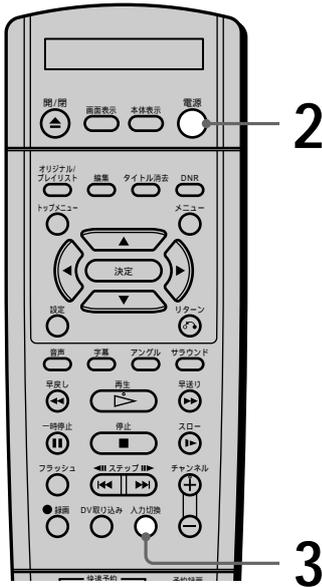
- 保護されているタイトルは消去できません（☞78ページ）。

他機をつないで行う操作

ここでは、本機にいろいろな機器をつないでできる操作について説明します。
デジタルビデオカメラでとった画像を見たり、ゲームをするときは、本機前面の入力端子を使うと便利です。また、本機に他のビデオデッキやデジタルビデオカメラをつないで、テープの内容をディスクにダビングすることができます。
以下の機器の接続については別冊「接続と準備」をご覧ください。
- ケーブルテレビ（CATV）
- BSデジタルやCSチューナー

ビデオ機器をつないで見る・ゲームをする

テレビに映像・音声入力端子がなかったり、端子が後面にしかない場合、本機前面のLINE-2 IN端子にビデオカメラやゲームなどをつなぐと便利です。

接続する

ご注意
- 本機の入力端子につないだ機器がモノラルのときは、モノラルの音声を音声右/左から出力できる音声コード（別売り）をお使いください。

ビデオを見る・ゲームをする

1 **テレビの電源を入れて、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

2 **電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。**

3 **入力切換ボタンを繰り返し押して「L2」を選ぶ。**

入力切換ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル（1、3、…）/CATVチャンネル（C1、C2、…）→ DV → 入力1（L1）→ 入力2（L2）→ 入力3（L3）

4 **本機の入力端子につないだ機器の電源を入れて、その機器の再生をする。**

ちょっと一言

• S映像コードでつないだときは、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。

ご注意

• ゲームの画面を録画すると、画像が乱れることがあります。

ビデオ機器をつないでダビングする

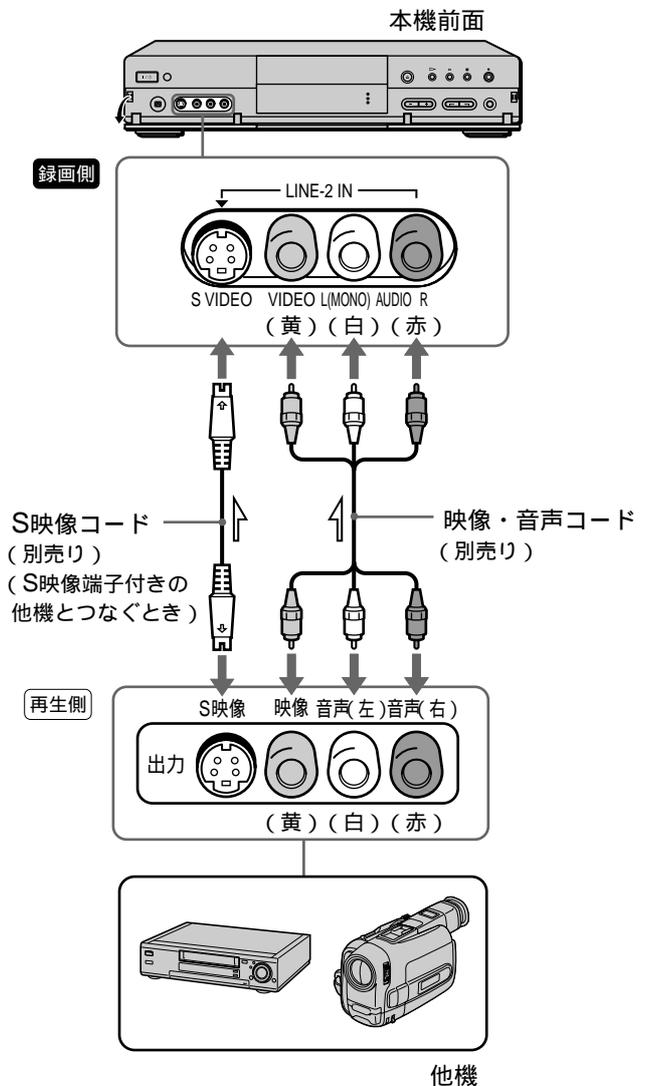
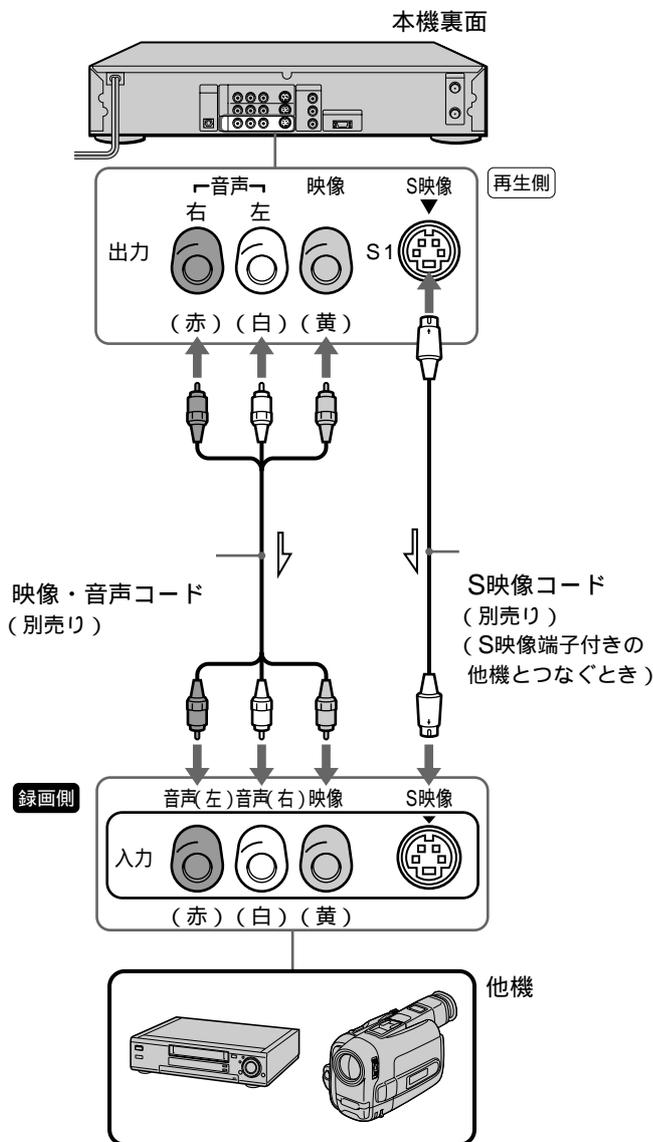
本機で録画したタイトルを別のビデオデッキで録画したり、アナログカメラで録画した内容を本機に録画するときは、次のように接続します。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続する

テレビを録画側の機器につなぐと録画する画像を見ることができます。

本機で録画するとき

他機をつないで行う操作

次のページにつづく

本機で再生するとき

ちょっと一言

- 本機で録画するときに、接続する他機がモノラルの場合は、モノラルの音声を音声右/左から出力できる音声コード（別売り）をお使いください。
- 本機で録画するときに、本機後面の入力1または3端子を使うこともできます。
- S映像コードでつないだときは、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。

ご注意

- 本機の出力端子を他機の入力端子へつないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子へつながないでください。ブーンという音が出ることがあります。
- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像は、ダビングすることができません。

ダビングする

タイトルやテープの内容をダビングすることができます。

1 テレビの電源を入れて、入力を録画側の機器に切り換える。

2 録画側　再生側

本機にディスクを入れる。つないだビデオデッキにカセットを入れる。

3 再生側

画面表示を消す。

画面表示を出したままにしておくと、画面表示もいっしょに録画されます。
本機が再生側のときは、初期設定画面の「オプション」の「画面表示」を「切」にして表示を消します（☞96ページ）。

4 再生側

二カ国語放送などの番組をダビングするときは、録音したい音声を選ぶ。

再生側の機器は、あらかじめ再生し、音声切換ボタンを押して選びます。
音声切換ボタンが再生側の機器にないときは、この手順をとばします。
本機が録画側のときは、再生側の音声を「主副」にします。本機の録画初期設定の「外部音声」で「二カ国語」を選びます（☞93ページ）。ビデオモードでは2音声を記録できないため、「ビデオモード音声」で音声の種類（「主音声」か「副音声」）を設定してください（☞93ページ）。

5 録画側

再生側の機器をつないでいる入力（「入力1」、「入力2」、「入力3」など）に切り換える。

本機が録画側のときは、再生側の機器をつないでいる入力端子を、入力切換ボタンで選びます。

- 入力1端子（裏面）のときは「L1」
- LINE-2 IN端子（前面）のときは「L2」
- 入力3端子（裏面）のときは「L3」

6 録画側

録画モードを選ぶ。

本機が録画側のときは、録画モードボタンを押して選びます。録画モードについては、☛41ページをご覧ください。

7 録画側

録画一時停止にする。

再生側

再生一時停止にする。

8 録画側 再生側

両方の一時停止を解除する。

録画が始まります。

9 録画側 再生側

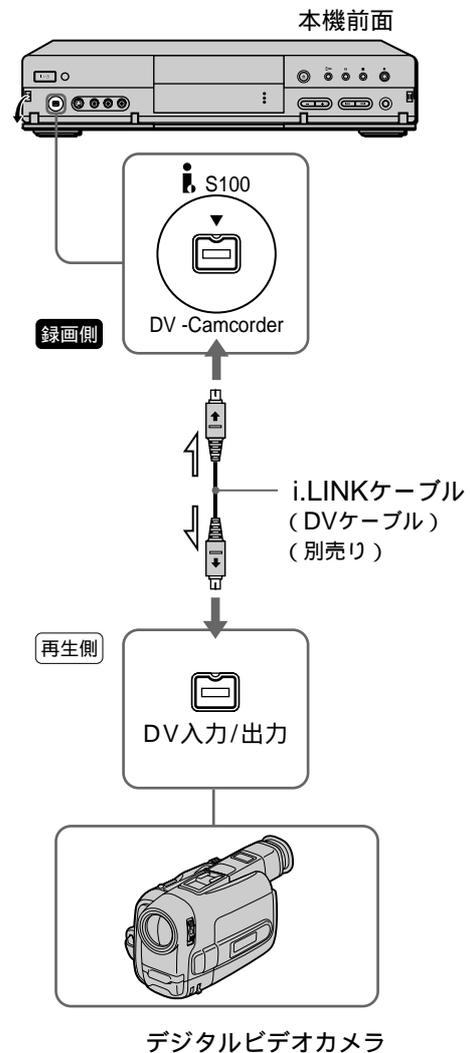
録画が終わったら、両方の停止ボタンを押す。

ちょっと一言

• 二カ国語放送の番組を録画するときに、本機が再生側のときは、音声ボタンを押してあらかじめ録画したい音声を選ぶことができます（☛30ページ）。

デジタルビデオカメラをつないでダビング・編集する

本機のデジタルビデオカメラ用 i.LINK 端子に接続したデジタルビデオカメラから映像を録画したり、本機で再生する映像をデジタルビデオカメラで録画できます。ビデオカメラも本機のリモコンで操作できるので、簡単に録画することができます。
本機とは、次のように接続します。つないだ機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

デジタルビデオカメラ用 i.LINK 端子に接続する

⟹：映像・音声信号の流れ

他機をつないで行う操作

次のページにつづく

デジタルビデオカメラをつないでダビング・編集する（つづき）

デジタルビデオカメラからダビング・編集する DVD-RW DVD-R

テープの内容をそのままダビングしたり、好きな場面だけ編集することができます。
本機のデジタルビデオカメラ用 i.LINK 端子からはDVC-SD方式の信号のみ入力することができます。

1 **テレビおよび本機の電源を入れて、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

2 **本機に録画用のディスクを入れる。**
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、VRモードで自動的に初期化されます。

3 **デジタルビデオカメラに再生するカセットを入れ、再生できる状態にする。**

4 **記録する音声を選ぶ。**
初期設定画面の「オプション」で「DV入力音声」を「ステレオ1」または「ステレオ2」に設定します（☞96ページ）。

5 DV**取り込みボタンで「**DV**」に切り換える。**
画面表示ボタンを押すと、本機と他機の操作状態を見ることができます。

6 **本機のリモコンでデジタルカメラを操作し、再生する。**
「DVリンク」が「入」のとき（☞96ページ）、次のボタンが使えます。
- 再生▷ボタン：再生します
- 停止■ボタン：再生などを停止します
- 早送り▶▶ボタン：早送り再生します
- 早戻し◀◀ボタン：巻戻し再生します
- 一時停止❚❚ボタン：再生一時停止します
- スロー❚▶ボタン：再生速度を変更します

停止中に早送り▶▶、早戻し◀◀ボタンを押すと、早送り/巻戻しします。

7 **録画を開始したい場面で録画●ボタンを押す。**
本機は録画を開始します。
本機で取込中、デジタルビデオカメラの再生に録画のない部分があったり、再生停止をすると録画は一時停止になります。再生が始まると、一時停止は解除されます。

8 **「**DV**リンク」が「入」のとき**
録画を終了したい場面で決定ボタンを押す。
「DV**リンク」が「切」のとき**
録画を終了したい場面で停止■ボタンを押す。

取り込みを一時停止するには

「DVリンク」が「入」のとき、録画●ボタンを押し、「切」のとき、一時停止❚❚ボタンを押します。
一時停止を解除するには、もう一度ボタンを押します。

DV取り込み画面を終了するには

DV取り込みボタンを押します。

ちょっと一言
- ビデオモードのときは、手順**8**で停止した時点での静止画面が最長30秒間（LPモードでの録画時は最長60秒間）記録されます。その後、本機の録画を停止します。

ご注意

- 接続について
  - デジタルビデオカメラをデジタルビデオカメラ用i.LINK端子に接続していると本機の動作が若干遅くなります。ダビングや編集をしない時はケーブルを抜いておくことをお勧めします。
  - 本機とデジタルビデオカメラを接続するときは、デジタルビデオカメラをビデオ再生モードにして、停止状態で接続してください。カメラ撮影モードや再生状態のときに接続すると、DVリンクが正しく働きません。
  - 本機と接続できるデジタルビデオカメラは1台のみです。
  - 本機とパソコンを接続して編集することはできません。
- 操作について
  - デジタルビデオカメラがビデオ再生モードになっていないとDV取り込みはできません。
  - 映像を取り込み中にデジタルビデオカメラで無記録部分や録画禁止部分を再生すると、本機の録画は一時停止します。その部分を過ぎると録画を再開します。
  - DV入力時に他機がカメラ撮影モードになっていると、正しく録画されません。
- その他
  - デジタルビデオカメラによっては、本機で操作できないことがあります。その場合、「DVリンク」を「切」にしてください（☞96ページ）。
  - 他の機器から本機を操作することはできません。本機同士を接続してもう一方を操作することもできません。
  - 日付け・時刻情報およびカセットメモリーの内容を記録することはできません。
  - DVテープの音声モードが12 bit（32 kHz）の場合は、本機で選んだ「ステレオ1」（録画したときの音声）「ステレオ2」（アフレコなどのあとから追加した音声）のどちらか一方のみ記録することができます（☞96ページ）。
  - モノラル音声はDV取り込みができません。
  - 16 bit（48 kHz）音声と12 bit（32 kHz）音声の両方が記録されているデジタルビデオテープを再生して本機で録画した場合、音声が切り換わる部分を再生すると音が途切れます。
  - 44.1 kHz の音声はDV取り込みができません。
  - DV入力中は、他機の操作状態を表示しないことがあります。
  - 画面サイズの切り換わりの画像や無記録から記録の切り換わりの画像を録画して再生したとき、一瞬画像が乱れることがあります。

デジタルビデオカメラに映像を出力する DVD-RW DVD-R

本機をデジタルビデオカメラに接続して、本機で再生する映像をデジタルビデオカメラで録画します。本機でDVD-RWおよびDVD-Rを再生するとデジタルビデオカメラ用i.LINK端子から再生信号が出力されます。

1 **デジタルビデオカメラを本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子に接続する（☞85ページ）。**

2 **デジタルビデオカメラで録画したい映像を本機で再生する。**

3 **デジタルビデオカメラで録画の操作をする。**

ちょっと一言

- デジタルビデオカメラには、一般的に2種類の音声モードがあります。
  - 16 bit（48 kHz）：高音質ですが1組のステレオ音声のみです。
  - 12 bit（32 kHz）：2組のステレオ音声を持っています。ステレオ2にアフレコすることができます。

ご注意

- 本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子からは、DVD-RWおよびDVD-Rの再生時のみ映像と音声を出力します。テレビ放送・外部入力・CDとビデオCDの映像・音声は出力できません。
- 「録画禁止」または「1回だけ録画可」の部分を再生している時は映像・音声は出力されません。
- 本機から出力される音声モードは16 bit（48 kHz）のみです。
- プログレッシブ再生中は、DV出力ができません。
- DV入力、DV取り込み中は、本機からDV出力されません。

次のページにつづく

i.LINK（アイリンク）について

本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルビデオカメラ用DV入出力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ちょっと一言

- i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
  IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意

- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。
　S100（最大転送速度　約100Mbps*）
　S200（最大転送速度　約200Mbps）
　S400（最大転送速度　約400Mbps）
転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

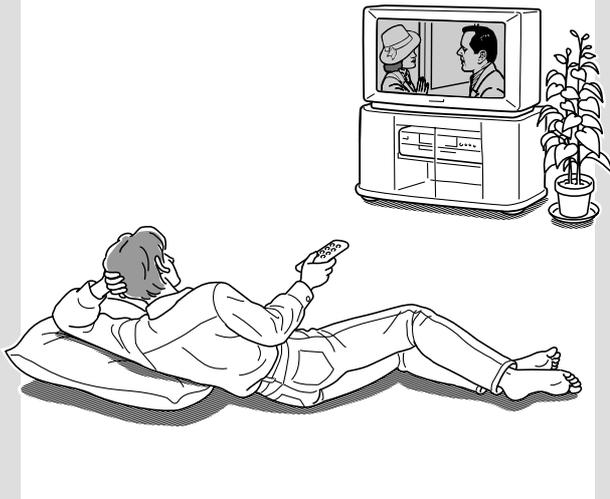
本機のi.LINK端子は、DV方式のデジタルビデオカメラ、デジタルビデオデッキのDV端子と接続してご使用になれます。使用方法および、接続の際のご注意については☞85ページをご覧ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションの有無などについては、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン← →4ピン（DVダビング時）

i.LINKはIEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINK、i™は商標です。

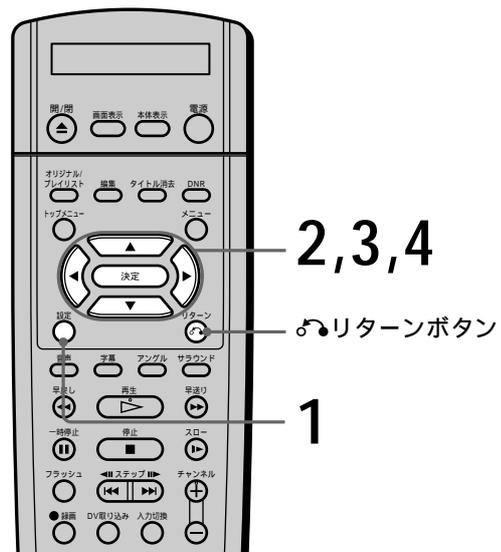
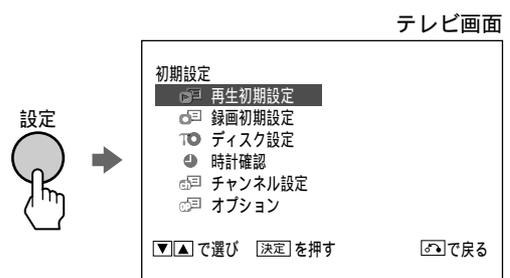
設定と調整

ここでは、再生や録画に必要な設定について説明します。
接続方法により異なる設定があります。別冊「接続と準備」でご確認ください。

初期設定画面を使う

初期設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。各項目については、☞90〜97ページをご覧ください。

初期設定画面の使い方

1 **停止中に設定ボタンを押す。**
初期設定画面が出ます。

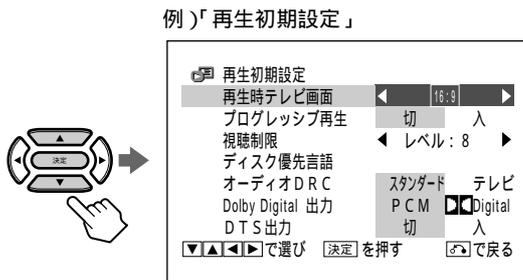
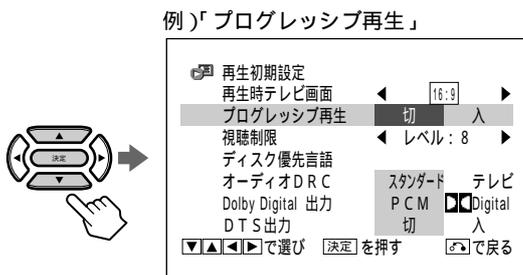
次のページにつづく

初期設定画面を使う（つづき）

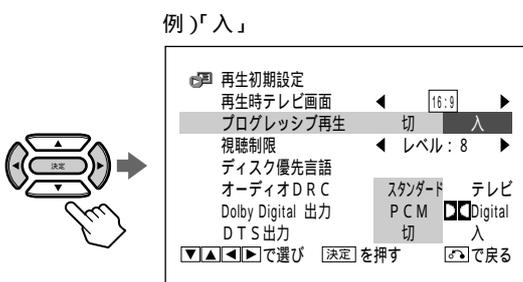
2 **▲/▼で「再生初期設定」、「録画初期設定」、「ディスク設定」、「時計確認」、「チャンネル設定」、「オプション」から、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

選択した設定の画面が出ます。

例）「再生初期設定」

3 **▲/▼で項目を選ぶ。**

例）「プログレッシブ再生」

4 **◀/▶で設定内容を選び、決定ボタンを押す。**

例）「入」

1つ前の画面に戻るには

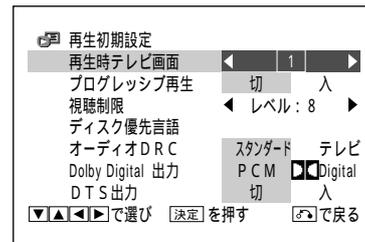
リターンボタンを押します。

設定画面を消すには

設定ボタンを押します。

再生に関する設定

（再生初期設定）

再生するときの映像や音声などの設定を、再生や接続の条件に合わせて設定します。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
初期設定画面で「再生初期設定」を選びます。操作のしかたは、「初期設定画面を使う」（☞89ページ）をご覧ください。

再生時テレビ画面

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4:3画面テレビ）を設定します。

項目	内容
4:3PS（パンスキャン）	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像の場合は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する
4:3LB（レターボックス）	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像の場合は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する
16:9（ワイドテレビ）	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき

ちょっと一言

- DVDビデオによっては、「4:3LB」または「4:3PS」に設定しても、自動的にどちらかで再生されることがあります。
- BSデジタル放送などのワイド（16:9）映像をDVD-RWのVRモードで録画モードをLPまたはEPに設定して録画した場合、「4:3PS」に設定しても「4:3LB」で再生されます。

プログレッシブ再生

ディスクを再生したときに本機のコンポーネント映像出力Y、P_B/C_B、P_R/C_R 端子およびD1/D2端子から出力される映像信号の方式を選びます。映像信号の方式については、「用語解説」（☞109ページ）をご覧ください。

項目	内容
切（インターレース）	インターレース方式で映像を出力する。本機を通常のテレビ（インターレース方式）につないでいるときはこの設定を選ぶ
入（プログレッシブ）	プログレッシブ（525p）方式で映像を出力する。本機をプログレッシブ（525p）方式に対応したテレビにつないでいるときはこの設定を選ぶ

ちょっと一言

- 「入」に設定すると、再生中に本体表示窓の「525P」が点灯します（☞105ページ）。

ご注意

- 本機をプログレッシブ（525p）方式に対応するテレビ等につなぎプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、インターレース方式でご覧になることをお勧めします。本機とテレビとの互換性に関しては、サービス窓口にお問い合わせください。
- プログレッシブ再生中はS映像出力、映像出力、DV出力ができません。

視聴制限

暗証番号を登録して、視聴年齢制限のあるDVDビデオの再生を制限する設定をします。詳しくは、「ディスクの再生を制限する（視聴年齢制限）」（☞36ページ）をご覧ください。

ディスク優先言語

画面や音声の言語を設定します。
選べる画面や音声の言語はディスクによって異なります。また、ここで記録されている言語を設定しても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示/非表示や切り換えを禁止している場合があります。

- **字幕言語**
  DVD再生時の字幕を設定します。お買い上げ時には日本語に設定されています。

- **音声言語**
  DVD再生時の音声を設定します。お買い上げ時には英語に設定されています。

- **メニュー言語**
  DVD のディスクに記録されているメニューの言語を切り換えます。
  お買い上げ時には日本語に設定されています。
  AAからZUのコードについては、「言語コード一覧表」（☞111ページ）で確認してください。

オーディオDRC

音の大小を調整し、平均的な大きさの音量にします。
この機能は、オーディオDRC機能のあるDVDビデオの再生時にのみ効果があります。
デジタル接続している場合は、「Dolby Digital出力」を「PCM」に設定したときのみ効果があります。

項目	内容
スタンダード	記録されている音声のまま出力する
テレビ	記録されている音声を出力したとき、CDの音声と同じ音量で聞こえるように、平均音量を上げる

Dolby Digital出力

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

項目	内容
DD Digital	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶとドルビーサラウンドが楽しめる
PCM	リアスピーカーの音声成分（チャンネル）を含むドルビーデジタル音声を2チャンネルに変換して再生する。ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないアンプとデジタル接続する場合はこの設定を選ぶ

設定と調整

次のページにつづく

再生に関する設定（つづき）

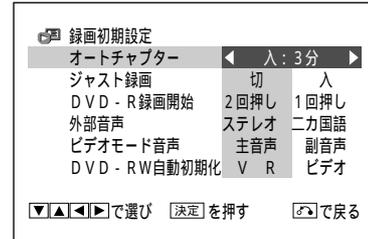
DTS出力

DTS信号をデジタル出力するかしないかを選びます。

項目	内容
切	DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ
入	DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

録画に関する設定

（録画初期設定）

接続した機器から録画するときの音声の設定など録画に必要な設定をします。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
初期設定画面で「録画初期設定」を選びます。操作のしかたは、「初期設定画面を使う」（☛89ページ）をご覧ください。

オートチャプター

ビデオモードで録画中に、一定間隔でチャプターを自動的に区切ります。
DVD-RWディスクのVRモードの場合は、チャプターを手動で区切ることができます（☛65、76ページ）。

項目	内容
切	録画中にチャプターを区切らない
入：３分	録画中、3分経過ごとにチャプターを区切る
入：５分	録画中、5分経過ごとにチャプターを区切る
入：１０分	録画中、10分経過ごとにチャプターを区切る
入：１５分	録画中、15分経過ごとにチャプターを区切る
入：３０分	録画中、30分経過ごとにチャプターを区切る

ジャスト録画

ディスクの空き時間不足で本体予約（☞46ページ）やディスク予約（☞51ページ）した番組が最後まで録画できないとき、予約録画開始前に自動的に録画モードを変更し、できるだけその番組が録画できるようにします。そのため、録画する際に画質が落ちる場合があります。

項目	内容
入	ジャスト録画する
切	ジャスト録画しない

ご注意

- シンクロ録画（☞55ページ）のときは、ジャスト録画機能は使用できません。
- 快速予約（☞44ページ）では、ジャスト録画機能は使用できません。
- 予約録画をすべて録画する機能ではありません。予約した順に録画し、次に予約されている番組が設定されている録画レートでは録画しきれないときにジャスト録画が働きます。その後に予約されている番組は最後まで録画されない場合があります。
- 録画モードを「EP」に設定したVRモードでのタイマー予約と「LP」のビデオモードでのタイマー予約では、ジャスト録画機能は使用できません。

DVD-R録画開始

DVD-Rディスクに録画する場合、録画を始めるときに押すボタンの回数を設定します。

項目	内容
２回押し	録画●ボタンを押した後もう一度録画●ボタンを押して録画を始める
１回押し	録画●ボタンを1度押して、すぐに録画を始める

ご注意

- 「1回押し」を選んだときは、録画●ボタンを押すと録画準備の動作を行うため、その間の画像は録画されません。

外部音声

本機につないだ外部機器から入力される音声を選びます。

外部機器から二カ国語放送などの二重音声（主音声・副音声）を含む映像を録画する場合、必ず「二カ国語」を選んでください。この時、入力する外部機器の音声を二重音声に設定しておくと、VRモードで再生するときに主音声と副音声を切り換えることができます。ビデオモード録画するときは、「ビデオモード音声」で録画したい音声をあらかじめ選びます。二カ国語放送などを「ステレオ」に設定して録画すると、再生時に2つの音声が重なって聞こえます。

接続する外部機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

項目	内容
ステレオ	左右のスピーカーから音声を出力する
二カ国語	主音声、副音声を切り換えることができる

ご注意

- ドルビーデジタル出力の場合、再生時に二カ国語放送の音声を切り換えることはできません。

ビデオモード音声

録画する番組が二カ国語放送の場合、主音声または副音声のどちらかの音声を記録するか設定します。

録画時にはここで設定した音声のみが記録され、再生時に音声の切り換えはできません。

項目	内容
主音声	主音声で録画する
副音声	副音声で録画する

次のページにつづく

録画に関する設定（つづき）

DVD-RW自動初期化

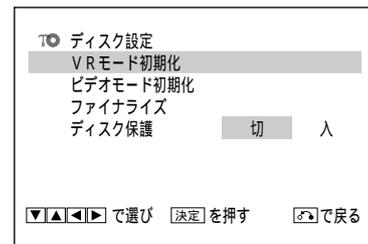
何も録画されていないDVD-RWディスクを入れると、自動的に初期化されます。VRモードまたはビデオモードで初期化するかを設定します。

項目	内容
VR	VRモードで初期化する
ビデオ	ビデオモードで初期化する

ご注意

• Ver.1.1以上のDVD-RWディスクにのみ働きます。

ディスクに関する設定（ディスク設定）

録画したディスクを初期化したり、ファイナライズやディスクの保護を設定することができます。
本機に設定するディスクを入れ、初期設定画面で「ディスク設定」を選びます。操作のしかたは、「初期設定画面を使う」（☞89ページ）をご覧ください。

VRモード初期化

DVD-RWディスクの内容をすべて消去して、VRモードで初期化します。保護（☞78ページ）しているタイトルやディスク予約（☞51ページ）の情報も消去されます。消去した内容を復元することはできません。大切な内容を誤って消去しないように中身を確認してから行ってください。

項目	内容
はい	VRモードで初期化する
いいえ	初期化しない

ご注意

• ディスク保護を設定している場合は、初期化できません。
• DVD-Rディスクは、VRモードで初期化できません。

ビデオモード初期化

ディスクの内容をすべて消去して、ビデオモードで初期化します。保護（☞78ページ）しているディスクやディスク予約（☞51ページ）の情報も消去されます。消去した内容を復元することはできません。大切な内容を誤って消去しないように中身を確認してから行ってください。

項目	内容
はい	ビデオモードで初期化する
いいえ	初期化しない

ご注意

- ディスク保護を設定している場合は、初期化できません。
- DVD-RW Ver.1.0のディスクは、ビデオモードでの初期化ができません。

ファイナライズ

ビデオモードで録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生するときや、VRモードで録画したディスクが他のDVD-RWのVRモード再生対応プレーヤーで再生できないとき、ディスクをファイナライズして再生できるようにします。
DVD-Rディスクは、一度ファイナライズすると録画や編集などで、ディスクの内容を変更することができませんので、ご注意ください。

項目	内容
はい	ファイナライズする
いいえ	ファイナライズしない

ちょっと一言

- 本機で一度ファイナライズしたディスクは再びファイナライズする必要はありません。
- 本機でファイナライズしたVRモードのディスクは、通常どおり録画や編集などをすることができます。
- 本機でファイナライズしたビデオモードのディスクには、自動的にディスクのタイトルメニューが作成されます。

ご注意

- 本機でファイナライズしたビデオモードのディスクは、録画や編集などをすることができません。
- DVD-RWのVRモード再生対応でないDVDプレーヤーでは、VRモードのディスクは再生できません。
- ビデオモードで録画したディスクをファイナライズしても、DVDプレーヤーによっては再生できないものがあります。

ディスク保護

オリジナルのタイトルが誤って消去されたり、編集されたりしないように、VRモードのDVD-RWディスクを保護することができます。

項目	内容
切	ディスク保護が解除され、編集や録画ができる
入	ディスク保護され、編集や録画ができない

ちょっと一言

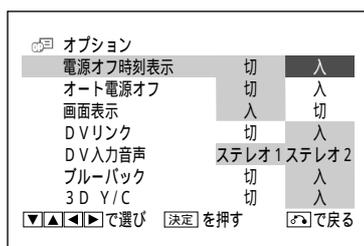
- ディスクによっては、処理に時間がかかることがあります。

ご注意

- ビデオモードのDVD-RWディスクおよびDVD-Rディスク保護することはできません。

その他の設定

（オプション）

ダビング操作や画面の表示などの設定をします。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
初期設定画面で「オプション」を選びます。操作のしかたは、「初期設定画面を使う」（☞89ページ）をご覧ください。

電源オフ時刻表示

電源を切ると本体表示窓の時刻表示を自動的に消すように設定します。

項目	内容
切	電源が切れると、自動的に本体表示窓の時刻表示も消える
入	電源が切れても、本体表示窓の時刻表示は消えない

オート電源オフ

本機の操作を行わずに約3時間経つと、自動的に電源が切れるように設定します。

項目	内容
切	自動的に電源は切れない
入	約3時間操作しないと自動的に電源が切れる

画面表示

再生や録画など本機の状態を示す画面表示を消します。ダビング時に本機を再生機として使用する場合などに設定します。詳しくは、「ダビングする」（☞84ページ）をご覧ください。

項目	内容
切	画面表示しない
入	画面表示する

DVリンク

本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子に接続したデジタルビデオカメラからの映像を録画するときに、本機のリモコンでデジタルビデオカメラを操作するように設定します。

項目	内容
入	本機のリモコンで接続したデジタルビデオカメラを操作する
切	「入」に設定して本機のリモコンで操作すると、デジタルビデオカメラや本機が正しく動作しないときに設定する

ご注意

- デジタルビデオカメラによっては「切」に設定していても、正しく動作しない場合があります。

DV入力音声

デジタルビデオカメラの映像を取り込むときの音声を設定します。
ビデオカメラの音声がサンプリング周波数32kHz、12 bitの場合のみ有効です。
接続した機器によっては、設定時にノイズが入ることがあります。

項目	内容
ステレオ１	録画したときの音声を取り込む
ステレオ２	アフレコなどあとから追加した音声を取り込む

ご注意

- モノラル音声は、DV入力できません。
- 二重音声でも「主音声」、「副音声」を選べません。
- 接続するデジタルビデオカメラの出力音声が16bitに設定されていると、DV入力音声の設定は効果がありません。

ブルーバック

放送のないチャンネルや放送が終了したチャンネルを選んだときに、テレビ画面のノイズ映像を自動的に青い画面に切り換えるように設定することができます。

項目	内容
入	ブルーバックの機能が働く
切	ブルーバックの機能が働かない

ご注意

- 外部入力より特殊再生している映像信号を入力した場合など、画面がブルーバックになることがあります。そのときは、「切」に設定してください。

3D Y/C

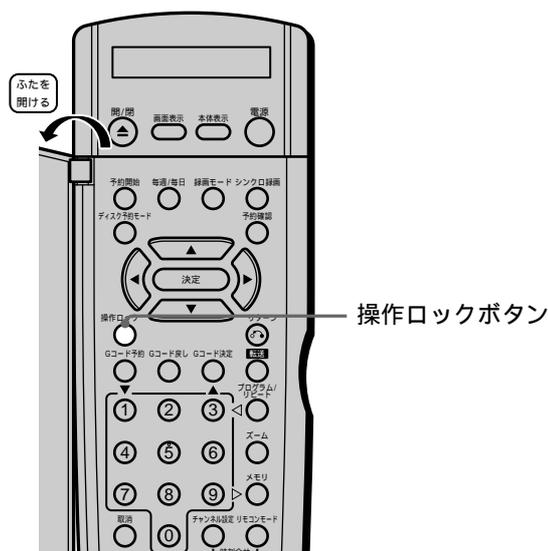
3次元Y/C分離回路を働かせるかどうかを設定します。この機能を働かせると、テレビ放送や外部入力などの映像信号をよりきれいに見たり、録画できるようになります。

項目	内容
切	電波の弱い信号の放送を受信して映像がおかしく見える場合や、外部入力に接続したビデオやゲーム機器の画像が乱れる場合「切」にする
入	より高画質に録画する

ご注意

- DV入力やS映像からの映像信号には働きません。

本体やリモコンのボタンをロックする（操作ロック）

本体およびリモコンのボタンを押しても、本機を操作できないように設定できます。録画中や予約待機時に、誤って操作を取り消したりしないようにすることができます。

操作ロックボタンを2秒間押す。

本体表示窓に「LOCK」が出ます。
本体およびリモコンのボタンを押しても操作できません。

操作ロックを解除するには

操作ロックボタンを2秒間押します。

設定と調整

その他

ここでは、本機をご使用になる上でのご注意や、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明します。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源

電源が入らない。
➔ 電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう1度コンセントに電源プラグを差し込み、電源を入れる。

画像

画像が映らない。
➔ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
➔ 接続コードが断線している。
➔ 設定画面が出ている。設定ボタンを押して消す。
➔ テレビの入力端子を確認する（☞ 別冊「接続と準備」）。
➔ テレビを本機に接続している入力（「ビデオ」など）に切り換える。
➔ ハイビジョンテレビ専用のコンポーネント入力端子（Y/PB/PR）に本機を接続している。S映像コードまたは映像コードで接続する。
➔ プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、「プログレッシブ再生」で「入」を選ぶと映像が乱れることがある。この場合は、「プログレッシブ再生」を「切」にする。

画像が乱れる。
➔ ディスクに汚れや傷がある。
➔ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続していると、一部のDVDプログラムに使用されているコピー制御信号が画質に悪影響をおよぼす可能性がある。本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続する（☞ 別冊「接続と準備」）。
➔ プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビとつないでいるときに、「プログレッシブ再生」で「入」を選んでいる。

症状	対処
	→ プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、「プログレッシブ再生」で「入」を選ぶと映像が乱れることがある。この場合は、「プログレッシブ再生」を「切」にする。
本機で受信しているテレビ放送が映らない。	→ 初期設定画面の「チャンネル設定」の「個別チャンネル設定」で、チャンネルを合わせる（☞別冊「接続と準備」）。 → 外部入力になっている（本体の表示窓に「L1」または「L2」、「L3」、「DV」が表示されている）。入力切換ボタンを押して、テレビのチャンネルを出す。
本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。	→ 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。 → アンテナの向きを調節する。 → 初期設定画面の「チャンネル設定」の「個別チャンネル設定」で画像を手動微調整する（☞別冊「接続と準備」）。 → 本機とテレビを離して設置する。 → 本機から離してアンテナ線をたばねる。
テレビのチャンネルを変えられない。	→ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。 → アンテナ線を正しく接続する（☞別冊「接続と準備」）。
本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	→ 入力切換ボタンを押して、入力1端子につないでいるときは「L1」を、LINE-2 IN端子につないでいるときは「L2」を、入力3端子につないでいるときは「L3」、デジタルビデオカメラ用 i.LINK端子につないでいるときは「DV」を本体表示窓に出す。
本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。	→ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、別売りのチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれている。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つなぐ。
再生初期設定の「再生時テレビ画面」で設定した画像の形で再生できない。	→ 画像の形が固定されているディスクを再生している。

音声

症状	対処
音が出ない。	→ ディスクに汚れや傷がある。 → 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。 → アンプの入力端子を確認する。 → アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていない。 → 一時停止、スロー再生になっている。 → 早送りまたは早戻しになっている。 → デジタル音声出力光端子から音声が出ないときは再生初期設定の「DTS出力」が「切」に設定されている（☞92ページ）。
雑音が多い。	→ ディスクに汚れ、傷がある。 → CDのDTS音声を再生しているとき、出力1または2の音声端子から雑音が出る（☞別冊「接続と準備」）。
二カ国語の音声が切り換えられない。	→ ステレオモードで録画されたディスクを再生している。外部入力（L1またはL2、L3）のときは、録画する前に録画初期設定の「外部音声」を「二カ国語」に設定する（☞93ページ）。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

再生

症状	原因・対処
再生が始まらない。	→ ディスクが入っていない。 → 録画されていないディスクが入っている。 → ディスクが裏返しに入っている。再生面を下にする。 → ディスクが斜めにずれて入っている。 → CD-ROMなどの再生できないディスクを入れている（☞8ページ）。 → 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている（☞8ページ）。 → 結露している。ディスクを取り出して、電源を入れたままの状態で、約30分放置し、再び電源を入れ直してから再生する（☞3ページ）。
再生がディスクの最初から始まらない。	→ プログラムまたはリピート、A-Bリピート再生になっている（☞22、24、25ページ）。 → つづき再生になっている。 停止中に、本体またはリモコンの停止■ボタンを押してから再生を始める（☞16ページ）。 → 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面が出るディスクを入れている。
再生が自動的に始まる。	→ 自動的に再生が始まるDVDを入れている。
再生が自動的に止まる。	→ ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがある。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。
停止、スキャン、スロー、リピート再生、プログラム再生などの操作ができない。	→ 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせて見る。
音声言語を変更できない。	→ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。 → 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。
字幕を変更できない。	→ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。 → 字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。
字幕を消すことができない。	→ 字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。
アングルを変更して見ることができない	→ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 → アングルマークが出ていない場面で、アングルを切り換えている（☞32ページ）。 → アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

録画・予約・編集

症状	原因・対処
録画●ボタンを押すと、メッセージが出てくる。	→ ディスクが録画できない状態になっている。録画したいときは録画できる状態にする（☞40ページ）。
裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。	→ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。
録画●ボタンを押しても、すぐに録画が始まらない。	→ 録画されていないDVD-RWのディスクを入れたとき、VRモードに自動的に初期化するため。本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待つ。
録画中に停止■ボタンを押しても、すぐに録画が止まらない。	→ ビデオモードで録画しているときは、30秒単位（LPモードのときは60秒）で録画するため、最長30秒間（LPモードのときは最長60秒間）録画が続くことがある。
予約したのに録画されていない。	→ 予約待機中に1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「準備7：時計を合わせる」）。 → 予約した後で、予約したチャンネルをとばしたため（☞別冊「接続と準備」の「不要なチャンネルをとばす」）。

→ 電源プラグをコンセントからはずし、もう一度差し込む。

→ ディスク残量が足りなかった。

→ コピー制御信号が含まれている映像を録画しようとしていた。

→ ディスクに録画されているタイトル数が99タイトルを超えている。

予約した内容が途中で切れている。

→ 予約録画中に停電が起きて電源が切れたため。1時間以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から終了時刻まで録画される。1時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「準備**7**：時計を合わせる」）。

→ 予約が重なっていた（☞48ページ）。

→ ディスクの空き容量がない。

予約した内容が途中から始まっている。

→ 予約録画が始まる前に停電があり、回復時から録画が行われたため。

Gコード

Gコードが入力できない。予約内容が違う。

→ 間違ったGコードが入力されている。正しいGコードを入力する。

→ 日付がずれている。日付・時計を正しく合わせる（☞別冊「接続と準備」の「準備**7**：時計を合わせる」）。

→ 間違った地域番号が設定されている。正しい地域番号を設定する（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：チャンネルを自動で合わせる」）。

→ 受信している放送局が登録されていない。受信チャンネルを追加し、そのチャンネルのGコード予約の設定をする（☞別冊「接続と準備」の「Gコード予約のためのチャンネルを合わせる」）。

→ ケーブルテレビ（CATV）は、Gコードで予約できないことがある。時刻指定予約をする。

チューナーからの録画

シンクロ録画予約したのに録画されていない。

→ チューナーの電源を切り忘れたため。チューナーの電源を切ってシンクロ録画予約待機にする（☞55ページ）。

シンクロ録画予約した内容が途中で切れている。

→ 本機とつないだチューナーの予約が本体の予約と重なっている（☞56ページ）。

→ シンクロ録画中に停電が起きて電源が切れたため。

チューナーの電源を入れると、本機が自動的に録画を始めてしまう。

→ シンクロ録画機能が働いている。チューナーの電源を切ってから、リモコンのシンクロ録画ボタンを2秒以上押す。

表示

メニューや設定画面表示が画面に出ない。

→ テレビを本機が接続した入力（「ビデオ」など）に切り換える。

本体に「－：－－」表示が点灯している。

→ 時計を合わせる（☞別冊「接続と準備」の「準備**7**：時計を合わせる」）。

→ 1時間以上の停電で時計が止まっている。時計を合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「準備**7**：時計を合わせる」）。

本体のTIMER RECランプが、5秒間点滅し、（予約待機中に）消えている。

→ ディスクの空き容量がないか、録画されているタイトル数が99タイトルになっているため。続けて録画する場合は、録画するディスクを入れ、電源を切る。

本体のSYNCHRO RECランプが、シンクロ録画予約待機中に消えている。

→ ディスクの空き容量がないか、録画されているタイトル数が99タイトルになっているため。続けて録画する場合は、録画するディスクを入れる。

次のページにつづく

リモコン

症状	原因と対策
リモコンが働かない。	→ 乾電池が消耗している（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンを準備する」）。 → 乾電池が入っていない（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンを準備する」）。 → 乾電池を交換すると、テレビのメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「リモコンで各社のテレビを操作する」）。 → 本体の電源を入れる。 → リモコンを本体に向けて操作する（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンを準備する」）。 → 本体とリモコンのリモコンモードが違っている。同じリモコンモードにする（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンを準備する」）。
本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニーのDVDプレーヤーが同時に動いてしまった。	→ 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本機のリモコンモードを変える（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンを準備する」）。
リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。	→ チャンネルは、チャンネル＋/－ボタンで選ぶ。数字ボタンはGコード予約をするときに使う。

その他

症状	原因と対策
正常に動作しない。	→ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切ってから電源コードを抜き、再びコードを差して電源を入れる。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、お客様ご相談センターへご連絡ください（☞裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではDVDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
●型名：RDR-A21
●ディスクの種類：DVDビデオ、DVD-RW、DVD-Rなど
●接続しているアンテナ：VHF/UHF、VHF/UHF/BS混合、CATV
●つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名
●故障の状態：できるだけ詳しく
●購入年月日：

主な仕様

システム

形式	DVDレコーダー
信号方式	JEITA標準、NTSCカラー方式
記録可能ディスク	DVD-ReRecordable（リレコーダブル）：DVD-RW DVD-Recordable（レコーダブル）：DVD-R
記録フォーマット	DVD-VideoRecording：VRモード DVD-VIDEO：ビデオモード
映像サンプリング周波数	13.5MHz
映像圧縮方式	MPEG
音声サンプリング周波数	48kHz
音声圧縮方式	Dolby Digitalステレオ

記録時間（4.7GBディスクの使用時）

DVD-RW（VR）	FINE：約60分 SP：約120分 LP：約240分 EP：約360分
DVD-RW（**ビデオ**） DVD-R	FINE：約60分 SP：約120分 LP：約240分

[チューナー]

受信チャンネル	VHF：1〜12チャンネル UHF：13〜62チャンネル CATV：C13〜C63チャンネル

[タイマー]

プログラム数	1年 8プログラム
時計方式	クォーツロック、 12時間デジタル表示
停電補償時間	約1時間

入出力端子

アンテナ入出力	VHF/UHF1軸、 75Ω F型コネクター
映像入力	入力1/入力2（フロント）/入力3の3系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75Ω不平衡）
映像出力	出力1系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75Ω不平衡）
S映像入力	入力1/入力2（フロント）/入力3の3系統、 4ピンミニDIN、 Y=1Vp-p（75Ω不平衡） C=0.286Vp-p（75Ω不平衡）
S映像出力（S1）	出力1系統、 4ピンミニDIN、 Y=1Vp-p（75Ω不平衡） C=0.286Vp-p（75Ω不平衡）
音声入力	入力1/入力2（フロント）/入力3の3系統、 ピンジャック 入力レベル：2Vrms （入力インピーダンス：22kΩ以上）
音声出力	出力1系統、 ピンジャック 出力レベル：2Vrms （1kHz 0dB、出力インピーダンス：1.5kΩ以下）
デジタル音声出力	光：角型光ジャック1系統
コンポーネント映像出力	
ピンジャック	Y：1Vp-p（75Ω不平衡）、 PB/CB：0.7Vp-p（75Ω不平衡）、 PR/CR：0.7Vp-p（75Ω不平衡）
D端子（D1/D2）	Y：1Vp-p（75Ω不平衡）、 PB/CB：0.7Vp-p（75Ω不平衡）、 PR/CR：0.7Vp-p（75Ω不平衡）
DV**入出力**	i.LINK 4ピン S100 DV-Camcorder 1系統（フロント）

電源部・その他

電源部	AC100V、50/60Hz
消費電力	37W
待機消費電力	0.7W以下（本体時刻表示「切」時）
許容動作温度	5℃〜 35℃
許容動作湿度	10%〜 80%（結露のないこと）
最大外形寸法	幅 430×高さ 82×奥行き 366mm （最大突起含む）
本体質量	約 5.2kg
付属リモコン	RMT-D204J 電源：DC 3V 単3形（R6）乾電池2個付属
付属品	別冊「接続と準備」参照

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

各部の説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。
＊のボタンには凸（突起）がついています（CHANNEL＋/－ボタンは「＋」のみ）。操作の目印としてお使いください。

前面

1 I/⏻（電源）スイッチ（11）

2 🅁（リモコン受光部）（☛別冊「接続と準備」）

3 ディスクトレイ（11）

4 ≜（開/閉）ボタン（11）

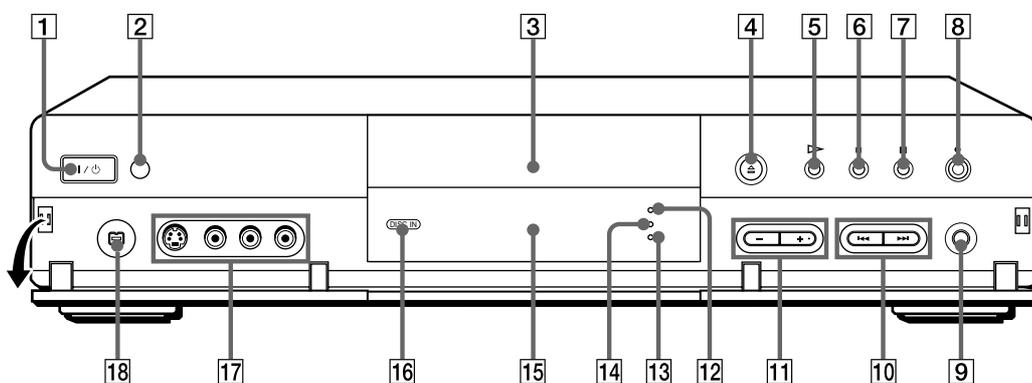
5 ▷（再生）ボタン（11）

6 ❚❚（一時停止）ボタン（15）

7 ■（停止）ボタン（11）

8 REC●（録画）ボタン/ランプ（12）

9 TIMER REC（ON/OFF）（予約録画（入/切））ボタン（47、50、52）

10 ⏮/⏭（前/次）、（ステップ◀II/II▶）ボタン（17）

11 CHANNEL＋/－ボタン*（12）

12 SYNCHRO REC（シンクロ録画）ランプ（55）

13 DISC TIMER MODE（ディスク予約）ランプ（52）

14 TIMER REC（タイマー録画）ランプ（47、50、52）

15 表示窓

16 DISC INランプ

17 LINE-2 IN 端子（82）

18 i. S100 DV-Camcorder端子（85）

本体表示窓

1 ディスク表示
2 ビデオ表示
3 録画モード表示（41）
4 タイトル/トラック/チャプター経過/残量時間表示/動作表示
タイトル/トラック/チャプター番号表示
録画時経過時間表示
現在時刻表示
チャンネル表示
5 BS表示
CATV（ケーブルテレビ）で、BS 放送を受信しているとき、チャンネル表示をBS チャンネル表示に設定すると表示します。
6 プログレッシブ表示（91）
7 アングル表示（32）
8 快速予約設定表示（44）

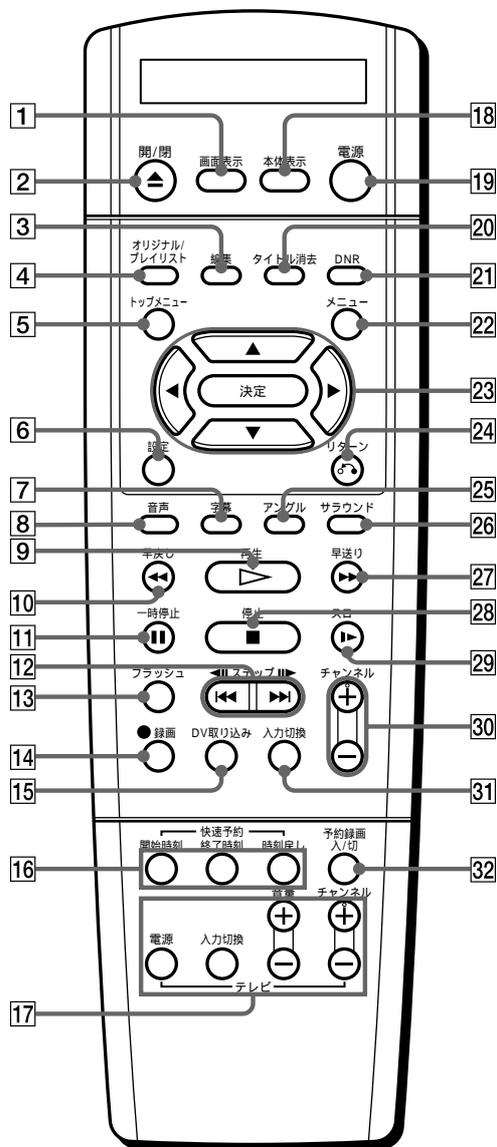
裏面（各部の説明は、別冊「接続と準備」をご覧ください）

1 デジタル音声出力光端子
2 入力1 映像/音声右左端子
3 入力1 S映像端子
4 コンポーネント映像出力Y、PB/CB、PR/CR端子
5 VHF/UHF入出力端子
6 D1/D2映像出力端子
7 出力 S映像（S1）端子
8 入力3 S映像端子
9 出力 映像/音声右左端子
10 入力3 映像/音声右左端子

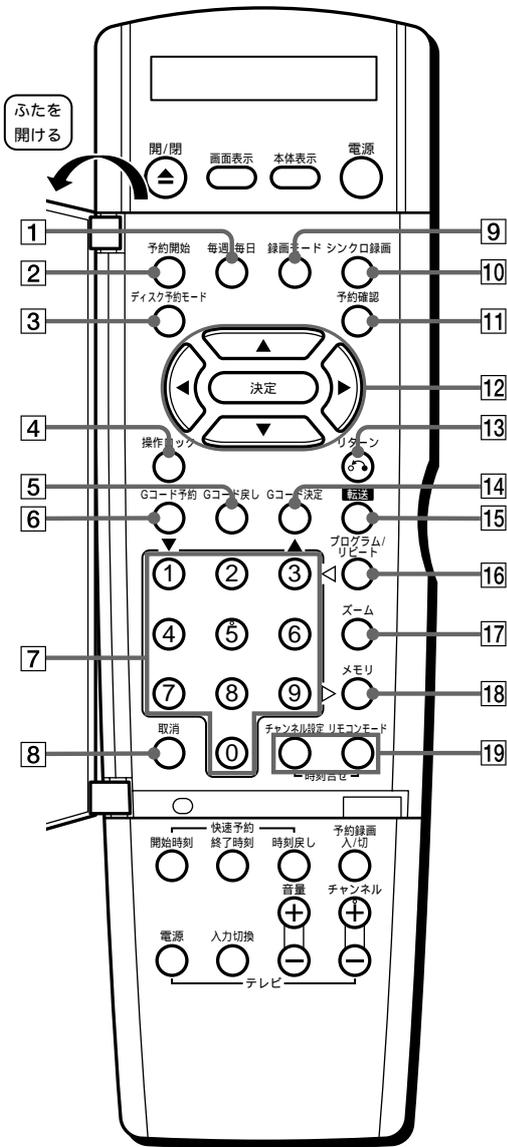
次のページにつづく

リモコン

ふた閉じたとき

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。
＊のボタンには凸（突起）がついています（チャンネル＋/－ボタンの「＋」のみ）。操作の目印としてお使いください。

1 画面表示ボタン（28）
2 開/閉⏏ボタン（15）
3 編集ボタン（60、62、74）
4 オリジナル/プレイリストボタン（59）
5 トップメニューボタン（13）
6 設定ボタン（21）
7 字幕ボタン（32）
8 音声ボタン（30）
9 再生▷ボタン*（15）
10 早戻し◀◀ボタン（20）
11 一時停止❚❚ボタン（15）
12 ⏮/⏭（前/次）、ステップ◀❚❚/❚❚▶ボタン（17、20）
13 フラッシュボタン（21）
14 録画●ボタン（42）
15 DV取り込みボタン（86）
16 快速予約ボタン（44）
開始時刻ボタン
終了時刻ボタン
時刻戻しボタン
17 テレビ（☞別冊「接続と準備」）
電源ボタン
入力切換ボタン
音量＋/－ボタン
チャンネル＋/－ボタン*
18 本体表示ボタン（29）
19 電源ボタン（15）
20 タイトル消去ボタン（72、80）
21 DNRボタン（36）
22 メニューボタン（15）
23 ◀/▲/▼/▶/決定ボタン（13）
24 ↶リターンボタン（17）
25 アングルボタン（32）
26 サラウンドボタン（31）
27 早送り▶▶ボタン（20）
28 停止■ボタン（13）
29 スロー❚▶ボタン（20）
30 チャンネル＋/－ボタン*（42）
31 入力切換ボタン（43）
32 予約録画入/切ボタン（47、50、52）

ふたを開けたとき

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。
＊のボタンには凸（突起）がついています（数字ボタンの「5」のみ）。操作の目印としてお使いください。

1 毎週/毎日ボタン（47）
2 予約開始ボタン（46）
3 ディスク予約モードボタン（52）
4 操作ロックボタン（97）
5 Gコード戻しボタン（50）
6 Gコード予約ボタン（50）
7 数字ボタン（17）＊
8 取消ボタン（23）
9 録画モードボタン（42）
10 シンクロ録画ボタン（56）
11 予約確認ボタン（54）
12 ◀/▲/▼/▶/決定ボタン（13）
13 リターンボタン（17）
14 Gコード決定ボタン（50）
15 転送ボタン（47）
16 プログラム/リピートボタン（23、24）
17 ズームボタン（33）
18 メモリボタン（23）
19 時刻合わせ（☞別冊「接続と準備」）
チャンネル設定ボタン
リモコンモードボタン

次のページにつづく

リモコン表示窓

1 予約表示（46）
2 Gコード表示（50）
3 CATV/BS表示
4 チャンネルスキップ表示（☞別冊「接続と準備」）
5 曜日表示
6 毎日/毎週表示（47）
7 録画モード表示（47）
8 転送表示（47）
9 年月日/時間/Gコード番号入力/予約設定表示
現在時刻表示
日付表示（46）
予約開始/終了時刻表示（47）
チャンネル表示（46）

用語解説

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

カ行

コピー制御信号
複製防止機能のこと。著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができない。

サ行

視聴年齢制限
国ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDの機能。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生のできない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し換えて再生する場合などがある。

受信チャンネル
ビデオが放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じ。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定される。

タ行

タイトル
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差。デシベル（dB）単位で測定される。圧縮すると最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がる。

地域番号（リージョンコード）
著作権保護を目的に設けられた制度。販売地域によって、DVDプレーヤーやDVDディスクには地域番号が割り当てられていて、本体やディスクのパッケージに、それぞれの地域番号が表示されている。本体とディスクの地域番号が一致していると再生できる。ALL表示のあるディスクは、どの機器でも再生できる。なお、地域番号の表示がないDVDでも、地域制限されている場合がある。

デジタルCS放送
通信衛星を使ったCS放送の一種。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することにより、大量の情報を扱うことができる。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音声で楽しむことができる。デジタルCS放送を受信するには、専用のチューナーとアンテナが必要。
CSはCommunication Satellite（コミュニケーション・サテライト）の略。

チャプター
DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

トラック
ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズの開発した音声の圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。ドルビーデジタルシネマ音声方式のような高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ハ行

バーチャルサラウンド
テレビやオーディオ機器などの2つのフロントスピーカーだけでも、迫力のある立体音声を楽しむことができるサラウンド機能。

ビットレート
DVDに圧縮して記録されている画像と音声の、1秒あたりの情報量を示す値。単位は画像の場合Mbps（Mega bit per second）で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000,000ビットであることを表す。音声の場合の単位はkbps（kilo bit per second）。この値が大きいほど情報量は多くなるが、必ずしも画質や音質とは直接関係しない。

ビデオ素材
DVDの映像素材には、大きく分けてビデオ素材とフィルム素材があり、このうちビデオ素材はテレビドラマやテレビアニメーションなどのテレビ放送された番組（1秒30フレーム、60フィールド）をDVDに記録したもの。

フィルム素材
DVDの映像素材には、大きく分けてビデオ素材とフィルム素材があり、このうちフィルム素材は映画フィルム（1秒24コマ）をDVDに記録したもの。

各部のなまえ（つづき）

表示チャンネル
本機で放送局を選ぶとき表示されるチャンネル。変更することもできる。

プログレッシブ（順次走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方法。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成するなどで高品質な映像を再現できる。

アルファベット順

CATV
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送のこと。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができる。
CATVはCable Television（ケーブル・テレビジョン）の略。

D映像信号
D映像付きデジタルビデオと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。
D端子に対応する信号フォーマットによってD1、D2とD3端子がある。
- D1端子：525i（480i）の信号に対応
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DVD
CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。片面1層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。
またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DTS
デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

Gコード
一部の新聞や雑誌のテレビ欄で、各番組の末尾にのっている番組を予約するための番号。

言語コード一覧表

詳しくは、91ページをご覧ください。

コード	言語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バジキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DE	ドイツ語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EN	英語
EO	エスペラント語
ES	スペイン語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィージー語
FO	フェロー語
FR	フランス語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語

コード	言語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディ語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IT	イタリア語
IW	ヘブライ語
JA	日本語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KO	韓国語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラドビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マレー語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	アファン語（オロモ語）
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語

コード	言語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ＝ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニャルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	システィ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥ語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZH	中国語
ZU	ズール語

言語名表記はISO639:1988（E/F）に準拠

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット/数字順

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX…………………………………0466-31-2595

受付時間：月〜金曜日 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

Printed in Malaysia

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35